

道東自動車道
占冠地区下部工工事

占冠PAアクセス路橋
下部工設計図

令和7年3月

東日本高速道路株式会社
北海道支社 帯広工事事務所

占冠 P A アクセス路橋 図面目録

(下部工設計図)

図面番号	図 面 名
1	数量総括表
2 ～ 3	全体一般図（その 1 ～ 2）
4	下部工座標図
5 ～ 6	A 1 橋台構造一般図（その 1 ～ 2）
7 ～ 1 5	A 1 橋台配筋図（その 1 ～ 9）
1 6	P 1 橋脚構造一般図
1 7 ～ 2 2	P 1 橋脚配筋図（その 1 ～ 6）
2 3 ～ 2 4	A 2 橋台構造一般図（その 1 ～ 2）
2 5 ～ 3 4	A 2 橋台配筋図（その 1 ～ 1 0）
3 5	A 2 橋台場所打ち杭配筋図
3 6	A 1 橋台裏込め工一般図
3 7	A 2 橋台裏込め工一般図
3 8	A 1 橋台構造物掘削図
3 9	A 2 橋台構造物掘削図
4 0	P 1 橋脚土留め工構造図

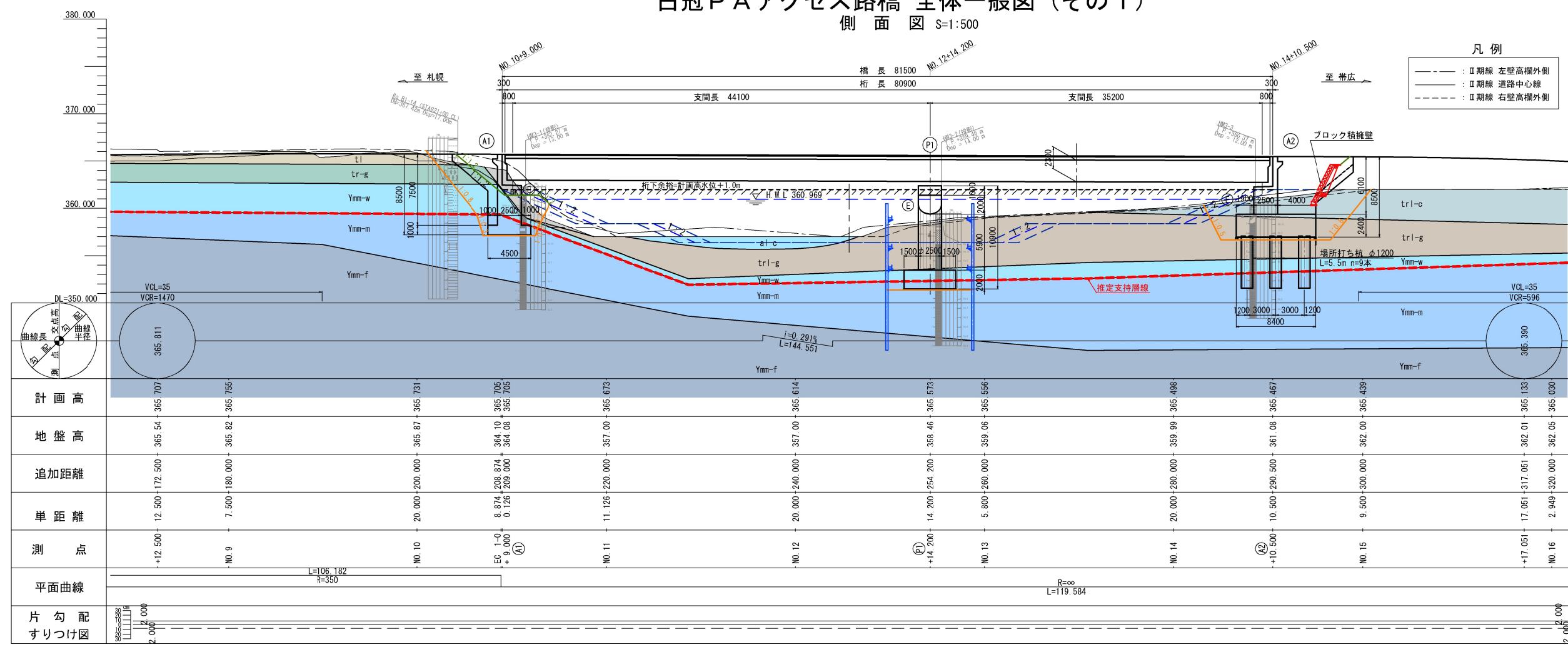
下部工施工

項 目	種 別		単位	占冠PAアクセス路橋				摘 要	
				A 1 橋台	P 1 橋脚	A 2 橋台	合 計		
客土掘削	土砂 A 1		m3	15. 8	525. 9	387. 7	929. 4		
構造物掘削	普通部		m3	668. 2	－	972. 9	1, 641. 1		
	特殊部		m3	－	619. 9	－	619. 9		
構造物表込め工	表込め工 A 1		m3	7. 2	－	－	7. 2		
	表込め工 B 1		m3	－	－	166. 1	166. 1		
地下排水工	Du-P φ0. 15-0. 50-0. 50		m	6. 5	－	6. 5	13. 0	※率計上	
基礎材	B 1		m3	－	－	12. 8	12. 8		
基礎杭	場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1200）		m	－	－	49. 5	49. 5		
コンクリート	A 1－3		m3	122. 0	70. 5	103. 2	295. 7	σ ck=30N/mm2	
	B 2－1		m3	36. 2	66. 0	168. 3	270. 5	σ ck=24N/mm2	
	D 1－1		m3	3. 9	3. 5	6. 4	13. 8	σ ck=18N/mm2	
型わく	C		m2	237. 5	138. 5	318. 7	694. 7		
	D		m2	2. 6	2. 4	3. 4	8. 4		
鉄 筋	A		D13	t	0. 014	－	0. 014	0. 028	SD345（重ね継手）
			D16～D25	t	3. 229	6. 151	8. 838	18. 218	
			D29～D32	t	－	3. 205	－	3. 205	
			D38	t	－	1. 505	－	1. 505	
			D51	t	－	7. 744	－	7. 744	
			小計	t	3. 243	18. 605	8. 852	30. 700	
	A（E）		D13	t	0. 280	－	0. 375	0. 655	SD345（重ね継手）（エポキシ樹脂塗装鉄筋）
			D16～D25	t	2. 472	－	2. 462	4. 934	
			D29～D32	t	－	－	1. 309	1. 309	
			小計	t	2. 752	－	4. 146	6. 898	
	C		D13	t	0. 033（36）	－	0. 169（76）	0. 202（112）	SD345（機械式鉄筋定着工法）
			D16～D25	t	－	0. 244（70）	－	0. 244（70）	
			小計	t	0. 033（36）	0. 244（70）	0. 169（76）	0. 446（182）	
	C（E）		D16～D25	t	0. 427（182）	－	0. 352（155）	0. 779（337）	SD345（機械式鉄筋定着工法）（エポキシ樹脂塗装鉄筋）
			小計	t	0. 427（182）	－	0. 352（155）	0. 779（337）	
	場所打ち杭	Y	D13	t	－	－	0. 135	0. 135	SD345（重ね継手）
			D16～D25	t	－	－	6. 309	6. 309	
			小計	t	－	－	6. 444	6. 444	
		Y（H）	D35	t	－	－	12. 078	12. 078	SD490（重ね継手）
			小計	t	－	－	12. 078	12. 078	

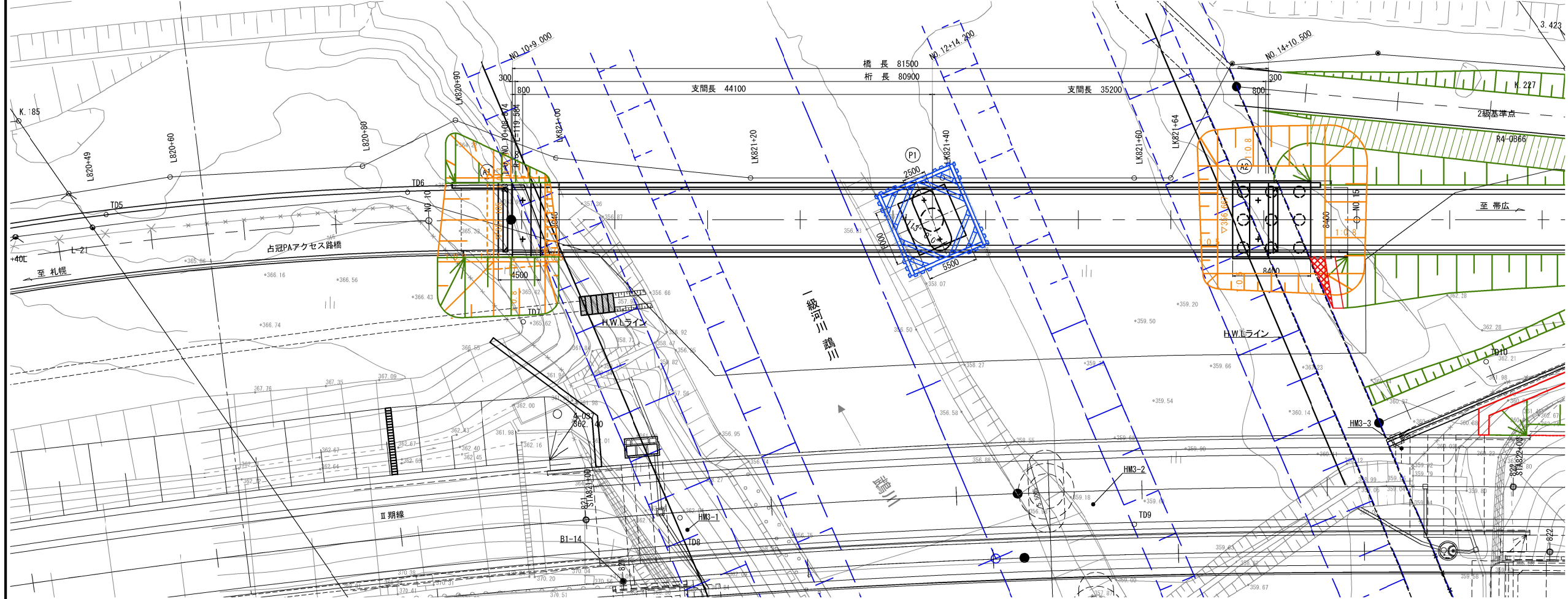
注1)()内は機械式鉄筋定着工法箇所数を示す。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 数量総括表		
縮 尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

占冠PAアクセス路橋 全体一般図（その1）
側面図 S=1:500

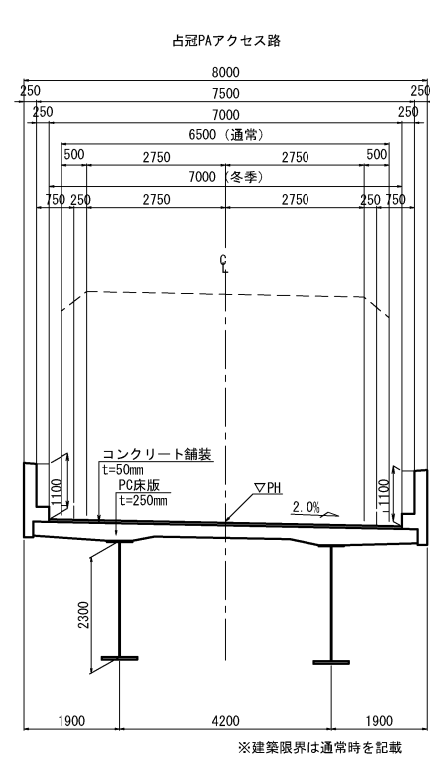


平面図 S=1:500

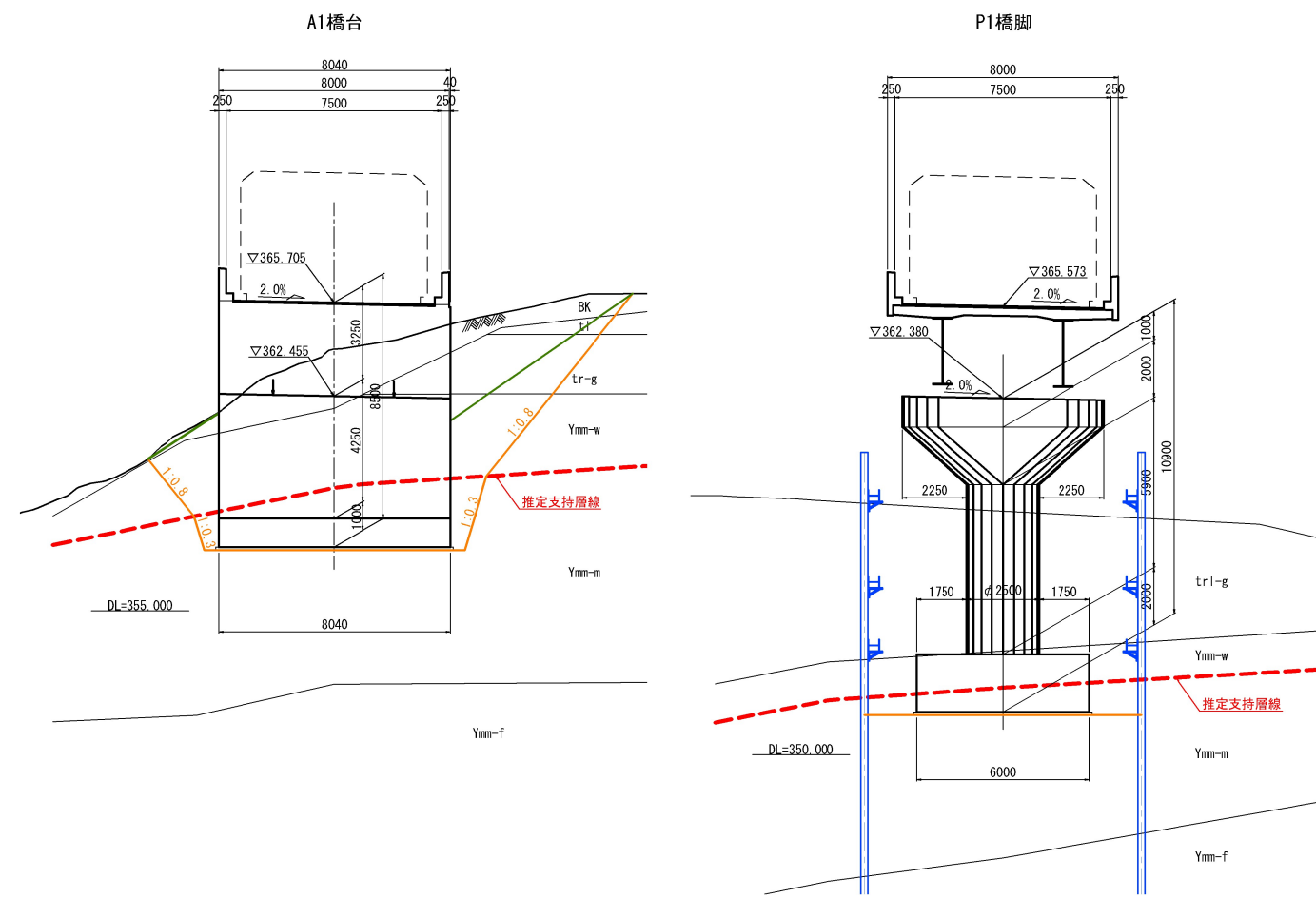


道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 全体一般図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	—
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

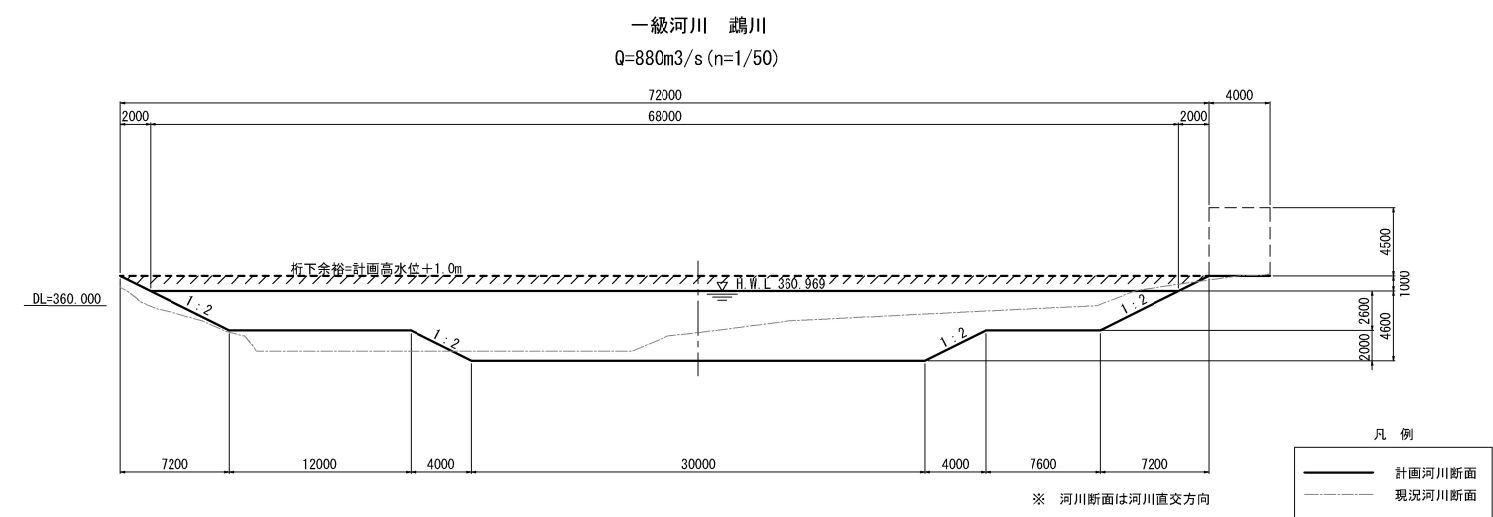
断面図 S=1:150



下部工正面図 S=1:250



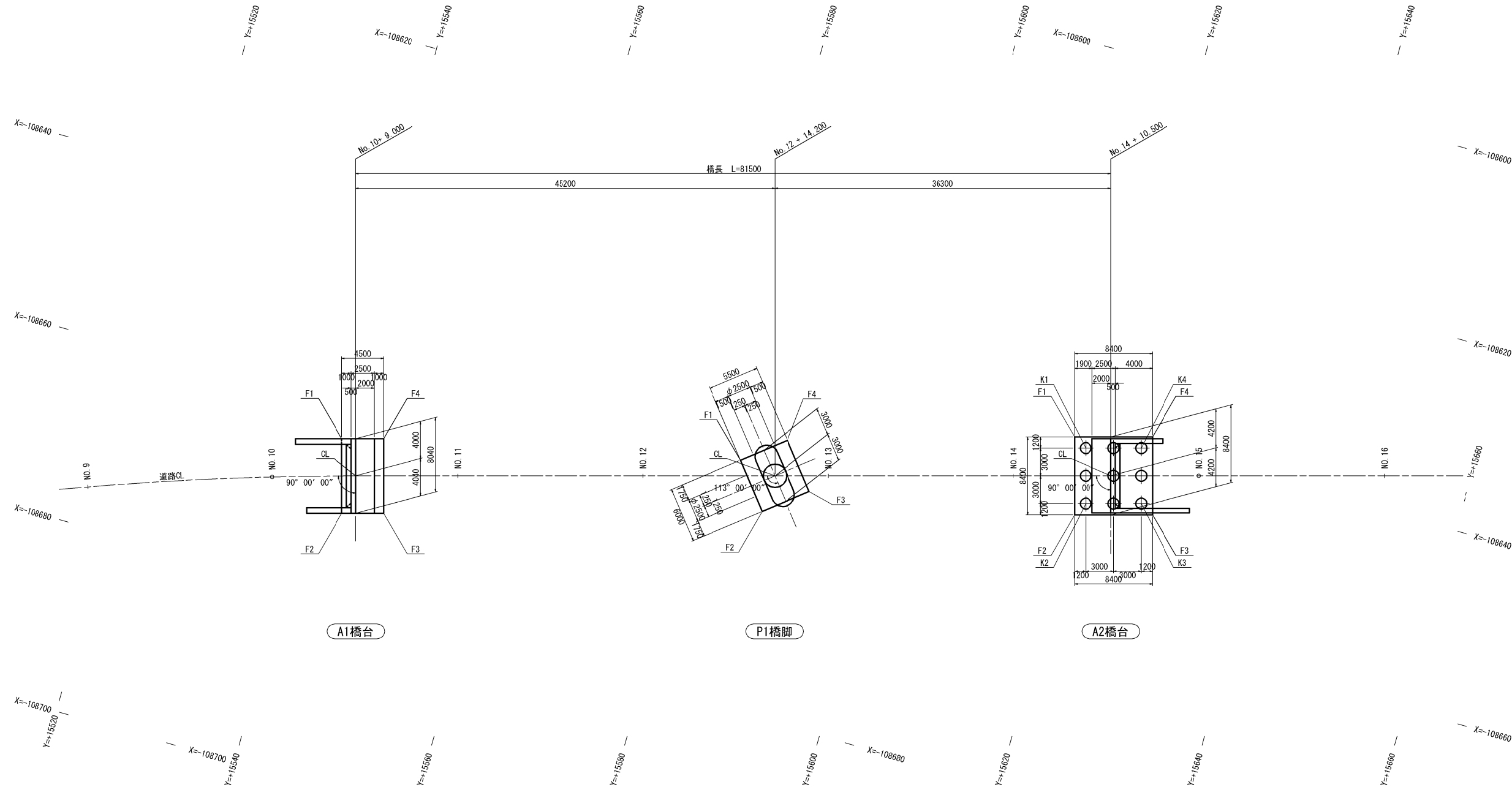
交差条件 S=1:500



設計条件

橋長	61.500 m	桁長	80.900 m
道路規格	第3種 第4級	設計速度 V	40 km/h
設計活荷重	A活荷重		
上部工形式	鋼2径間連続鉄桁橋		
支間長	44.100 m + 35.200 m		
有効幅員	7.000 m		
斜角	A1 90° 00' 00" A2 90° 00' 00"		
平面線形	R=∞ m		
横断勾配	2.000 %		
縦断勾配	0.291 %		
設計震度	kh=Cz・kh0=0.85・0.20=0.17		
材 料	上 部 工	コンクリート	σck=40N/mm ² (床版) σck=30N/mm ² (地覆)
		鋼材	SS400, SM400, SM490Y, SM570, S10T
		鉄筋	SD345
	下 部 工	PC鋼材	SWPR19L 1S28.6 σck=30N/mm ² (躯体) σck=24N/mm ² (A1・P1底版) σck=30N/mm ² (A2底版)
		コンクリート	σck=24N/mm ² (直接基礎) σck=30N/mm ² (場所打ち杭)
		鉄筋	SD345, SD490
	基 礎 工	基礎構造	A1:直接基礎 F1:直接基礎
			A2:「オルケシング」工法場所打ち杭 φ1200 9本
適用示方書	道路橋示方書・同解説(平成29年11月) 設計要領第二集(平成28年8月)		

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 全体一般図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



下部工座標値

(単位:m)

点名称	A1橋台		
		X座標	Y座標
道路中心	CL	-108666.7141	15544.1924
フーチング	F1	-108663.2755	15541.6574
	F2	-108671.0101	15543.8523
	F3	-108669.7816	15548.1814
	F4	-108662.0470	15545.9864

(単位:m)

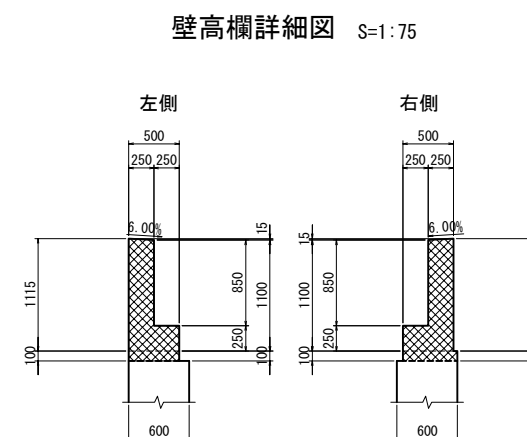
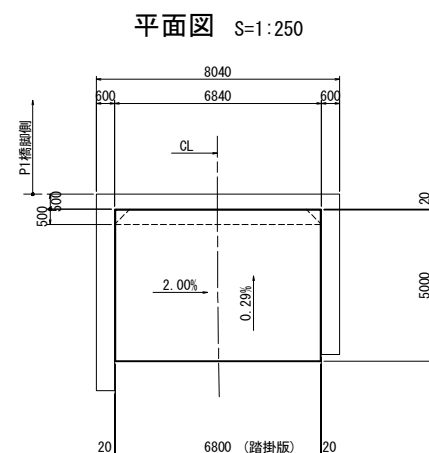
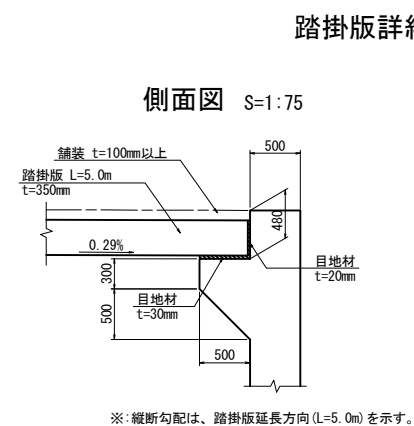
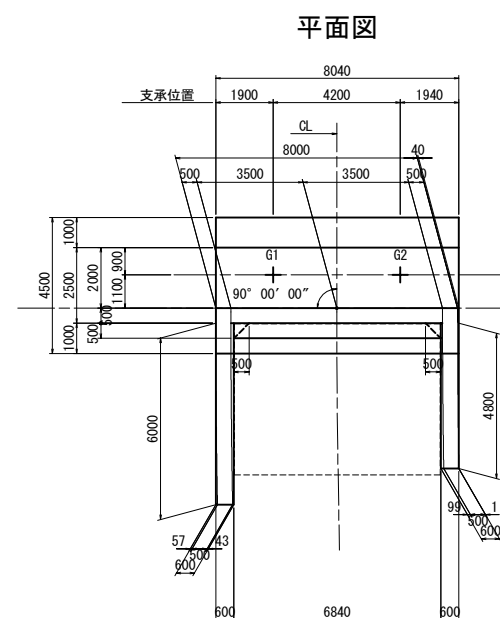
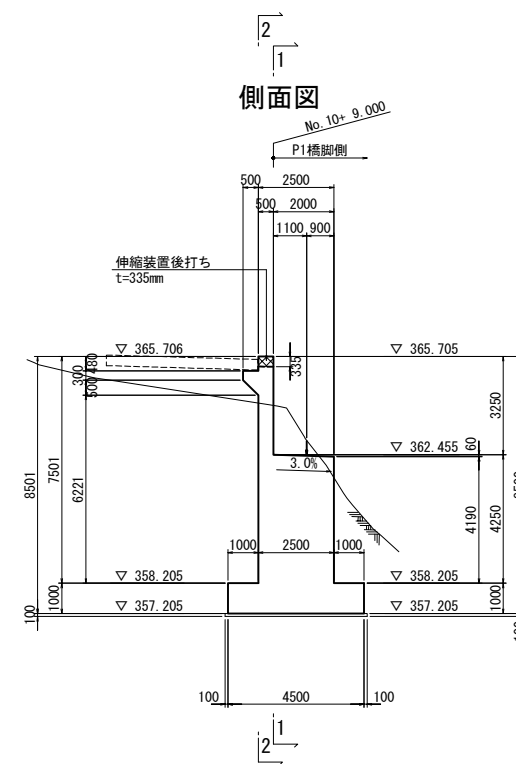
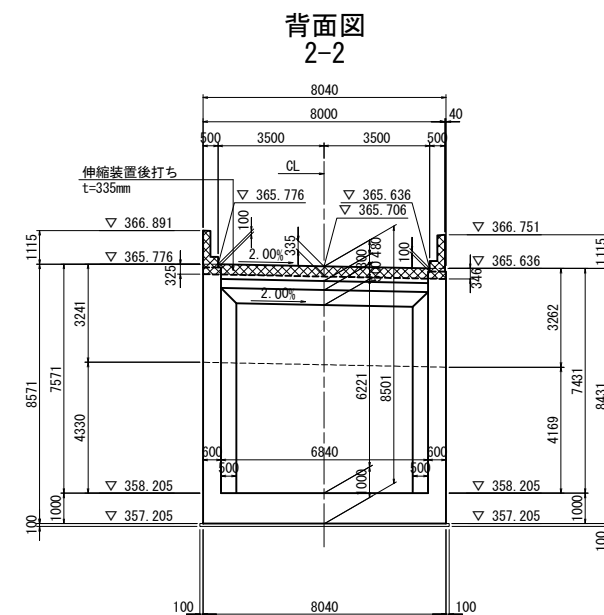
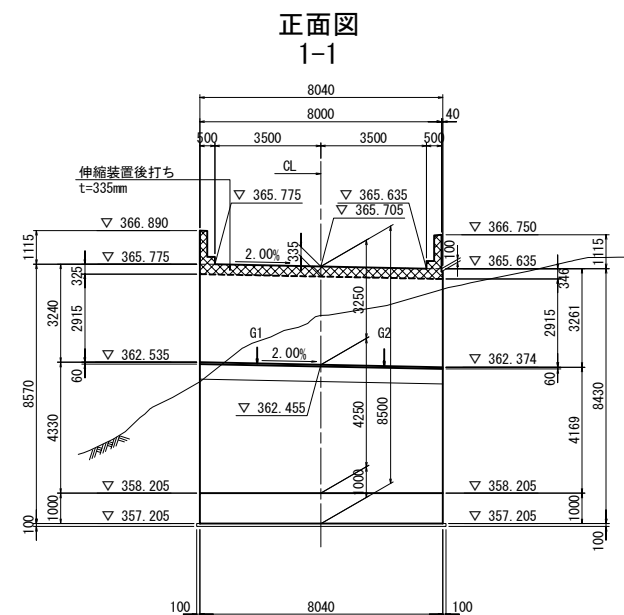
点名称	P1橋脚		
		X座標	Y座標
道路中心	CL	-108654.3742	15587.6754
フーチング	F1	-108653.7623	15583.6519
	F2	-108658.4355	15587.4151
	F3	-108654.9860	15591.6988
	F4	-108650.3128	15587.9357

(単位:m)


点名称	A2橋台		
		X座標	Y座標
道路中心	CL	-108644.4640	15622.5964
フーチング	F1	-108641.4883	15617.6979
	F2	-108649.5692	15619.9912
	F3	-108647.2759	15628.0721
	F4	-108639.1950	15625.7788
杭	K1	-108642.3151	15619.1800
	K2	-108648.0872	15620.8180
	K3	-108646.4491	15626.5901
	K4	-108640.6771	15624.9520

道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 下部工座標図		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

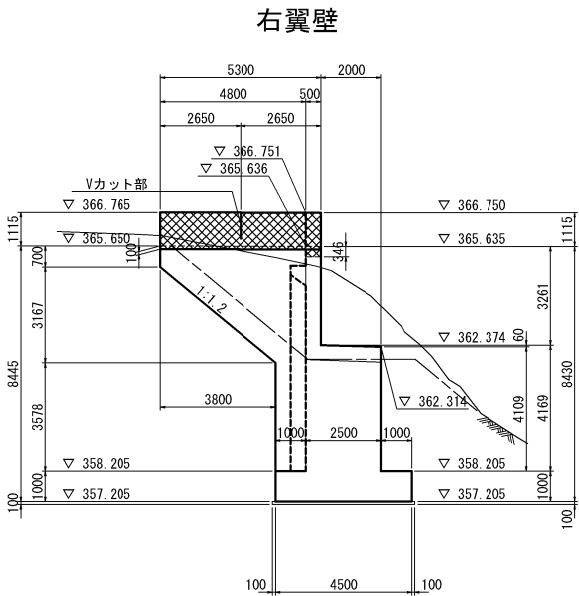
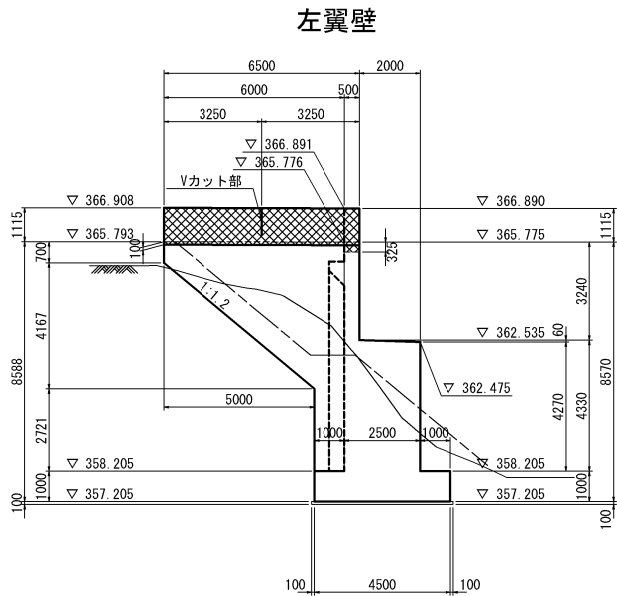
占冠PAアクセス路橋 A1橋台構造一般図(その1) S= 1:250



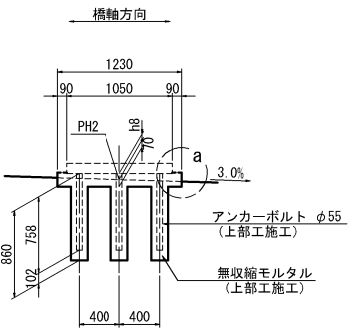
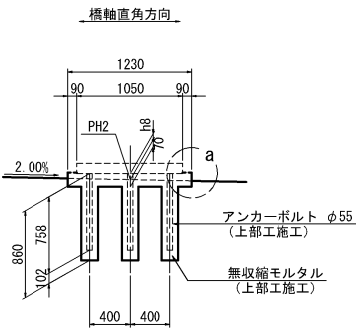
项 目	规格·寸法	单位	数 量	摘 要
構造物掘削	普通部	m ³	275.5	土砂
		m ³	392.7	軟岩

注):  上部工施工範囲を表す。

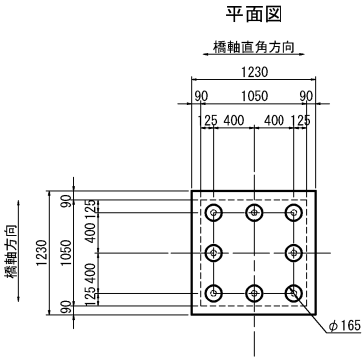
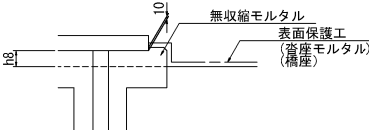
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A1橋台構造一般図（その1）		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



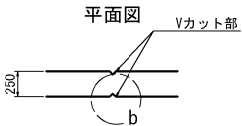
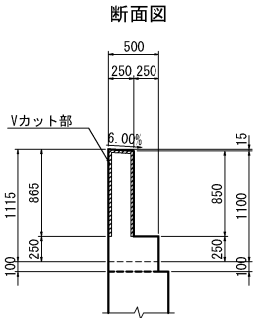
支承部詳細図 S=1:75
G1, G2



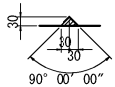
“a”部詳細図 S=1:25



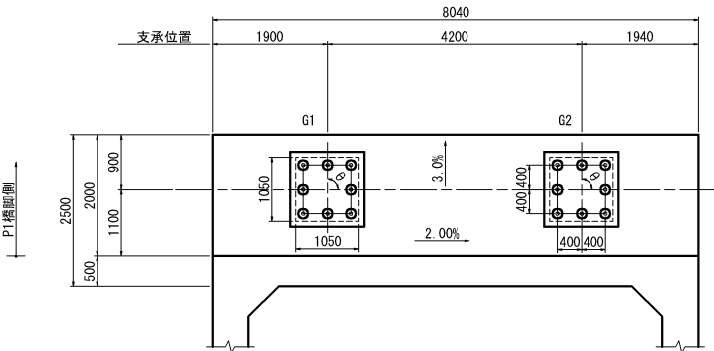
Vカット部詳細図 S=1:75



“b”部詳細図 S=1:25

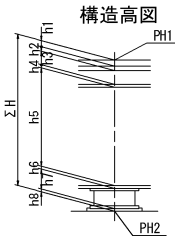


支承配置図 S=1:125



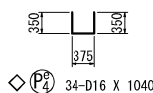
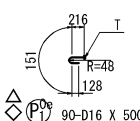
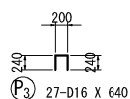
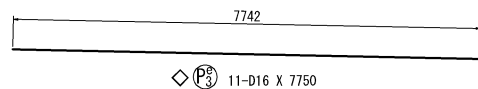
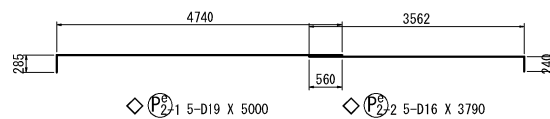
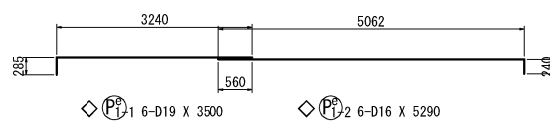
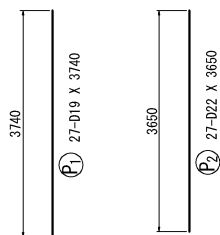
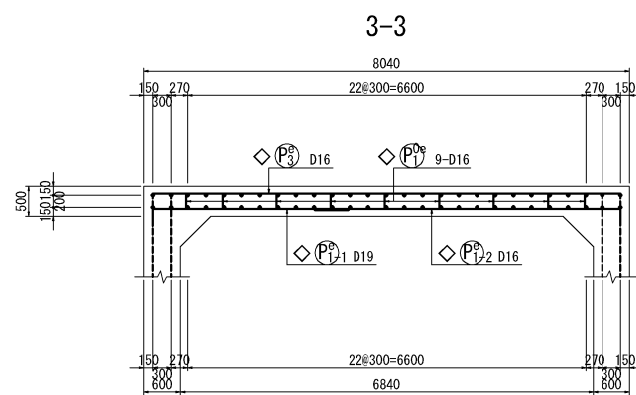
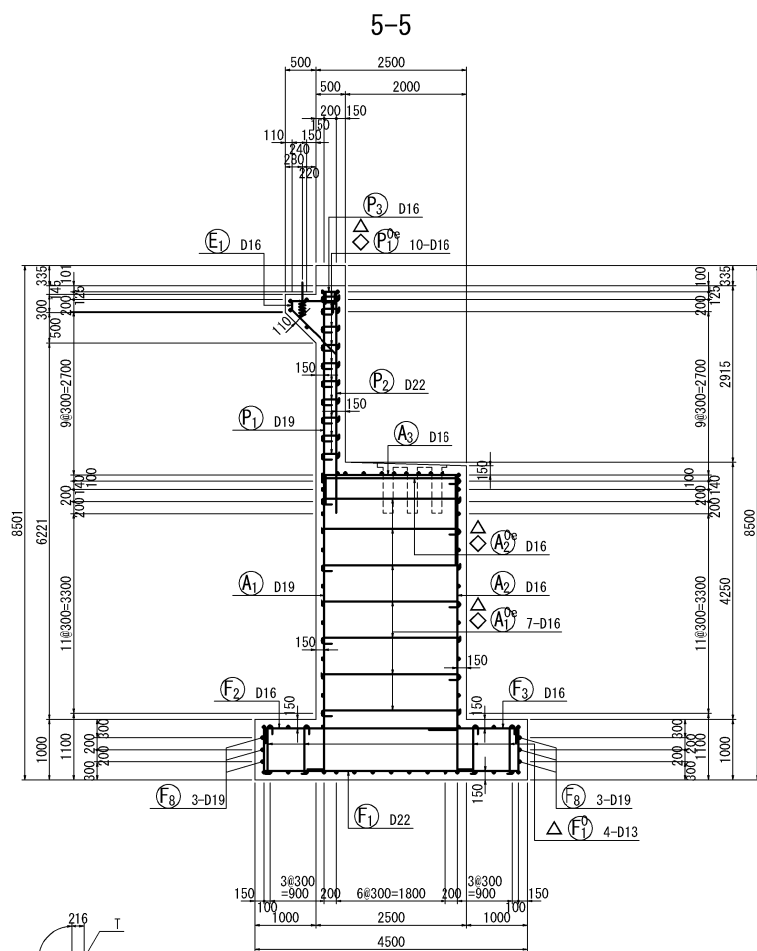
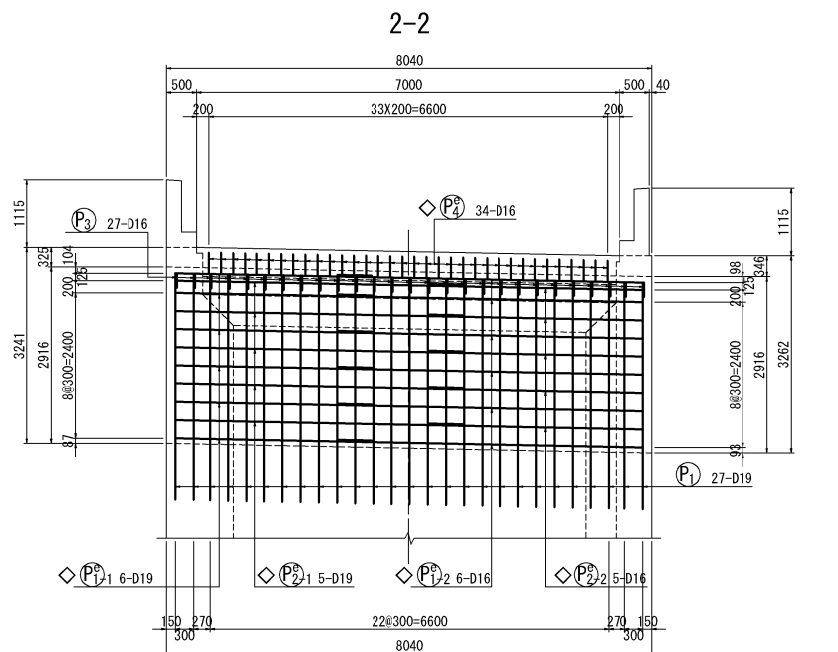
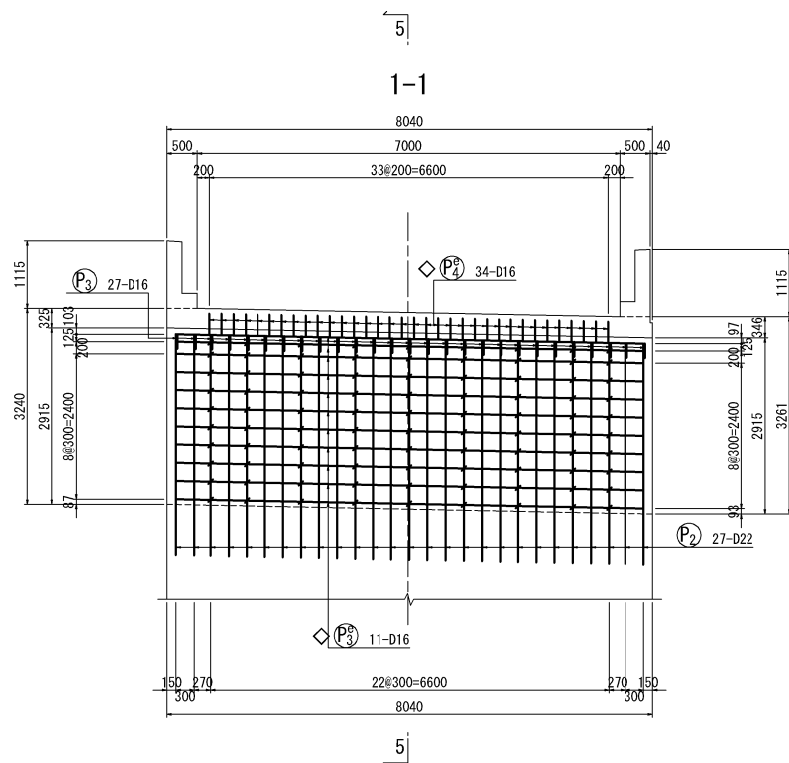
構造高表

		(単位:m)	
		G1	G2
路面計画高	PH1	365.744	365.660
舗装厚	h1	0.050	0.050
床版厚	h2	0.250	0.250
ハンチ高	h3	0.100	0.100
桁高	h4	2.300	2.300
下フランジ厚	h5	0.022	0.022
ソールプレート厚	h6	0.040	0.040
支承高	h7	0.458	0.458
調整モルタル厚	h8	0.060	0.060
合計	ΣH	3.280	3.280
下部工天端標高	PH2	362.464	362.380
支承座標	X	-108654.3935	-108668.4340
	Y	15544.6773	15545.8239
支承設置角度	θ	90° 03' 00"	90° 00' 00"

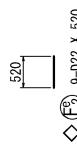
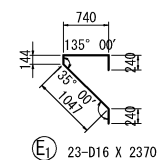
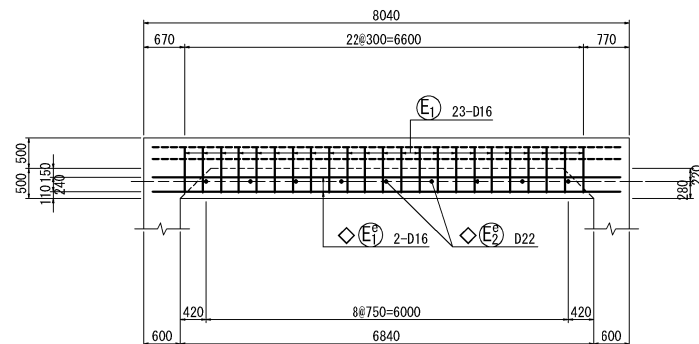


注) : 上部工施工範囲を表す。

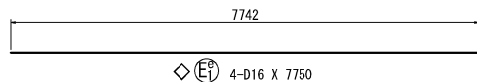
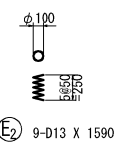
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 1橋台構造一般図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



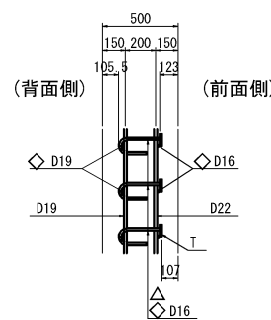
4-4



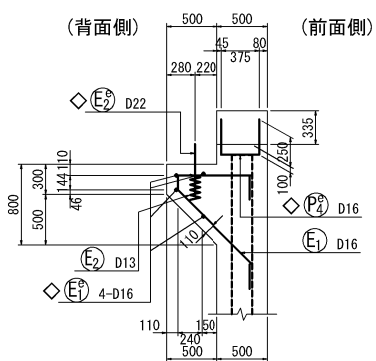
S= 1:75



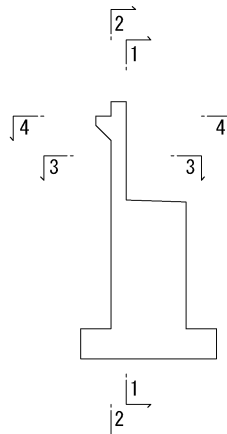
かぶり詳細図 S= 1:50



パラペット頂部詳細図 S=1:75



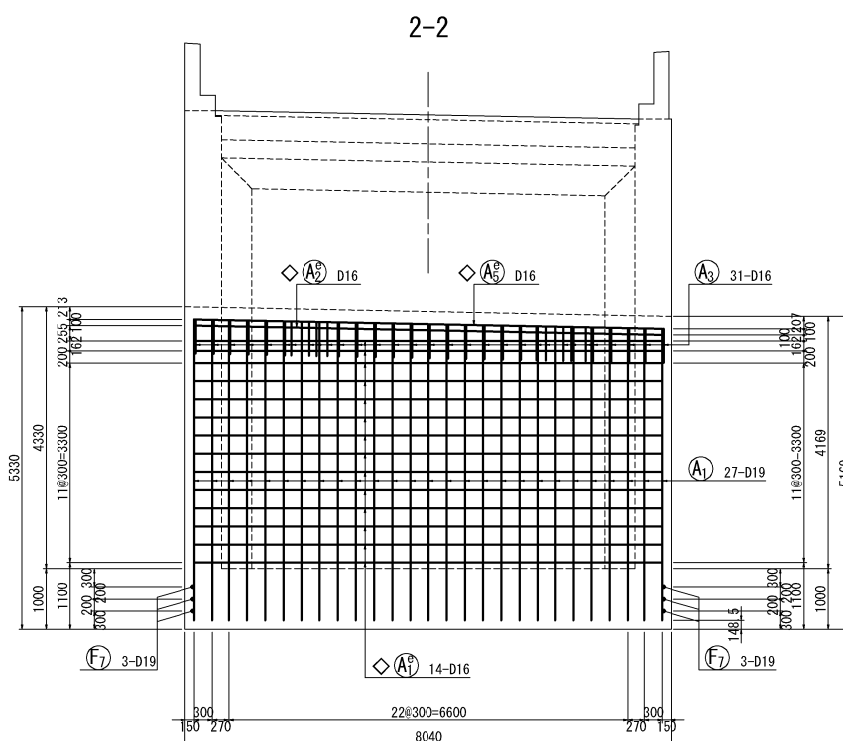
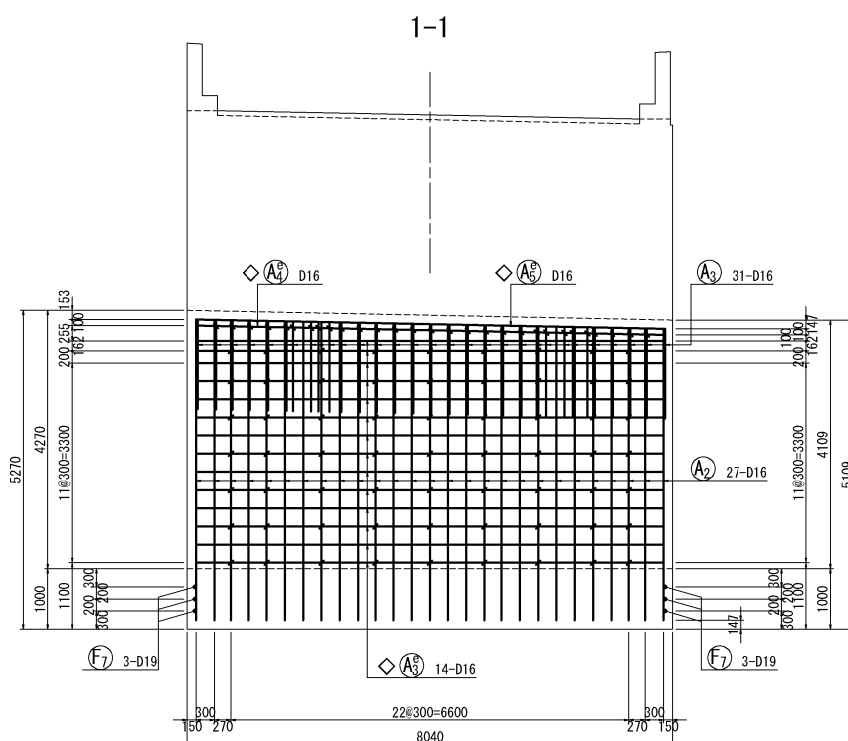
位置図



注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

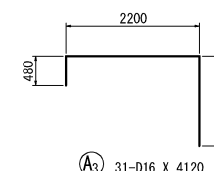
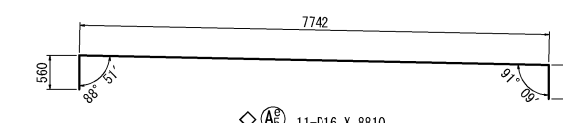
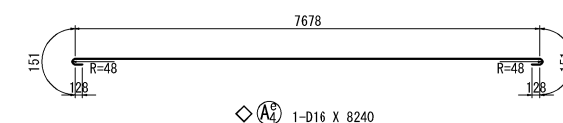
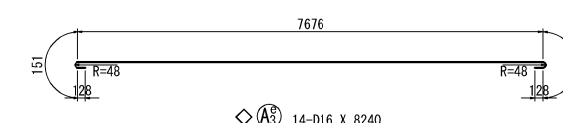
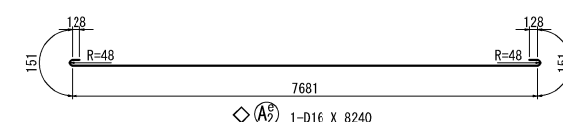
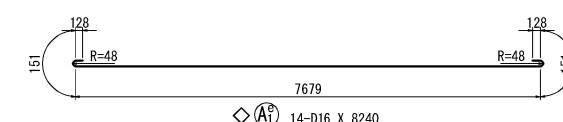
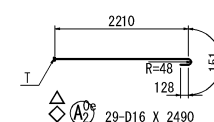
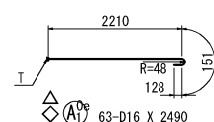
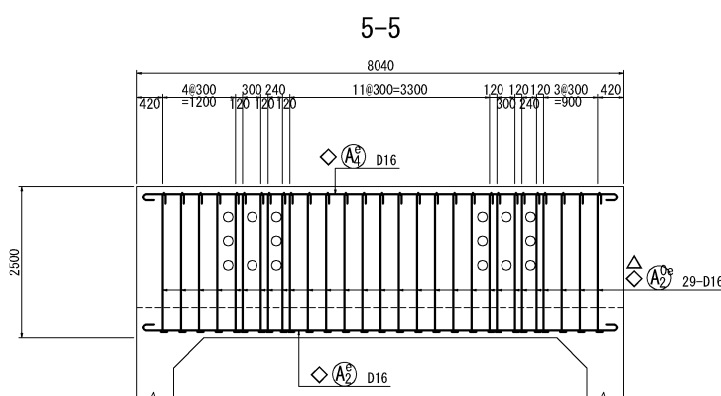
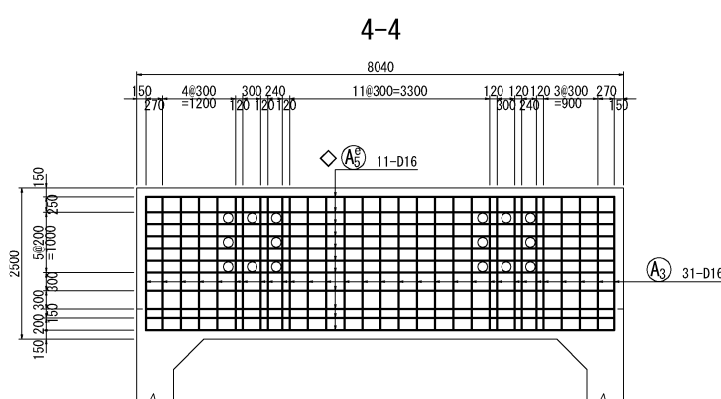
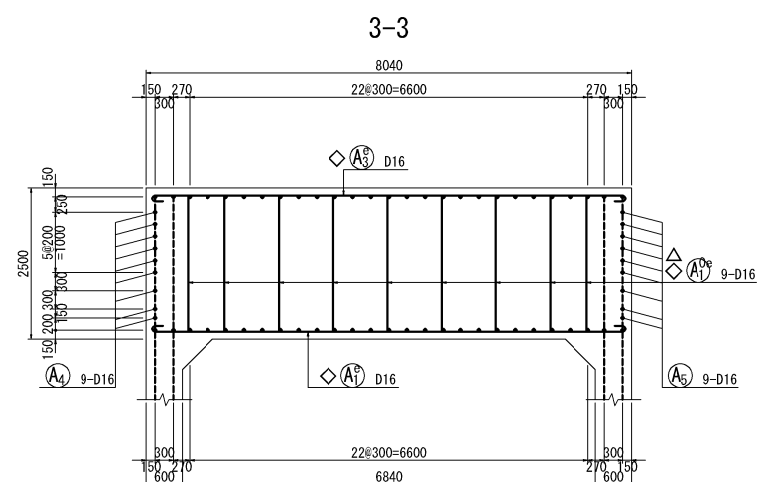
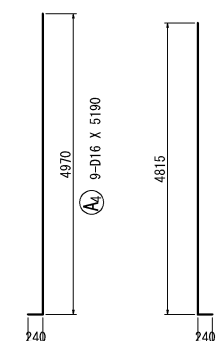
道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 1橋台配筋図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

占冠PAアクセス路橋 A1橋台配筋図(その2) S= 1:125

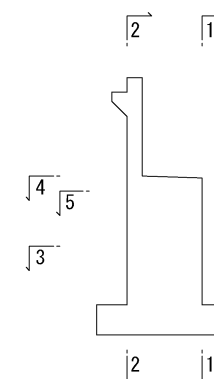


記 号	径	本数	a	L
A 1- 1	D19	1	48'4	5070
- 2	"	1	4820	5080
- 3	"	1	4825	5090
- 4	"	1	4831	5090
- 5	"	1	4837	5100
- 6	"	1	4843	5100
- 7	"	1	4849	5110
- 8	"	1	4855	5120
- 9	"	1	4861	5120
-10	"	1	4867	5130
-11	"	1	4873	5130
-12	"	1	4879	5140
-13	"	1	4885	5150
-14	"	1	4891	5150
-15	"	1	4897	5160
-16	"	1	4903	5160
-17	"	1	4909	5170
-18	"	1	4915	5180
-19	"	1	4921	5180
-20	"	1	4927	5190
-21	"	1	4933	5190
-22	"	1	4939	5200
-23	"	1	4945	5210
-24	"	1	4951	5210
-25	"	1	4957	5220
-26	"	1	4963	5220
-27	"	1	4969	5230
平均長	27			5151

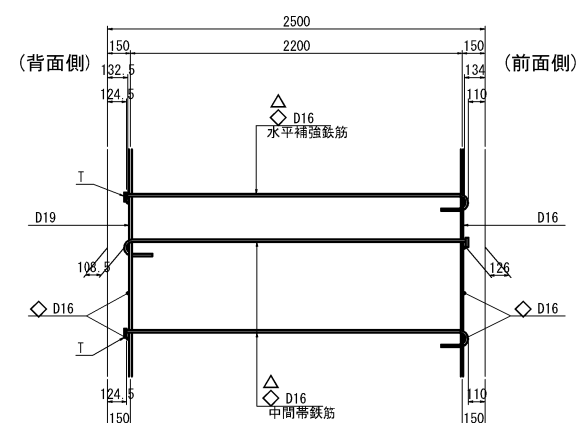
記 号	径	本数	a	L
A 2- 1	D16	1	4815	5030
- 2	"	1	4821	5040
- 3	"	1	4827	5050
- 4	"	1	4833	5050
- 5	"	1	4839	5060
- 6	"	1	4845	5070
- 7	"	1	4851	5070
- 8	"	1	4857	5080
- 9	"	1	4863	5080
-10	"	1	4869	5090
-11	"	1	4875	5090
-12	"	1	4881	5100
-13	"	1	4887	5110
-14	"	1	4893	5110
-15	"	1	4899	5120
-16	"	1	4905	5120
-17	"	1	4911	5130
-18	"	1	4917	5140
-19	"	1	4923	5140
-20	"	1	4929	5150
-21	"	1	4935	5150
-22	"	1	4941	5160
-23	"	1	4947	5170
-24	"	1	4953	5170
-25	"	1	4959	5180
-26	"	1	4964	5180
-27	"	1	4970	5190
平均長		27		5112



位置図



かぶり詳細図 S=1:50



注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満たすこと。

① 道路橋示方書-同解説(H29.11 日本道路協会)

② 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

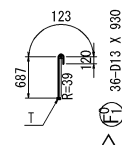
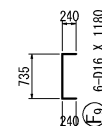
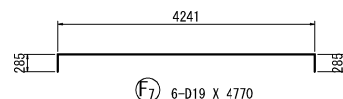
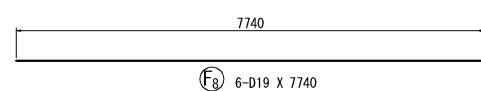
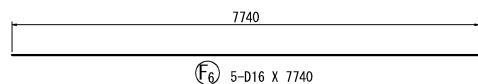
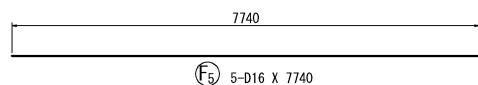
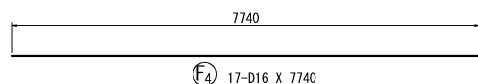
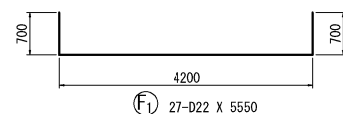
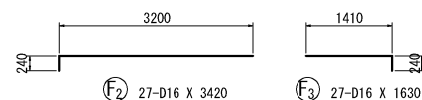
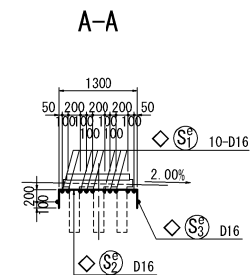
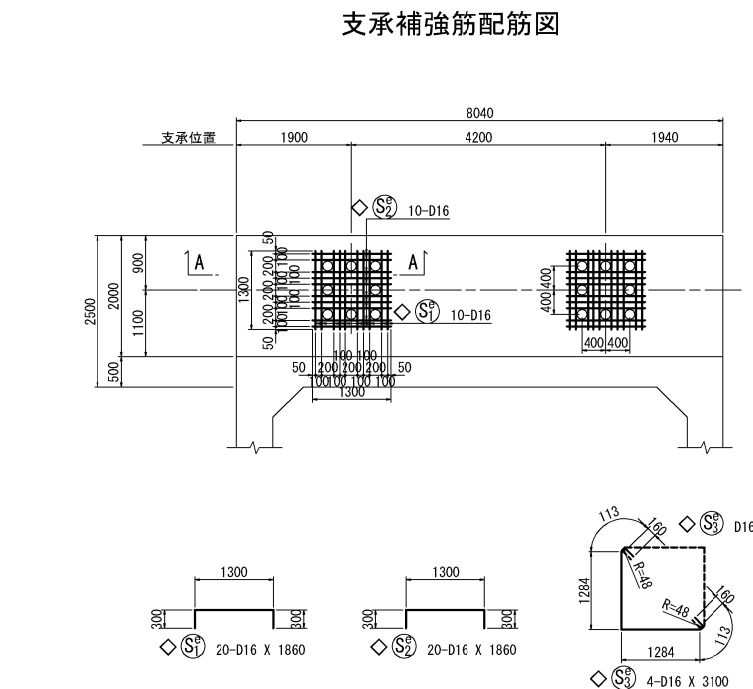
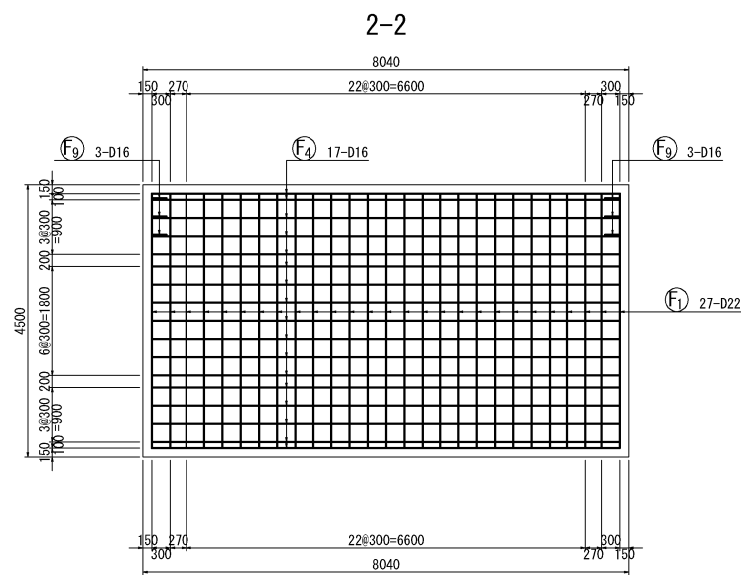
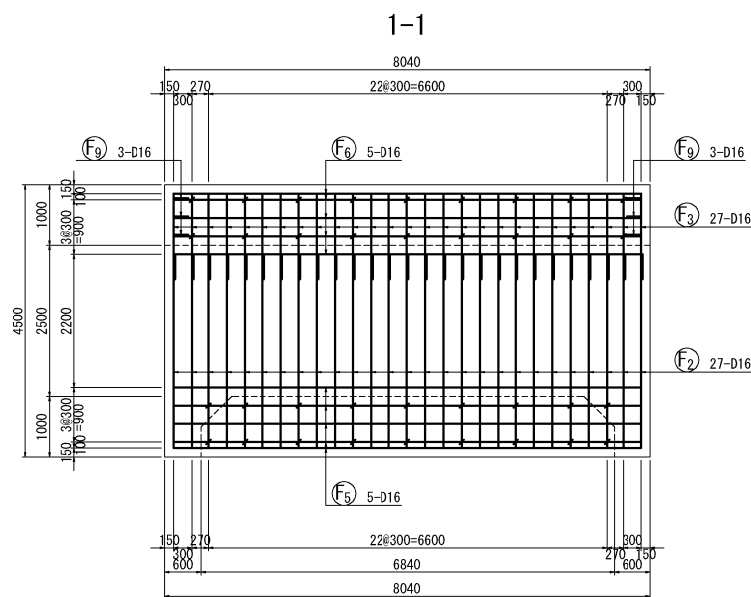
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と平円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2) ↑印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

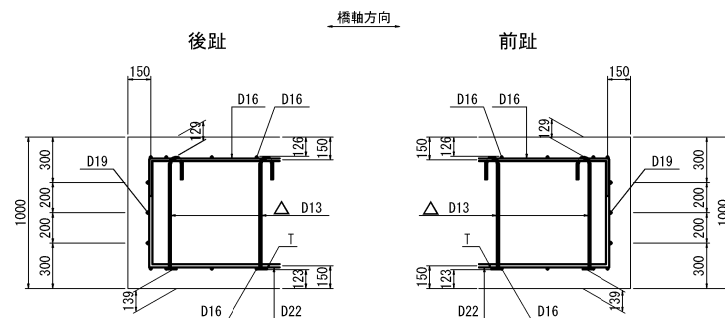
注3) △鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

注4) 鉄筋長は切り欠きの10mm丸くとする。

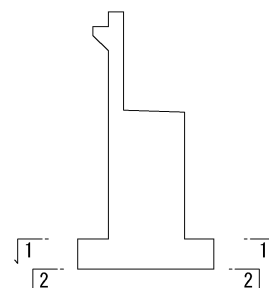
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A：橋台配筋図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



かぶり詳細図 S=1:50



位置図



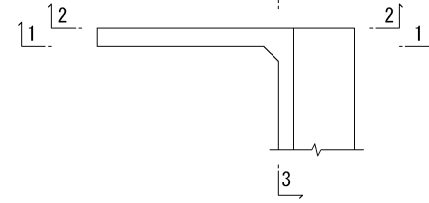
注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。

注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 1橋台配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

① 1. 道路橋示方書・同解説 (H29. 11 日本道路協会)

2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28. 7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

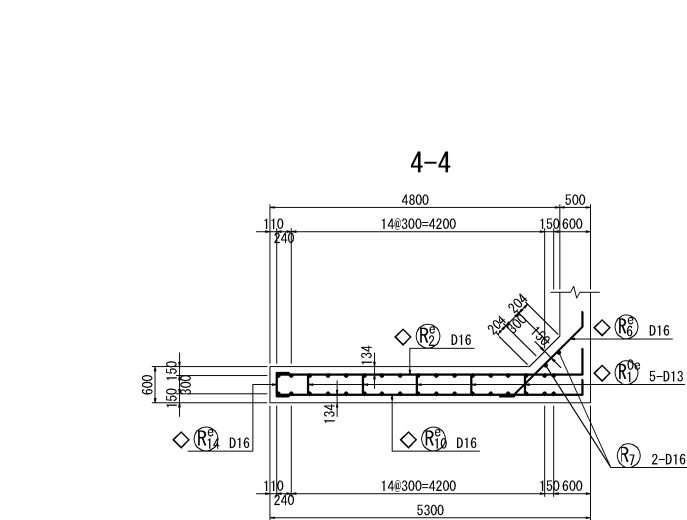
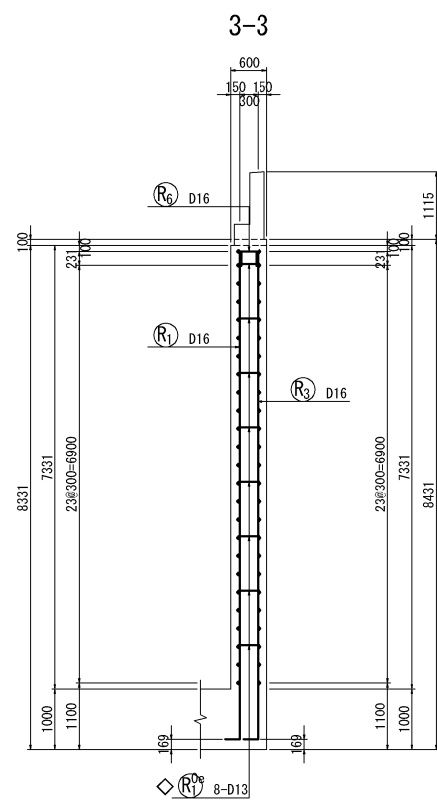
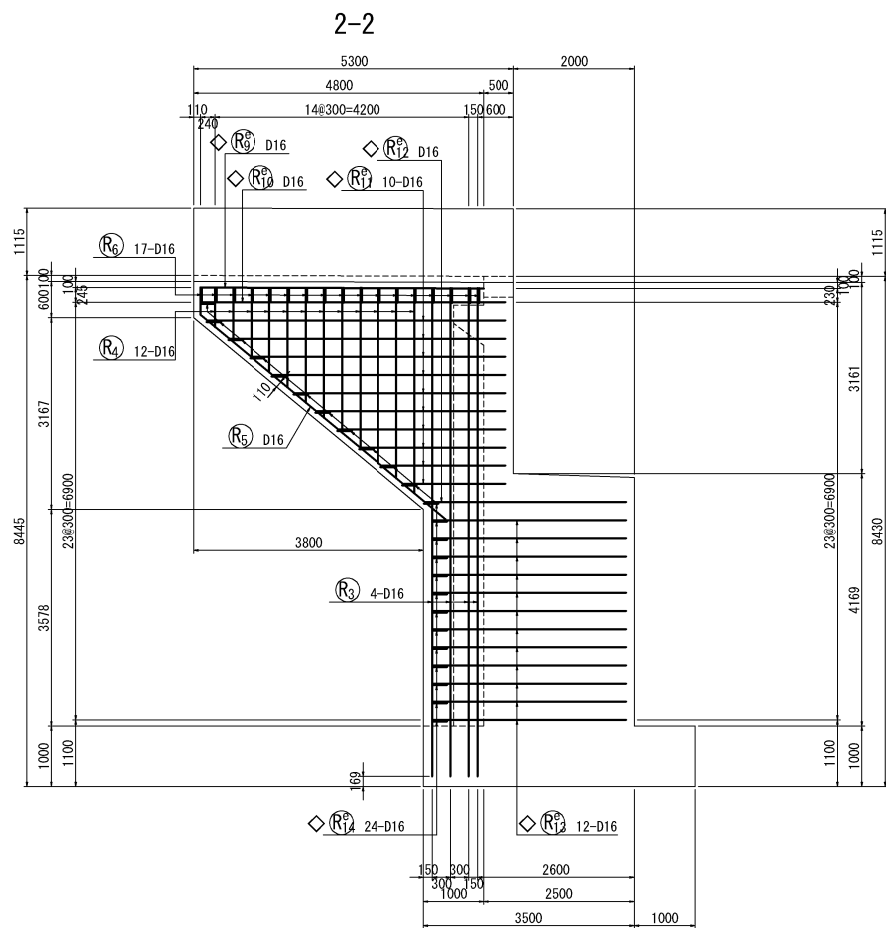
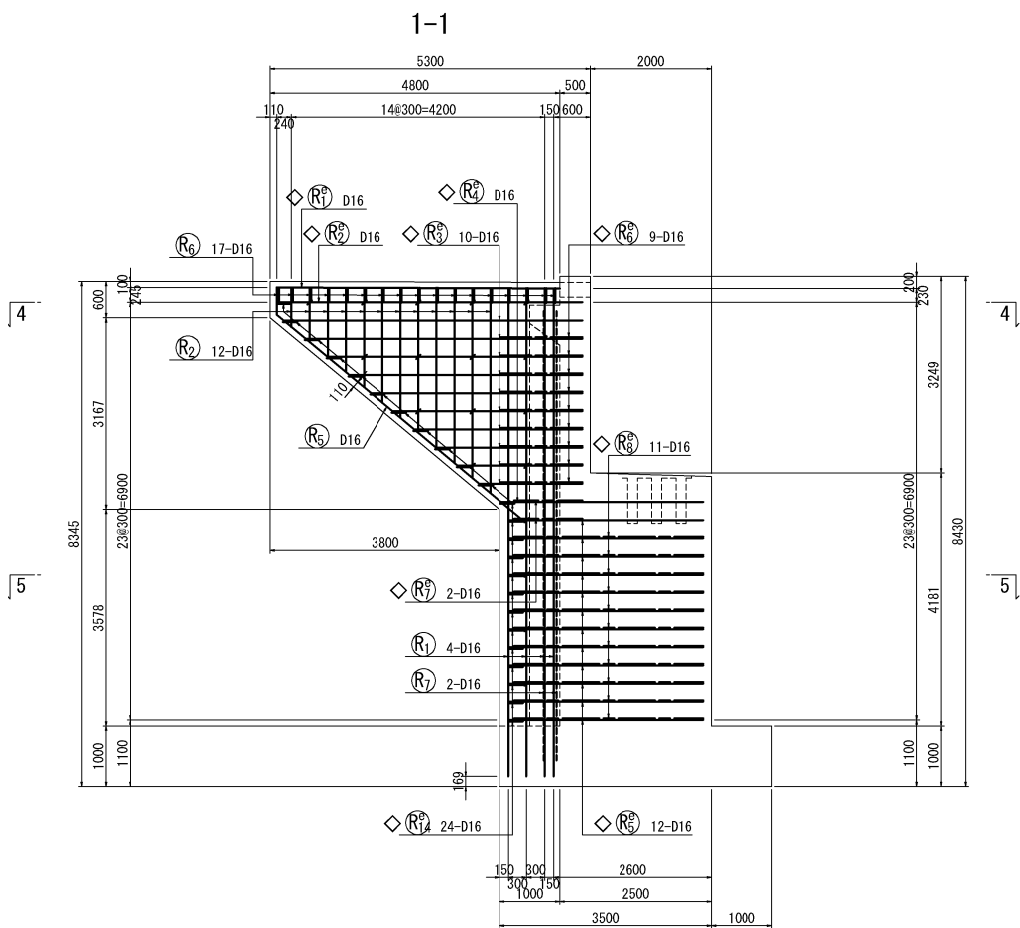
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

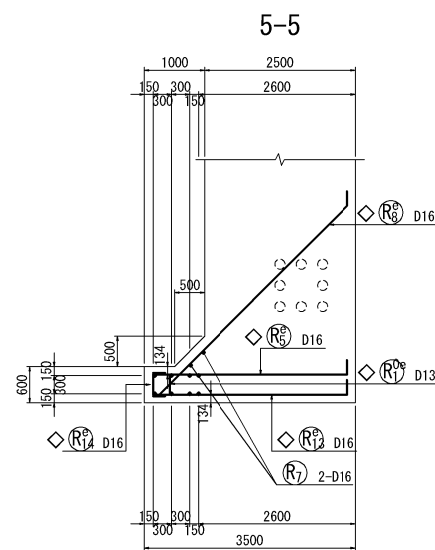
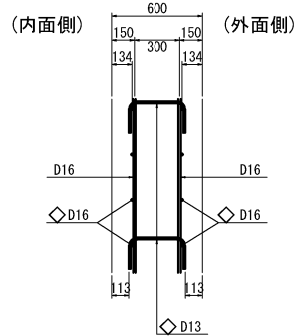
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄棒を表す。

注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸とする。

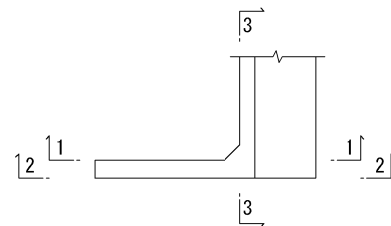
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類		類型PAアクセス路橋 A・橋台配筋図（その4）	
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速度道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



かぶり詳細図 S=1:50



位置図



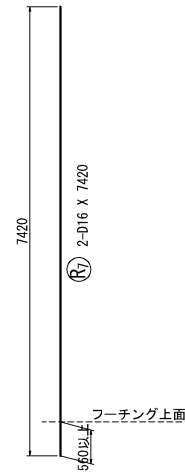
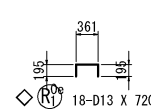
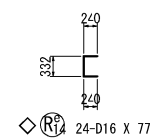
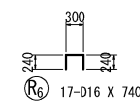
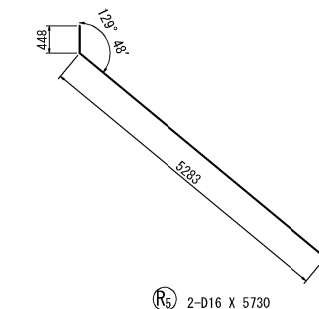
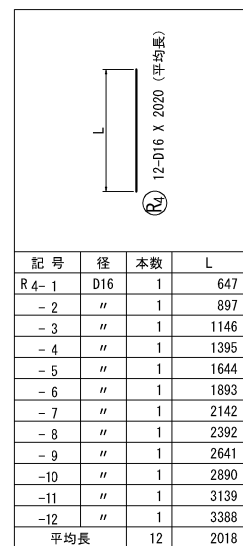
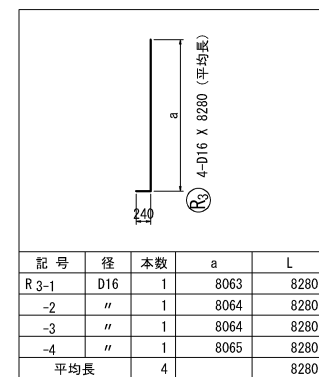
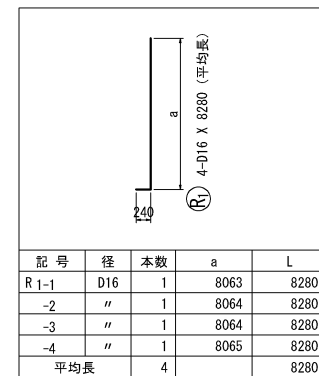
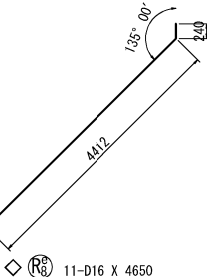
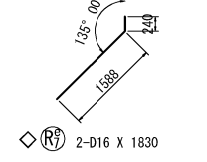
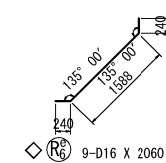
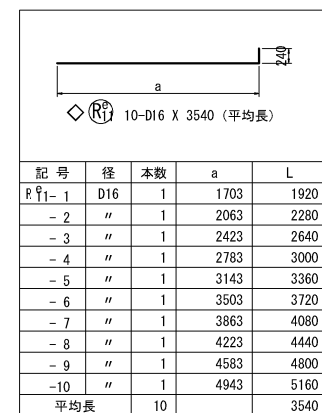
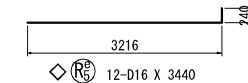
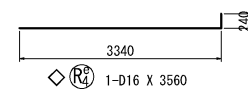
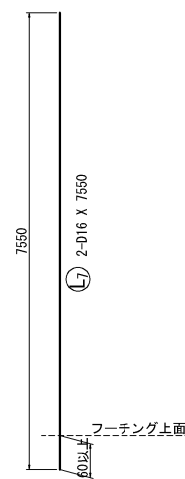
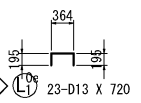
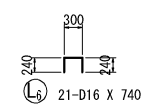
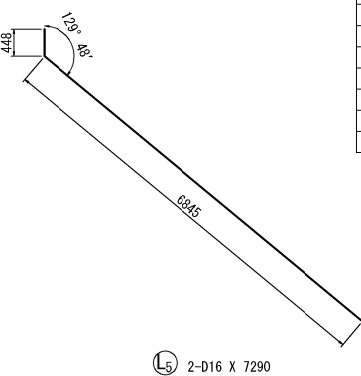
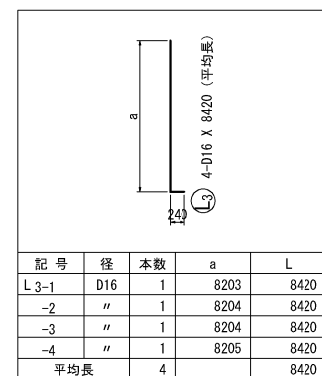
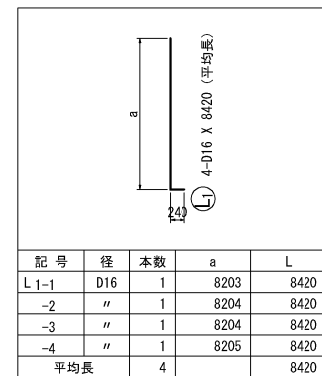
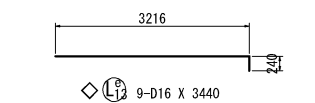
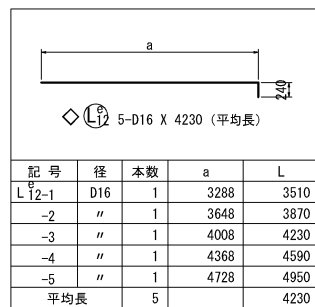
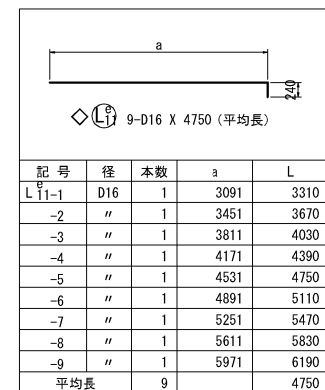
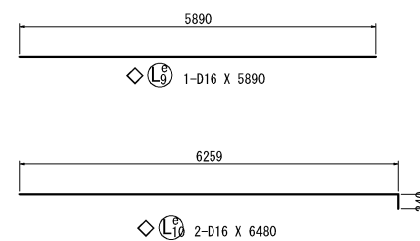
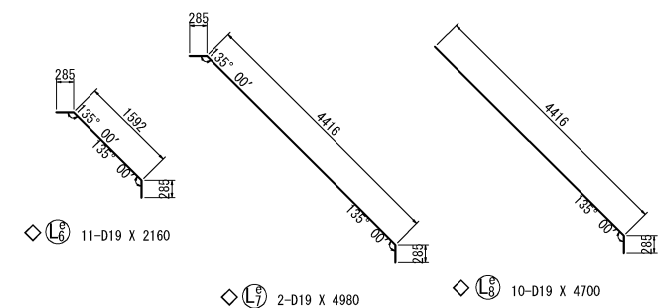
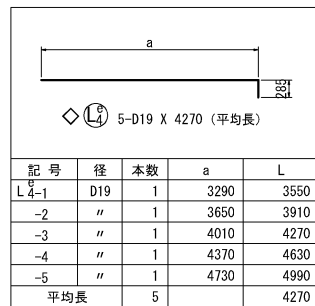
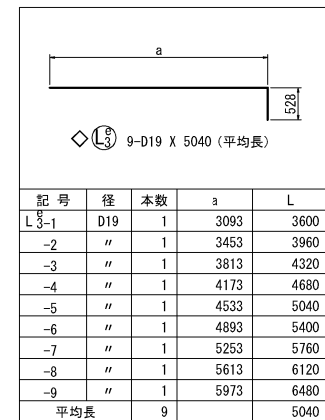
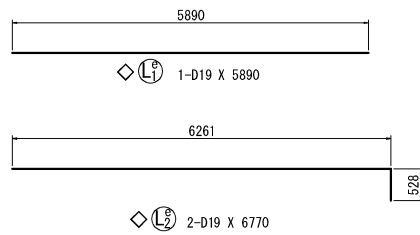
注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。

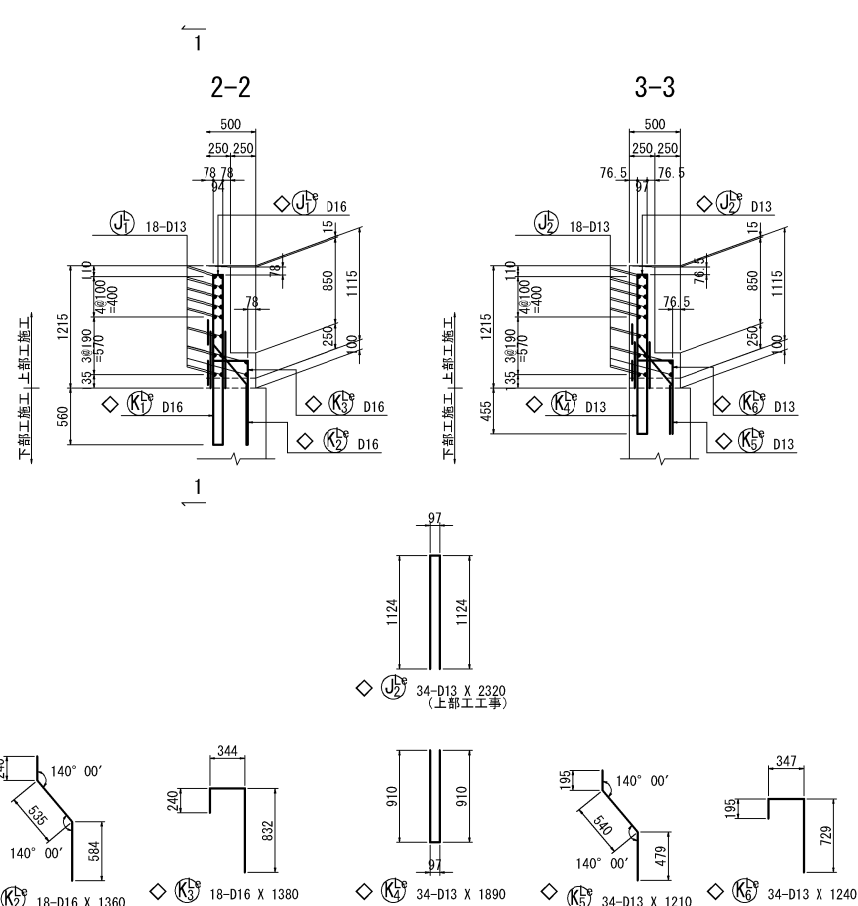
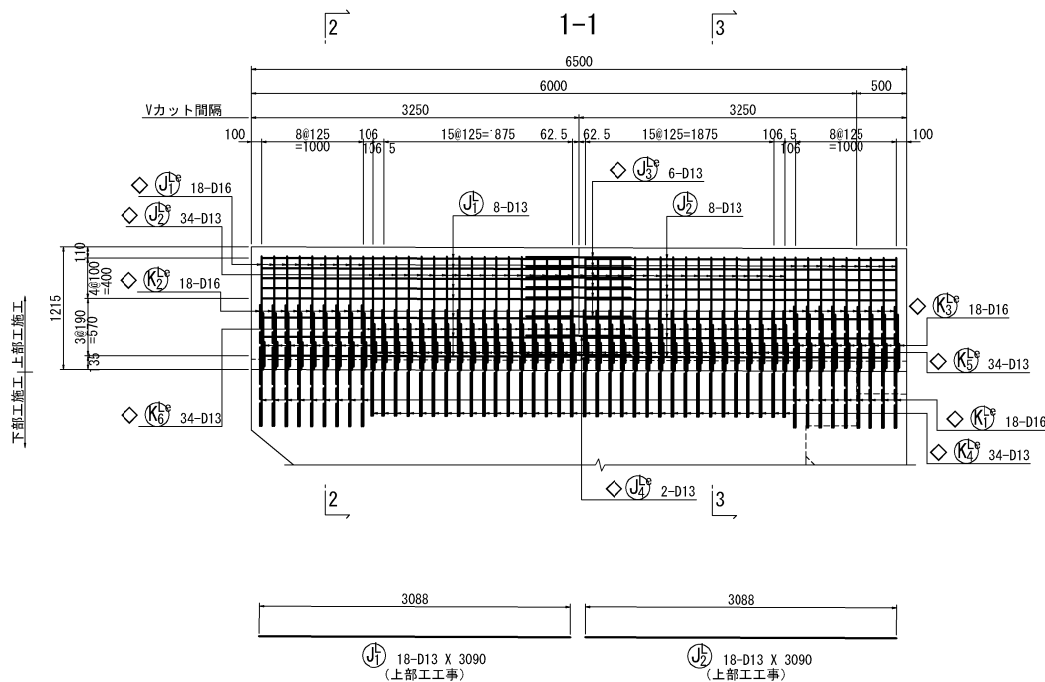
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 1橋台配筋図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

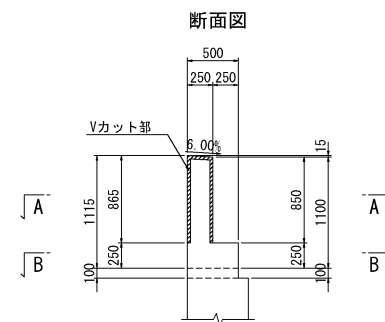


注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

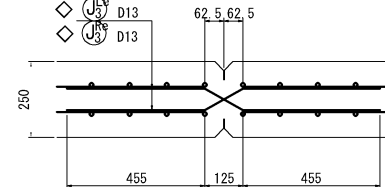
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 1橋台配筋図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		



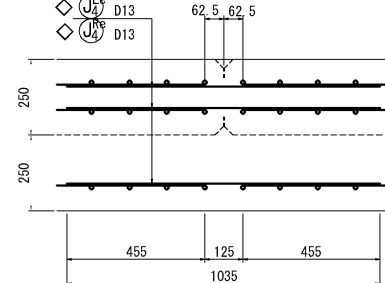
Vカット部詳細図



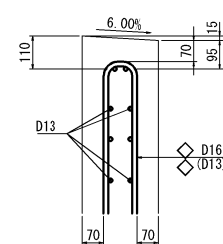
A-A S=1:25



B-B S=1:25

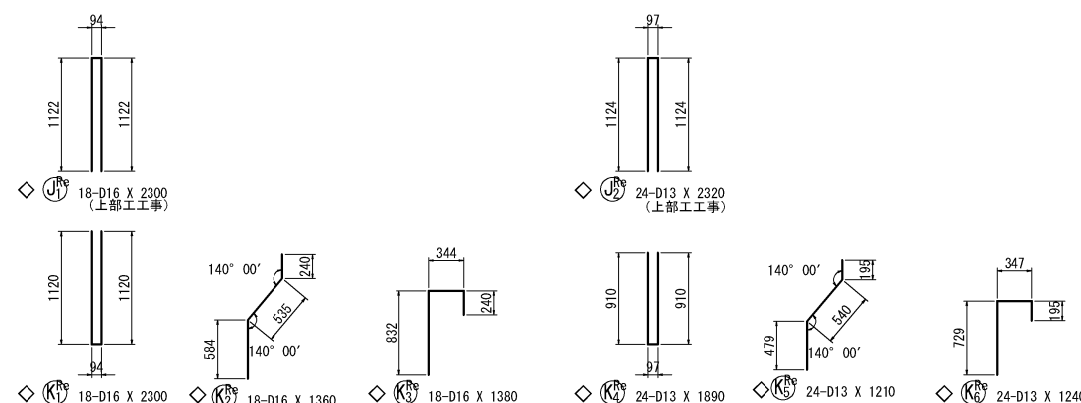
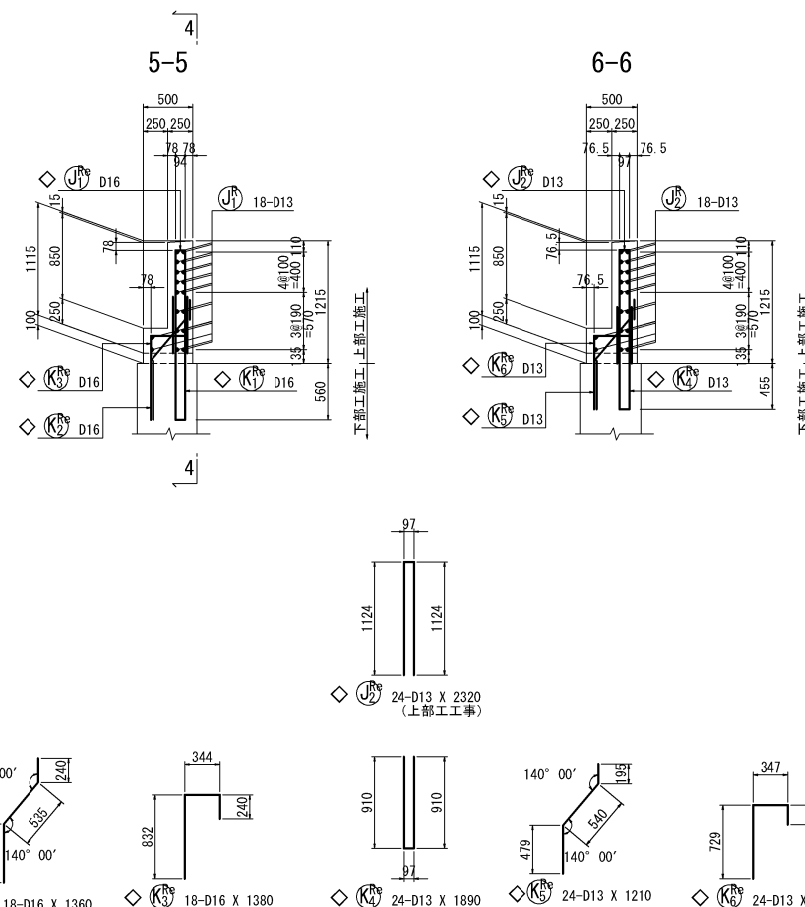
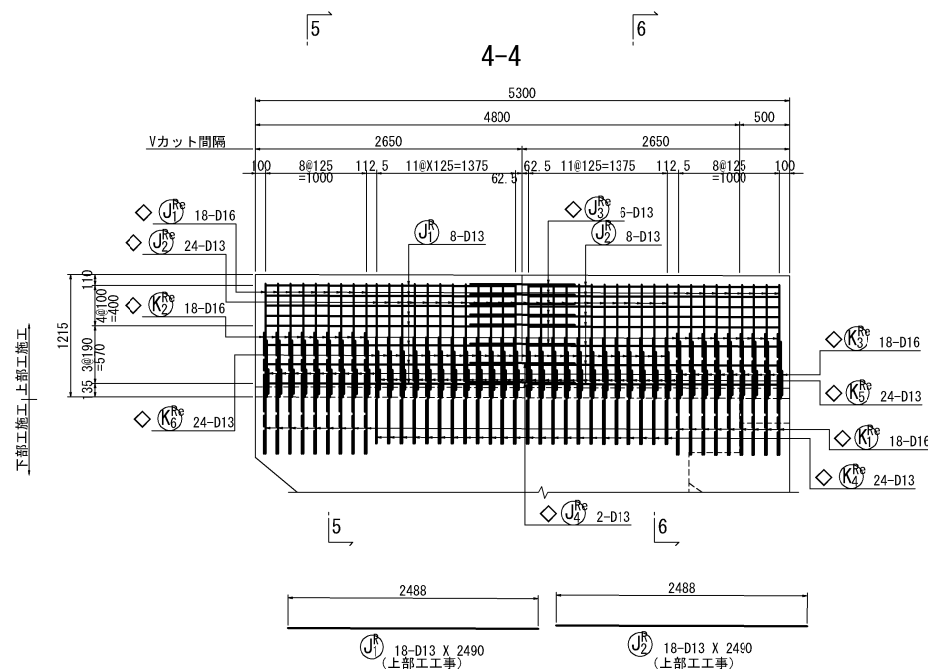


かぶり詳細図 S=1:25



- 注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
- 注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

右側壁高欄



道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 1橋台配筋図（その7）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工事事務所		

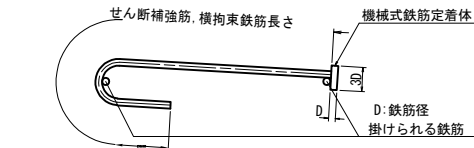
鉄筋質量表（下部工施工）						普通鉄筋	
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P 1	D19	3740	27	2.25	8.42	227	┐
P 2	D22	3650	27	3.04	11.1	300	┐
P 3	D16	640	27	1.56	0.998	27	┐
						554	
E 1	D16	2370	23	1.56	3.70	85	ㄣ
E 2	D13	1590	9	0.995	1.58	14	┐
						99	
A 1	D19	5160	27	2.25	11.6	313	┐ (平均値)
A 2	D16	5120	27	1.56	7.99	216	┐ (平均値)
A 3	〃	4120	31	1.56	6.43	199	┐
A 4	〃	5190	9	1.56	8.10	73	┐
A 5	〃	5040	9	1.56	7.86	71	┐
						872	
F 1	D22	5550	27	3.04	16.9	456	┐
F 2	D16	3420	27	1.56	5.34	144	┐
F 3	〃	1630	27	1.56	2.54	69	┐
F 4	〃	7740	17	1.56	12.1	206	┐
F 5	〃	7740	5	1.56	12.1	61	┐
F 6	〃	7740	5	1.56	12.1	61	┐
F 7	D19	4770	6	2.25	10.7	64	┐
F 8	〃	7740	6	2.25	17.4	104	┐
F 9	D16	1180	6	1.56	1.84	11	┐
						1176	
F 10	D13	930	36	0.995	0.925	33	┐ (平均値)
						33	
L 1	D16	8420	4	1.56	13.1	52	┐ (平均値)
L 2	〃	2520	16	1.56	3.93	63	┐ (平均値)
L 3	〃	8420	4	1.56	13.1	52	┐ (平均値)
L 4	〃	2520	16	1.56	3.93	63	┐ (平均値)
L 5	〃	7290	2	1.56	11.4	23	┐
L 6	〃	740	21	1.56	1.15	24	┐
L 7	〃	7550	2	1.56	11.8	24	┐
						301	
R 1	D16	8280	4	1.56	12.9	52	┐ (平均値)
R 2	〃	2020	12	1.56	3.15	38	┐ (平均値)
R 3	〃	8280	4	1.56	12.9	52	┐ (平均値)
R 4	〃	2020	12	1.56	3.15	38	┐ (平均値)
R 5	〃	5730	2	1.56	8.94	18	┐
R 6	〃	740	17	1.56	1.15	20	┐
R 7	〃	7420	2	1.56	11.6	23	┐
						241	
		A	B	C	A+B+C		
合計		D22	756 kg	—	—	756 kg	
		D19	708 kg	—	—	708 kg	
		D16	1765 kg	—	—	1765 kg	
		D13	14 kg	—	33 kg	47 kg	
総質量			3243 kg	—	33 kg	3276 kg	

注) ()B:機械継手とガス圧継手を示し()内は箇所数を示す。
()C:機械式鉄筋定着箇所を示し()内は箇所数を示す。

鉄筋集計表		普通鉄筋			
種 別	径	下部工施工			
		躯体	壁高欄	合計	
A (SD345)	D13	14	-	14	
	D16 ∟	D16	1765	-	1765
		D19	708	-	708
		D22	756	-	756
	D25	D25	-	-	-
	計	3229	-	3229	
	D29	D29	-	-	-
	∟	D32	-	-	-
		D32	計	-	-
	D35	-	-	-	-
	D38	-	-	-	-
	D41	-	-	-	-
	D51	-	-	-	-
	合 計	3243	-	3243	
B (SD345)	D16 ∟	D16	-	-	-
		D19	-	-	-
		D22	-	-	-
	D25	D25	-	-	-
	計	-	-	-	
	D29	D29	-	-	-
	∟	D32	-	-	-
		D32	計	-	-
	D35	-	-	-	-
	D38	-	-	-	-
	D41	-	-	-	-
	D51	-	-	-	-
	合 計	-	-	-	
	C (SD345)	D13	33	-	33
D16 ∟		D16	-	-	-
		D19	-	-	-
		D22	-	-	-
D25		D25	-	-	-
計		-	-	-	
D29		D29	-	-	-
∟		D32	-	-	-
		D32	計	-	-
D35		-	-	-	-
D38		-	-	-	-
D41		-	-	-	-
D51		-	-	-	-
合 計		33	-	33	
総 質 量		3276	-	3276	

機械式鉄筋定着工法数量表（下部工施工）									
鉄筋長(L)	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	普通鉄筋	
L≤1m	36	—	—	—	—	—	—	—	—
1m<L≤2m	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2m<L≤3m	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3m<L≤4m	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4m<L≤5m	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5m<L≤6m	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	36	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	36								

機械式鉄筋定着体形状図



鉄筋部分を斜めにして定着体を掛けられる鉄筋に完全に掛けること

鉄筋加工寸法表

主筋		せん断補強筋	
		<	

鉄筋質量表（下部工施工）

エポキシ鉄筋						
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量 摘要
P ^e ₁₋₁	D19	3500	6	2.25	7.88	47 〓
P ^e ₁₋₂	D16	5290	6	1.56	8.25	50 〓
P ^e ₂₋₁	D19	5000	5	2.25	11.3	57 〓
P ^e ₂₋₂	D16	3790	5	1.56	5.91	30 〓
P ^e ₃	〃	7750	11	1.56	12.1	133 〓
P ^a ₄	〃	1040	34	1.56	1.62	55 㐁
372						
P ^{0e} ₁	D16	500	90	1.56	0.780	70 〓 (000)
70						
E ^e ₁	D16	7750	4	1.56	12.1	48 〓
E ^e ₂	D22	520	9	3.04	1.58	14 㐁
62						
A ^e ₁	D16	8240	14	1.56	12.9	181 〓
A ^e ₂	〃	8240	1	1.56	12.9	13 〓
A ^e ₃	〃	8240	14	1.56	12.9	181 〓
A ^e ₄	〃	8240	1	1.56	12.9	13 〓
A ^e ₅	〃	8810	11	1.56	13.7	151 〓
539						
A ^{0e} ₁	D16	2490	63	1.56	3.88	244 〓 (000)
A ^{0e} ₂	〃	2490	29	1.56	3.88	113 〓 (200)
357						
S ^e ₁	D16	1860	20	1.56	2.90	58 〓
S ^e ₂	〃	1860	20	1.56	2.90	58 〓
S ^e ₃	〃	3100	4	1.56	4.84	19 㐁
135						
L ^e ₁	D19	5890	1	2.25	13.3	13 〓
L ^e ₂	〃	6770	2	2.25	15.2	30 〓
L ^e ₃	〃	5040	9	2.25	11.3	102 〓 (000)
L ^e ₄	〃	4270	5	2.25	9.61	48 〓 (000)
L ^e ₅	〃	3480	9	2.25	7.83	70 〓
L ^e ₆	〃	2160	11	2.25	4.86	53 㐁
L ^e ₇	〃	4980	2	2.25	11.2	22 㐁
L ^e ₈	〃	4700	10	2.25	10.6	106 㐁
L ^e ₉	D16	5890	1	1.56	9.19	9 〓
L ^e ₁₀	〃	6480	2	1.56	10.1	20 〓
L ^e ₁₁	〃	4750	9	1.56	7.41	67 〓 (000)
L ^e ₁₂	〃	4230	5	1.56	6.60	33 〓 (000)
L ^e ₁₃	〃	3440	9	1.56	5.37	48 〓
L ^e ₁₄	〃	780	25	1.56	1.22	31 㐁
652						
L ^{0e} ₁	D13	720	23	0.995	0.716	16 〓
16						
R ^e ₁	D16	4690	1	1.56	7.32	7 〓
R ^e ₂	〃	5470	1	1.56	8.53	9 〓
R ^e ₃	〃	3730	10	1.56	5.82	58 〓 (000)
R ^e ₄	〃	3560	1	1.56	5.55	6 〓
R ^e ₅	〃	3440	12	1.56	5.37	64 〓
R ^e ₆	〃	2060	9	1.56	3.21	29 㐁
R ^e ₇	〃	1830	2	1.56	2.85	6 㐁
R ^e ₈	〃	4650	11	1.56	7.25	80 㐁
R ^e ₉	〃	4690	1	1.56	7.32	7 〓
R ^e ₁₀	〃	5280	1	1.56	8.24	8 〓
R ^e ₁₁	〃	3540	10	1.56	5.52	55 〓 (000)
R ^e ₁₂	〃	3560	1	1.56	5.55	6 〓
R ^e ₁₃	〃	3440	12	1.56	5.37	64 〓
R ^e ₁₄	〃	770	24	1.56	1.20	29 㐁
428						
R ^{0e} ₁	D13	720	18	0.995	0.716	13 〓
13						

鉄筋質量表（下部工施工）

エポキシ鉄筋						
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量 摘要
K ^{Le} ₁	D16	2300	18	1.56	3.59	65 㐁
K ^{Le} ₂	〃	1360	18	1.56	2.12	38 㐁
K ^{Le} ₃	〃	1380	18	1.56	2.15	39 㐁
K ^{Le} ₄	D13	1890	34	0.995	1.88	64 㐁
K ^{Le} ₅	〃	1210	34	0.995	1.20	41 㐁
K ^{Le} ₆	〃	1240	34	0.995	1.23	42 㐁
289						
K ^{Re} ₁	D16	2300	18	1.56	3.59	65 㐁
K ^{Re} ₂	〃	1360	18	1.56	2.12	38 㐁
K ^{Re} ₃	〃	1380	18	1.56	2.15	39 㐁
K ^{Re} ₄	D13	1890	24	0.995	1.88	45 㐁
K ^{Re} ₅	〃	1210	24	0.995	1.20	29 㐁
K ^{Re} ₆	〃	1240	24	0.995	1.23	30 㐁
246						
A				B	C	A+B+C
合 計 D22				14 kg	—	14 kg
D19				548 kg	—	548 kg
D16				1910 kg	—	427 kg 2337 kg
D13				280 kg	—	280 kg
総質量				2752 kg	—	427 kg 3179 kg

注) () B: 機械継手とガス圧接継手を示し () 内は箇所数を示す。
() C: 機械式鉄筋定着箇所を示し () 内は箇所数を示す。

鉄筋集計表

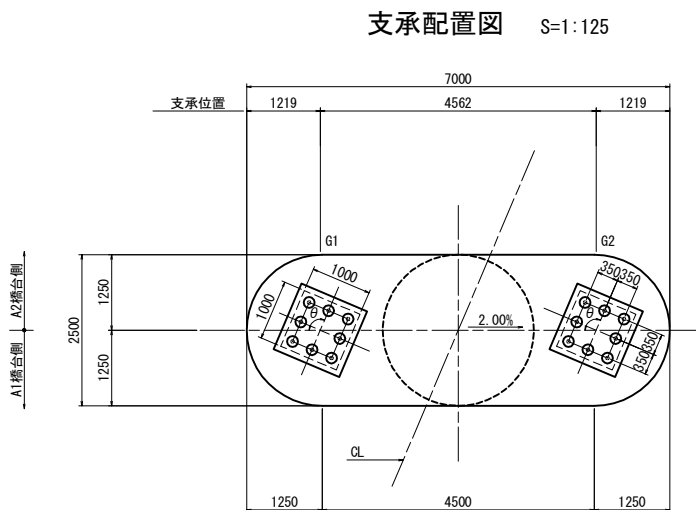
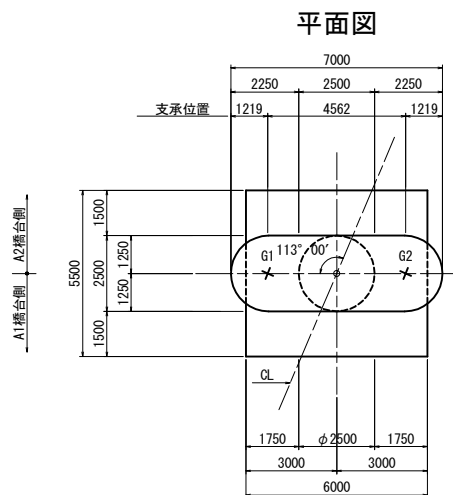
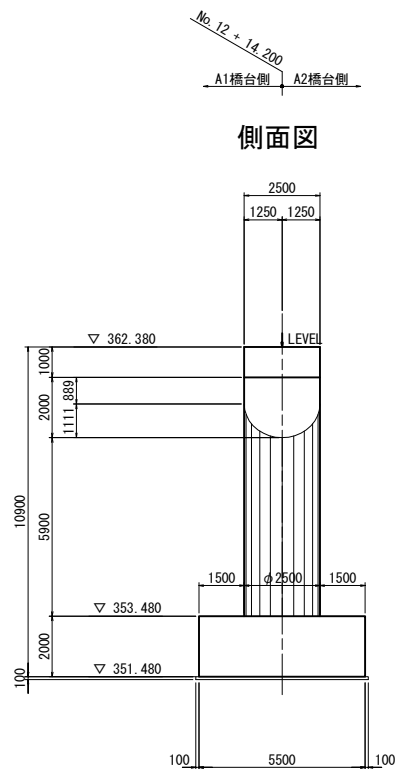
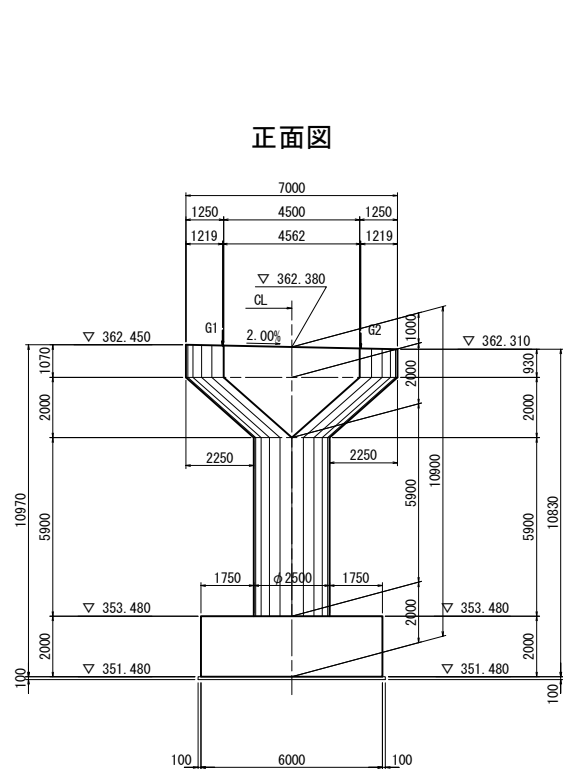
エポキシ鉄筋				
種 別	径	下部工施工		
		躯体	壁高欄	合計
A (SD345)	D13	29	251	280
	D16	D16	1626	284 1910
		D19	548	— 548
	D25	D22	14	— 14
		D25	—	—
	計	2188	284	2472
		D29	—	—
	D32	D32	—	—
		計	—	—
	D35	—	—	—
	D38	—	—	—
	D41	—	—	—
	D51	—	—	—
	合 計		2217	535 2752
B (SD345)	D16	—	—	—
	D19	D19	—	—
		D22	—	—
	D25	D25	—	—
		計	—	—
	D29	D29	—	—
		D32	—	—
	計	—	—	—
		D35	—	—
	D38	—	—	—
	D41	—	—	—
	D51	—	—	—
C (SD345)	合 計		—	—
	D13	—	—	—
	D16	D16	427	— 427
		D19	—	—
	D25	D22	—	—
		D25	—	—
	計	427	—	427
		D29	—	—
	D32	D32	—	—
		計	—	—
	D35	—	—	—
	D38	—	—	—
	D41	—	—	—
	D51	—	—	—
総 質 量	合 計		427	— 427
			2644	535 3179

機械式鉄筋定着工法数量表（下部工施工）

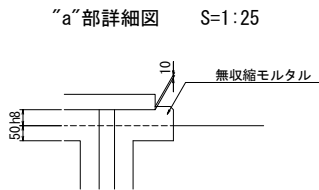
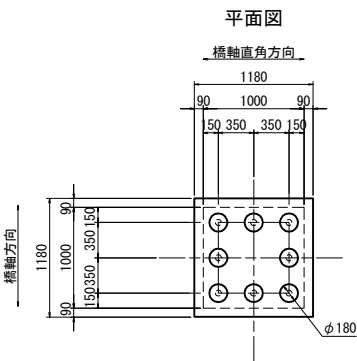
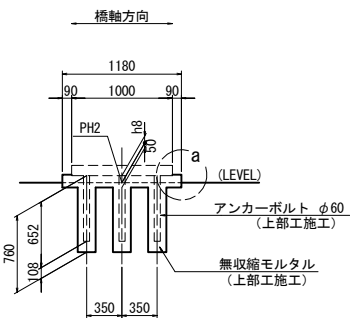
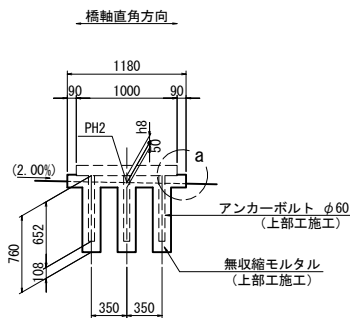
鉄筋長 (L)	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
L ≤ 1m	—	90	—	—	—	—	—
1m < L ≤ 2m	—	—	—	—	—	—	—
2m < L ≤ 3m	—	92	—	—	—	—	—
3m < L ≤ 4m	—	—	—	—	—	—	—
4m < L ≤ 5m	—	—	—	—	—	—	—
5m < L ≤ 6m	—	—	—	—	—	—	—
小 計	—	182	—	—	—	—	—
合 計	182						

エポキシ鉄筋

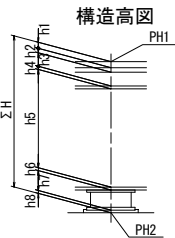
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 1 橋台配筋図（その9）		
縮 尺	図 示	図面番号	—
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



支承部詳細図 S=1:75
G1, G2

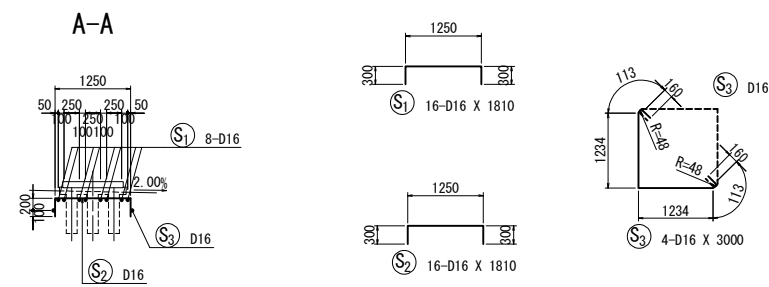
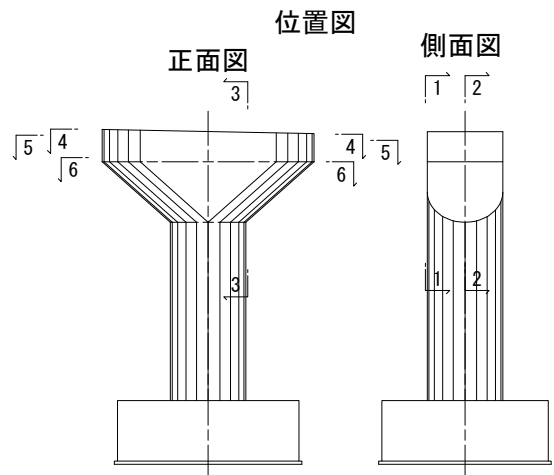
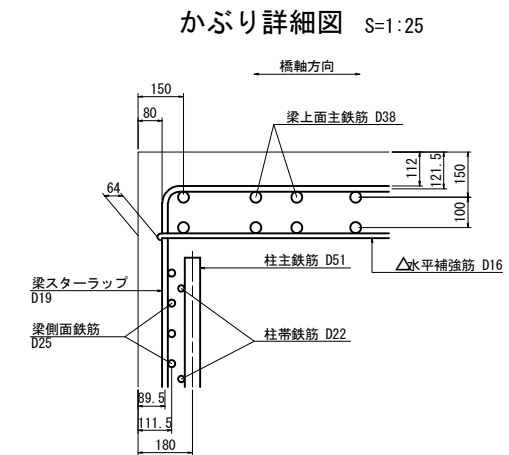
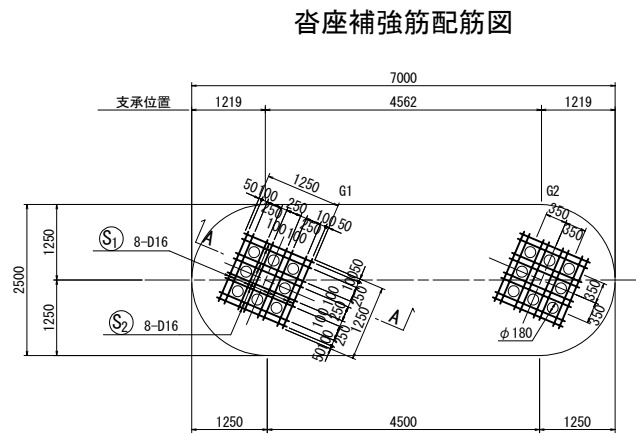
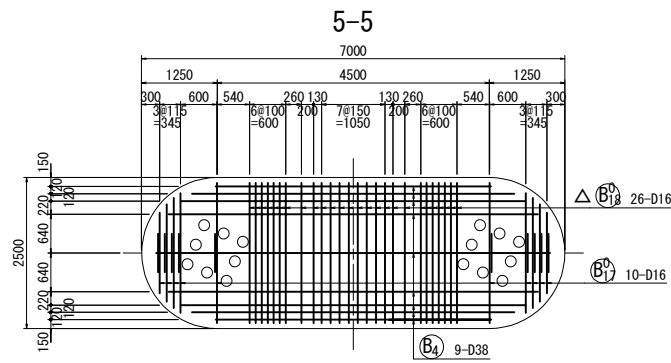
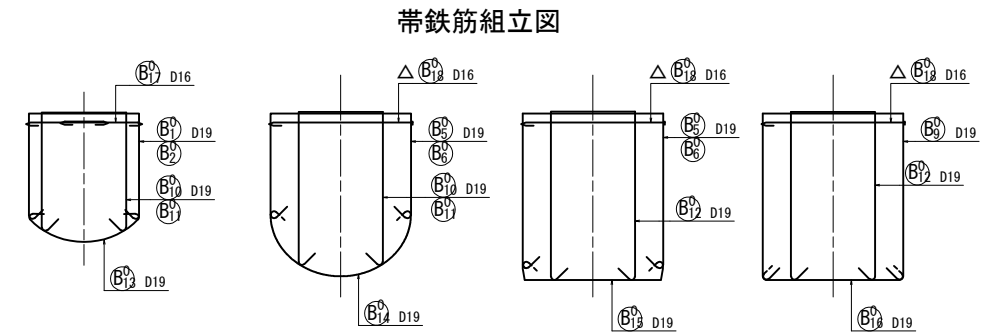
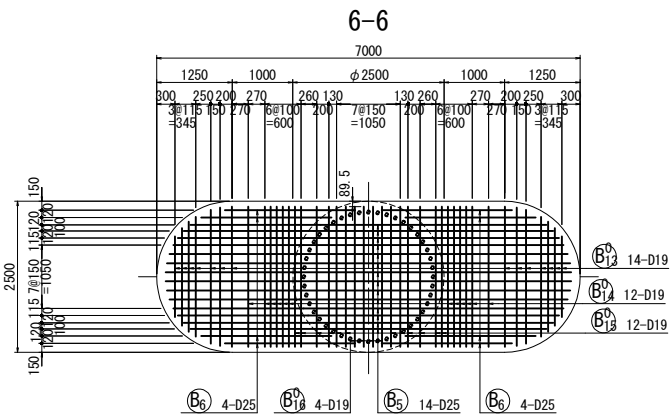
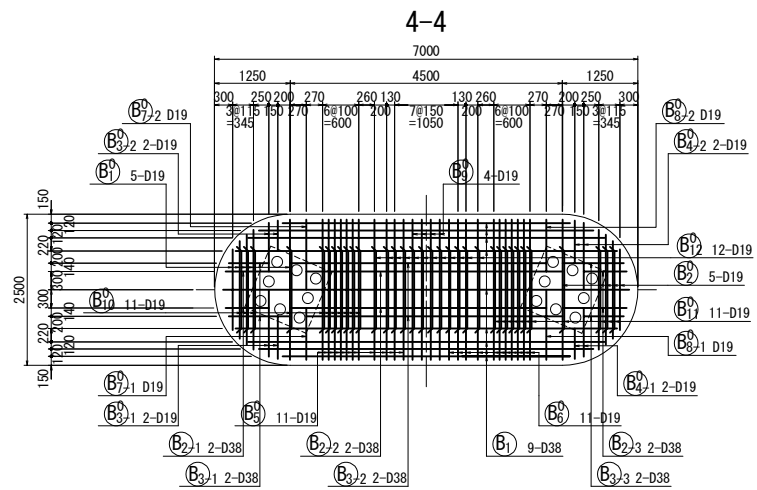
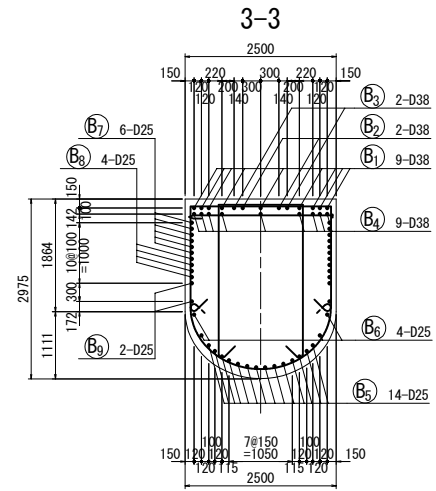
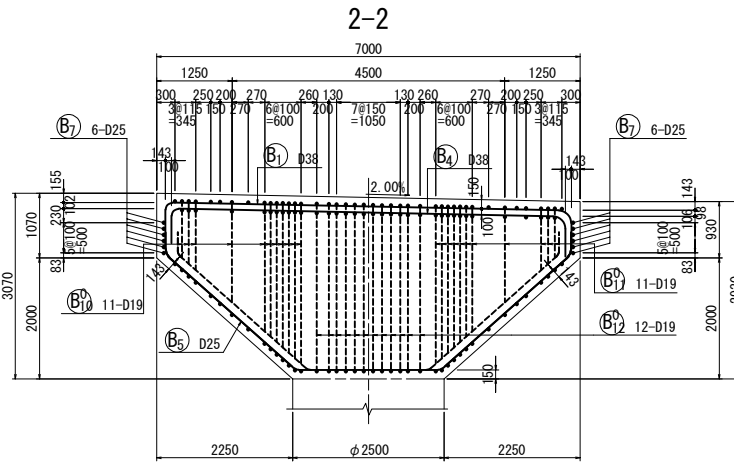
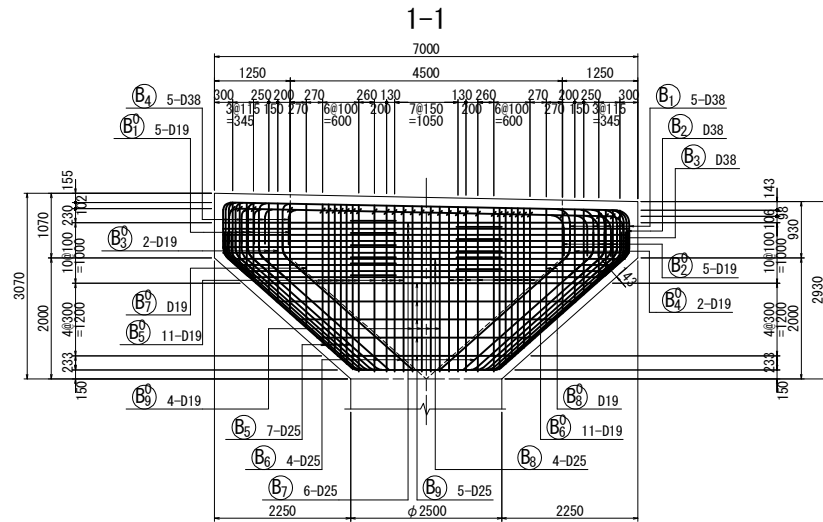


構造高表		(単位:m)	
		G1	G2
路面計画高	PH1	365.618	365.529
舗装厚	h1	0.050	0.050
床版厚	h2	0.250	0.250
ハンチ高	h3	0.100	0.100
桁高	h4	2.300	2.300
下フランジ厚	h5	0.051	0.053
ソールプレート厚	h6	0.040	0.040
支承高	h7	0.333	0.333
調整モルタル厚	h8	0.068	0.069
合計	ΣH	3.192	3.195
下部工天端標高	PH2	362.426	362.334
支承座標	X	-108652.5973	-108656.1510
	Y	15586.2445	15589.1062
支承設置角度	θ	113° 00' 00"	113° 00' 00"



数 量 表				
項 目	規格・寸法	単位	数 量	摘 要
構造物掘削	特殊部 F	m3	426.4	土砂
		m3	193.5	軟岩

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 P1橋脚構造一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等をも満足すること

① 道路標示方書—同解説 (H29.11 日本道路協会)

② 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

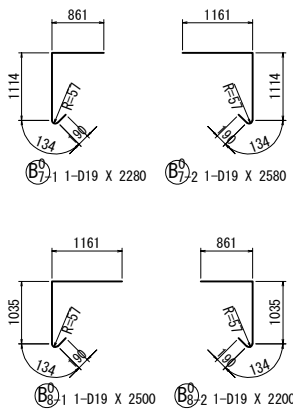
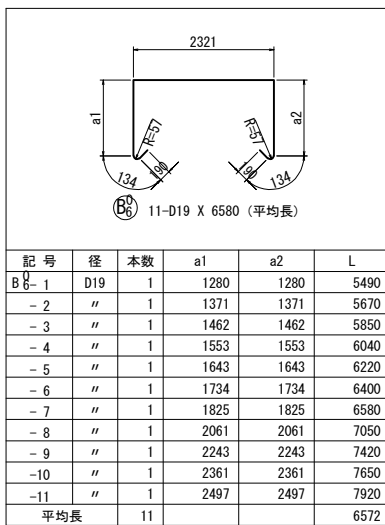
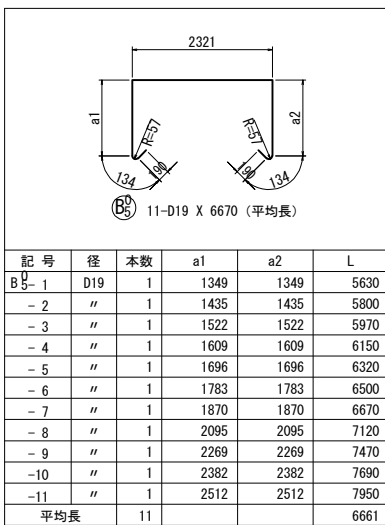
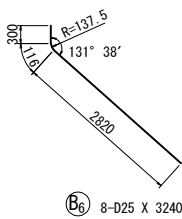
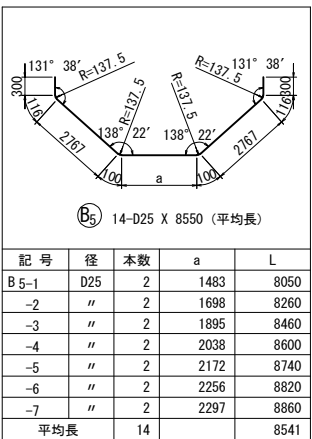
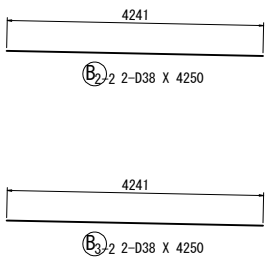
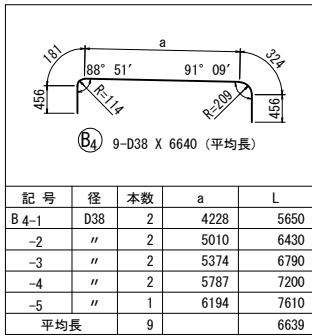
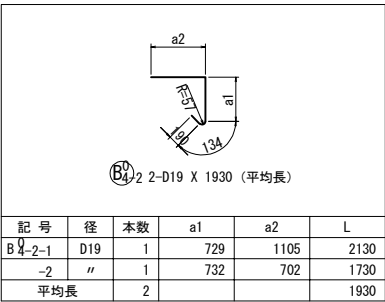
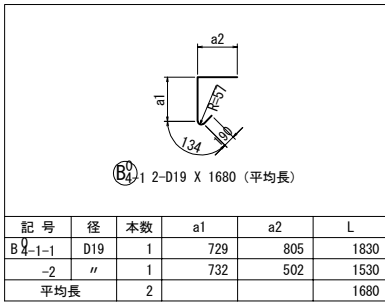
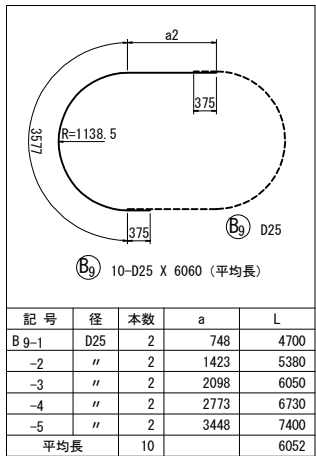
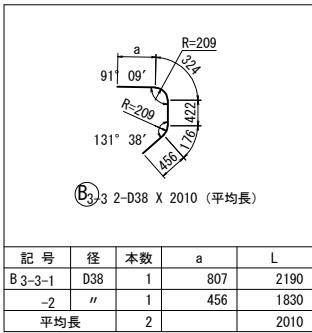
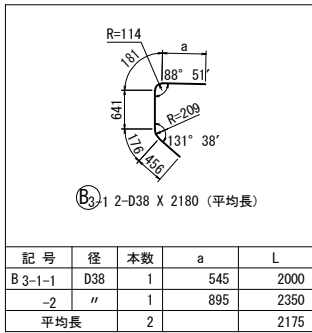
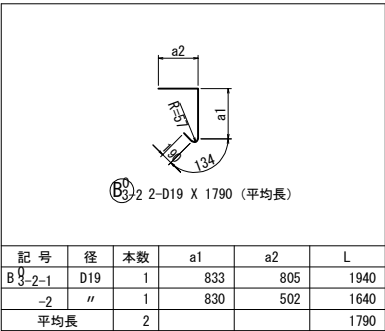
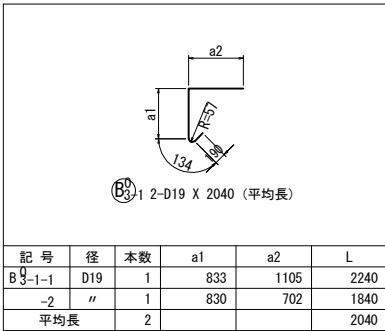
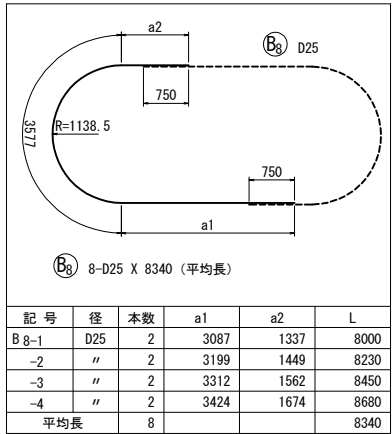
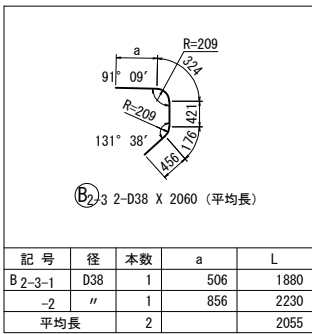
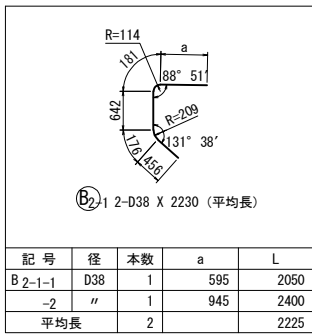
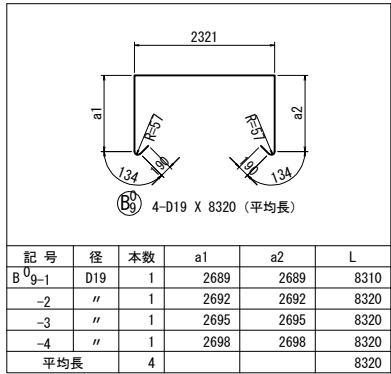
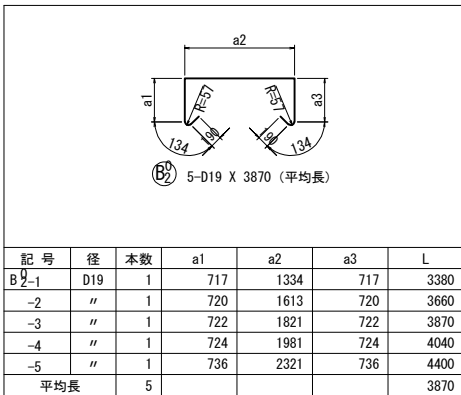
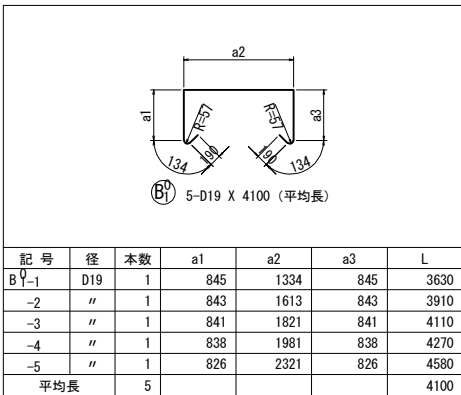
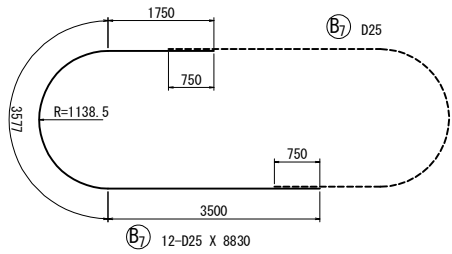
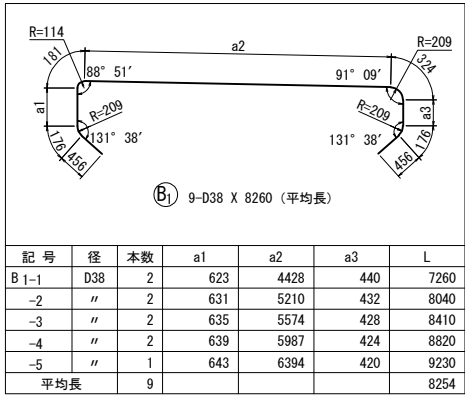
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形ツボの設置方向を変更してもよい。

注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄棒を表す。

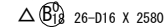
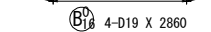
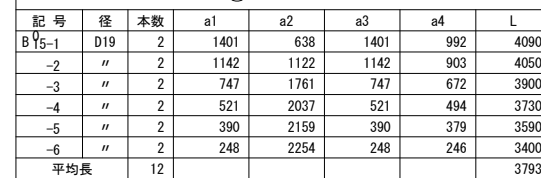
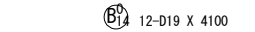
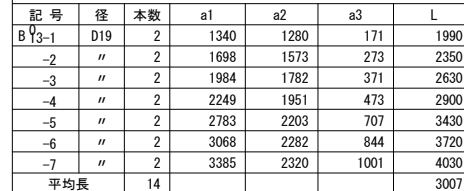
注4) 鉄筋長は切上げの0mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 P1橋脚配筋図（その1）		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

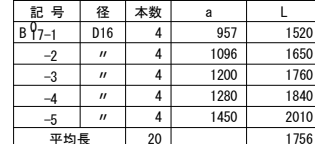


注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 P 1 橋脚配筋図 (その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



* 半円形フックを千鳥に配置すること。



注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。

① 道路標示方書一解説(H29.11 日本道路協会)

② 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

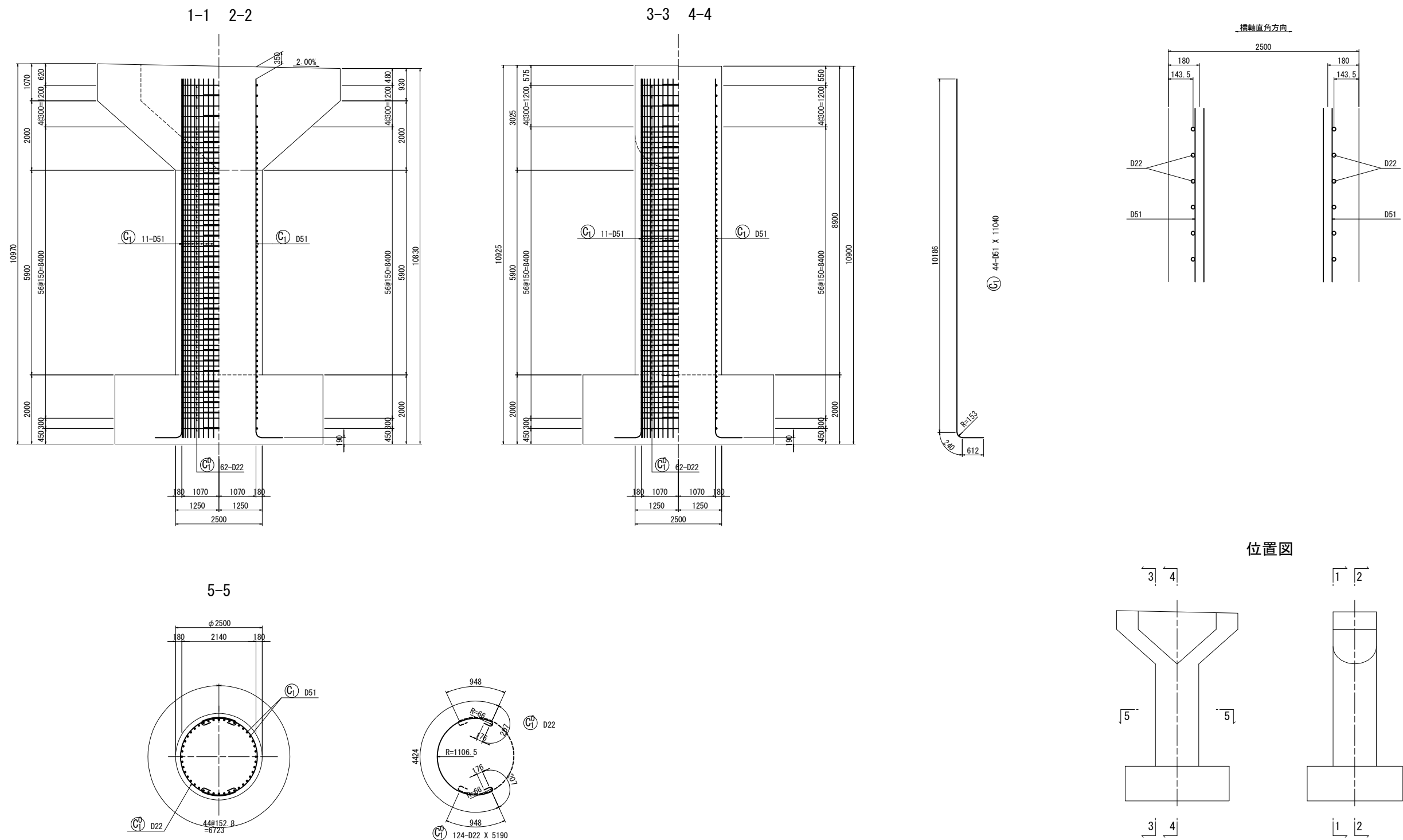
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄棒を表す。

注4) 鉄筋長は切上げの0.9mmとします。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 P1橋脚配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

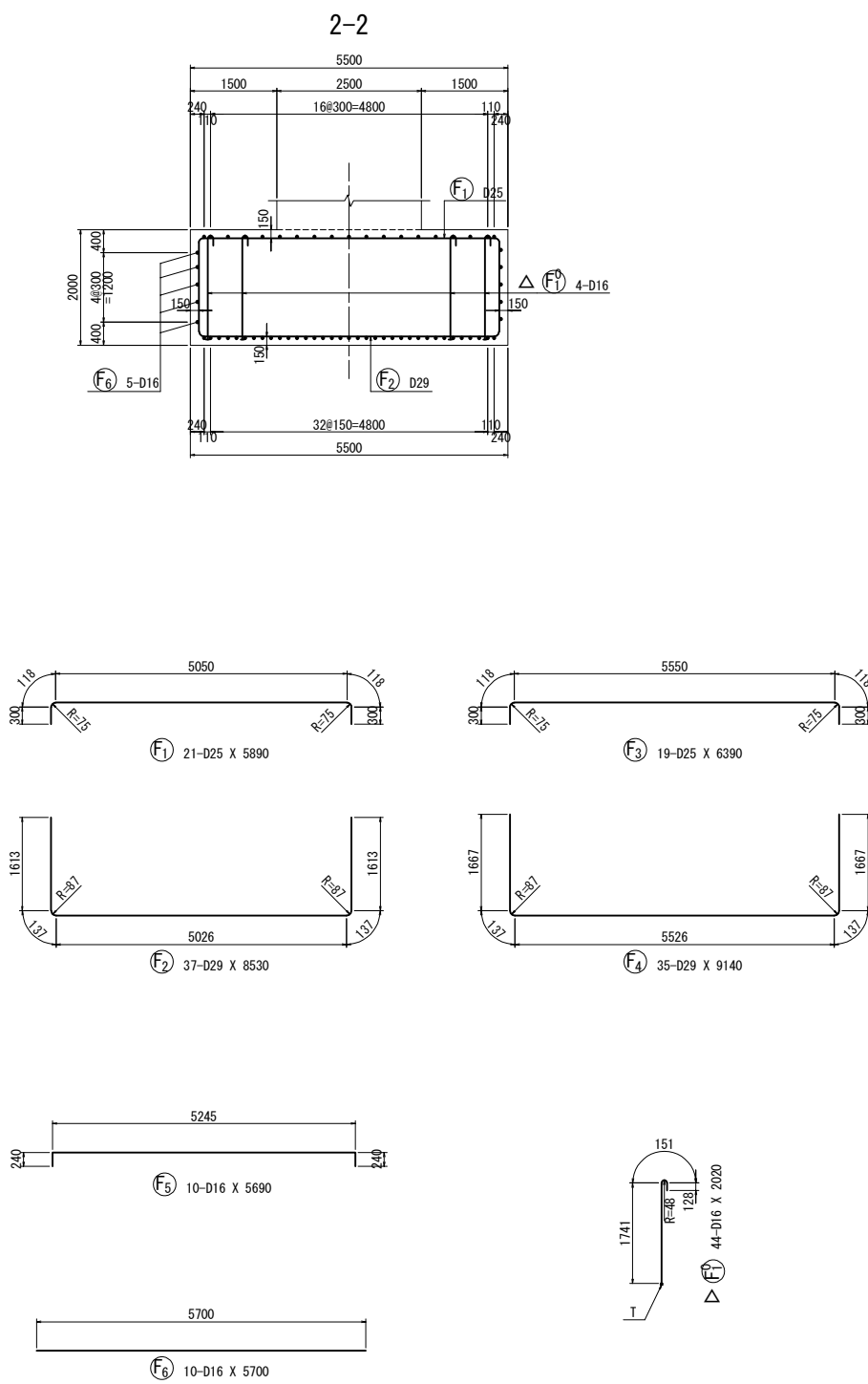
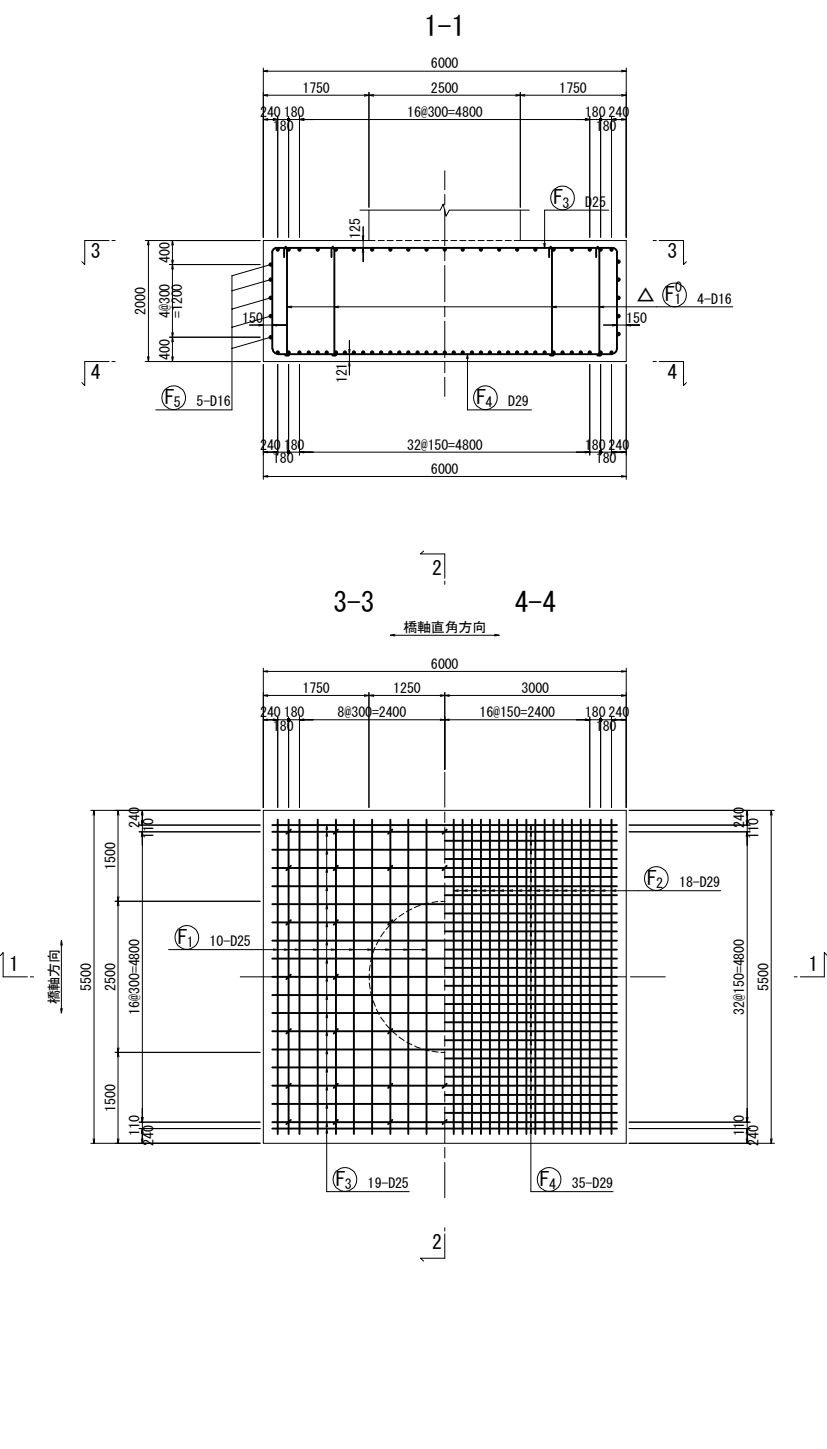
かぶり詳細図 S=1:25



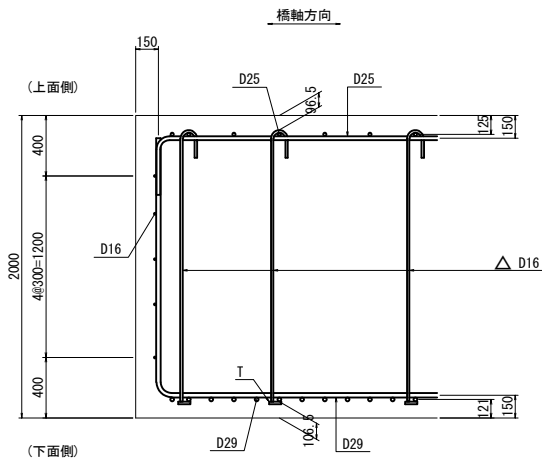
位置図

注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 P 1 橋脚配筋図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



かぶり詳細図 S=1:50



注) セン断補強鉄筋は、半円形フックを上側側に配置して
直角方向主鉄筋にかける。

注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 P 1 橋脚配筋図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

占冠PAアクセス路橋 P1橋脚配筋図(その6)

鉄筋質量表

[illegible]

注) () B: 機械継手とガス圧接継手を示し () 内は箇所数を示す。
() C: 機械式鉄筋定着箇所を示し () 内は箇所数を示す。

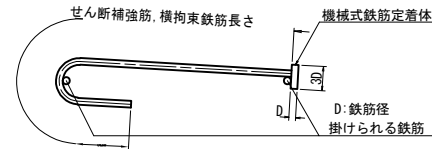
径別集計表

種 別	径	下部工施工		
		H≦25m	H>25m	合計
A (SD345)	D13	—	—	—
	D16 ∟	D16 342	—	342
		D19 1369	—	1369
	D25 ∟	D22 1959	—	1959
		D25 2481	—	2481
	D29 ∟	計 6151	—	6151
		D29 3205	—	3205
	D32 ∟	D32 —	—	—
		計 3205	—	3205
	D35	—	—	—
	D38	1504	—	1504
	D41	—	—	—
	D51	7744	—	7744
	合 計	18604	—	18604
B (SD345)	D16 ∟	D16 —	—	—
		D19 —	—	—
	D25 ∟	D22 —	—	—
		D25 —	—	—
	D29 ∟	計 —	—	—
		D29 —	—	—
	D32 ∟	D32 —	—	—
		計 —	—	—
	D35	—	—	—
	D38	—	—	—
	D41	—	—	—
	D51	—	—	—
	合 計	—	—	—
C (SD345)	D13	—	—	—
	D16 ∟	D16 244	—	244
		D19 —	—	—
	D25 ∟	D22 —	—	—
		D25 —	—	—
	D29 ∟	計 244	—	244
		D29 —	—	—
	D32 ∟	D32 —	—	—
		計 —	—	—
	D35	—	—	—
	D38	—	—	—
	D41	—	—	—
	D51	—	—	—
	合 計	244	—	244
総 質 量		18848	—	18848

機械式鉄筋定着工法数量表(下部工施工)

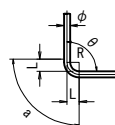
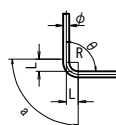
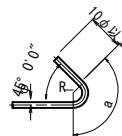
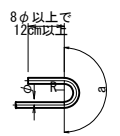
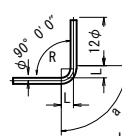
鉄筋長 (L)	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
$L \leq 1m$	-	-	-	-	-	-	-
$1m < L \leq 2m$	-	-	-	-	-	-	-
$2m < L \leq 3m$	-	70	-	-	-	-	-
$3m < L \leq 4m$	-	-	-	-	-	-	-
$4m < L \leq 5m$	-	-	-	-	-	-	-
$5m < L \leq 6m$	-	-	-	-	-	-	-
小 計	-	70	-	-	-	-	-
合 計							70

機械式鉄筋定着体形状図



鉄筋部分を斜めにして定着体を掛けられる鉄筋に完全に掛けること

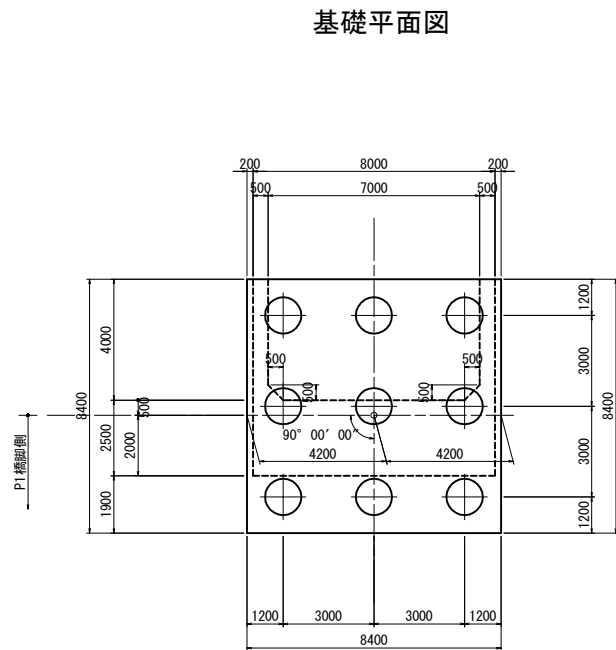
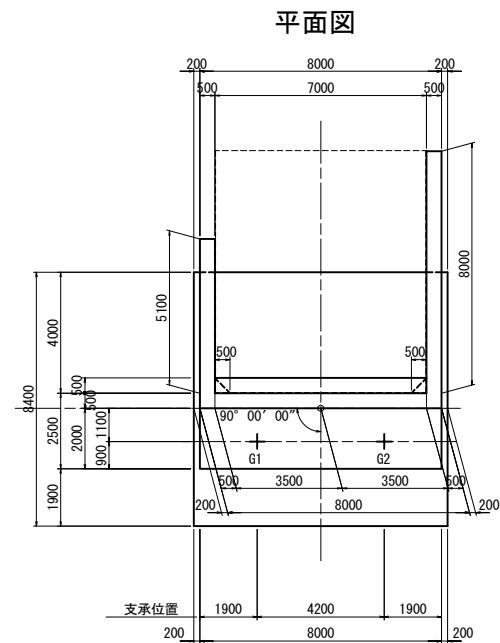
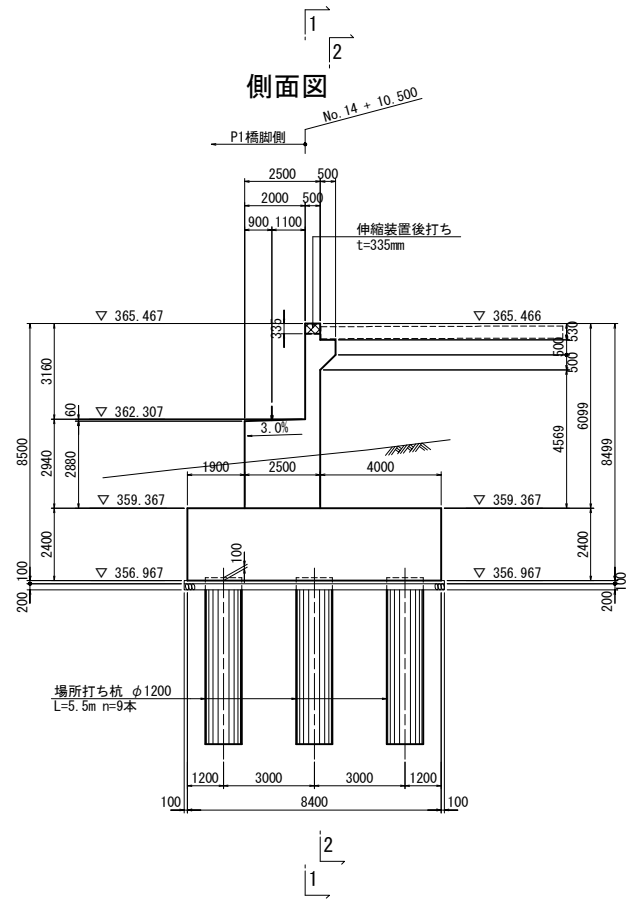
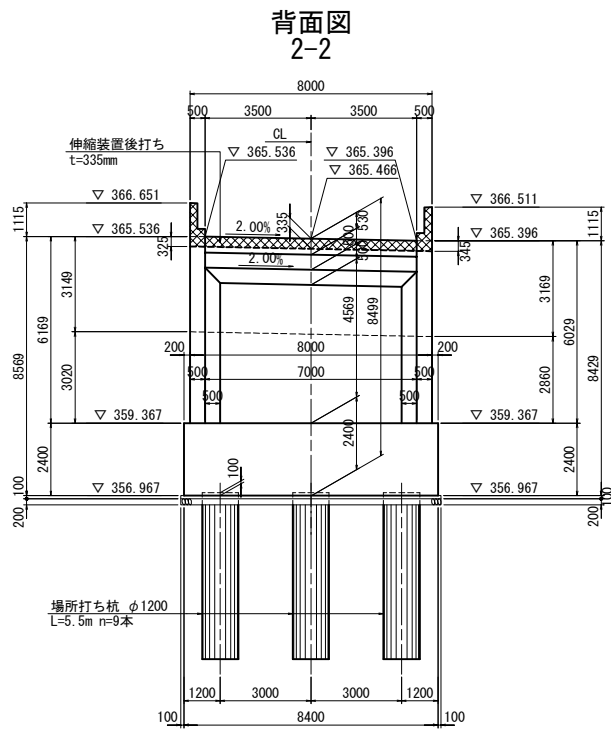
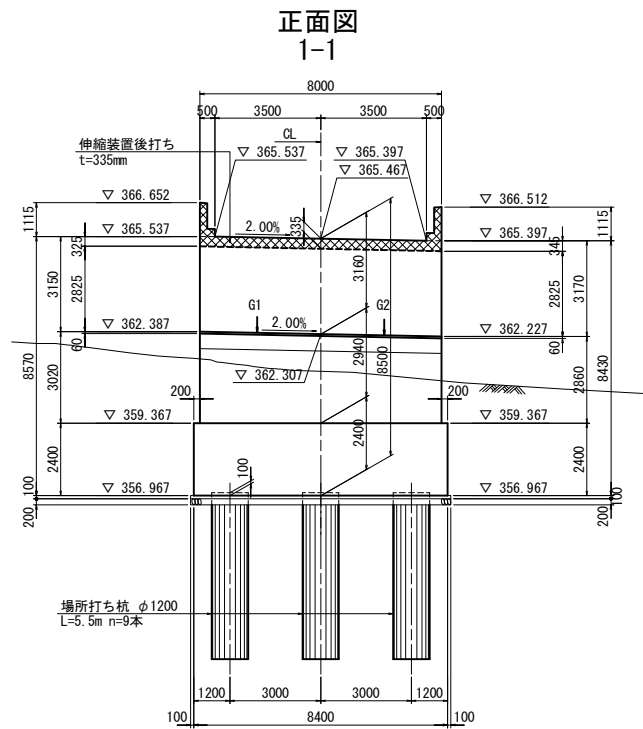
鉄筋加工寸法表

主 筋		せん断補筋									
											
鋭角フック		半半径フック									
											
		直角フック									
											
		$\Delta L=2L-a$									
主筋	径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
				a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
筋	径	$\theta = 45^\circ$	$\theta = 60^\circ$	$\theta = 90^\circ$							
		a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
	D13	32.5	77	80	68	45	51	14	—	—	—
	D16	40	94	99	84	55	63	17	—	—	—
	D19	47.5	112	117	99	66	75	20	—	—	—
	D22	55	130	136	115	76	86	24	—	—	—
	D25	62.5	147	155	131	86	98	27	—	—	—
	D29	72.5	171	179	152	99	114	31	—	—	—
	D32	80	188	198	168	110	126	34	—	—	—
	D35	87.5	205	215	182	119	137	37	—	—	—
せん断補筋及び帯鉄筋	径	R=2.5φ	$\theta = 45^\circ$	$\theta = 60^\circ$	$\theta = 90^\circ$						
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	
	D13	32.5	77	80	68	45	51	14	—	—	
	D16	40	94	99	84	55	63	17	—	—	
	D19	47.5	112	117	99	66	75	20	—	—	
	D22	55	130	136	115	76	86	24	—	—	
	D25	62.5	147	155	131	86	98	27	—	—	
	D29	72.5	171	179	152	99	114	31	—	—	
	D32	80	188	198	168	110	126	34	—	—	
	D35	87.5	205	215	182	119	137	37	—	—	
フック	径	R=3.0φ	鋭角フック	半半径フック	直角フック						
			a		a		a		a	ΔL	
	D13	39	92		123		61		17		
	D16	48	113		151		75		21		
	D19	57	134		179		89		25		
D22	66	156		207		104		28			
D25	75	177		236		118		32			
D29	87	205		273		137		37			
D32	96	226		302		151		41			

道東自動車道 占冠地区下留工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 P1橋脚配筋図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を下記する。
①. 道路標示方書—同解説 (H29.11 日本道路協会)
②. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

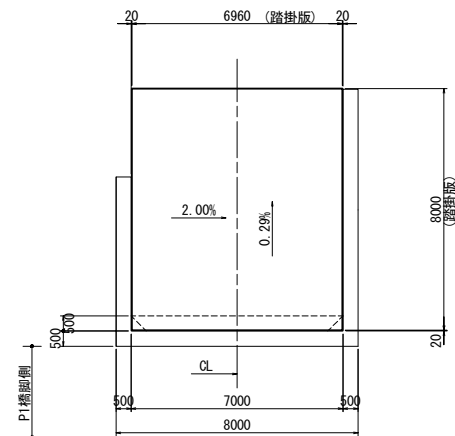
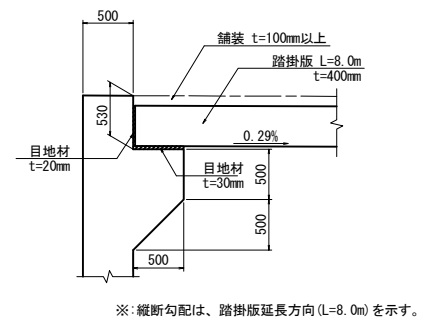
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は上掲の0.0mm丸めとする。



踏掛版詳細図（別途工事）

側面図 S=1:75

平面図 S=1:250

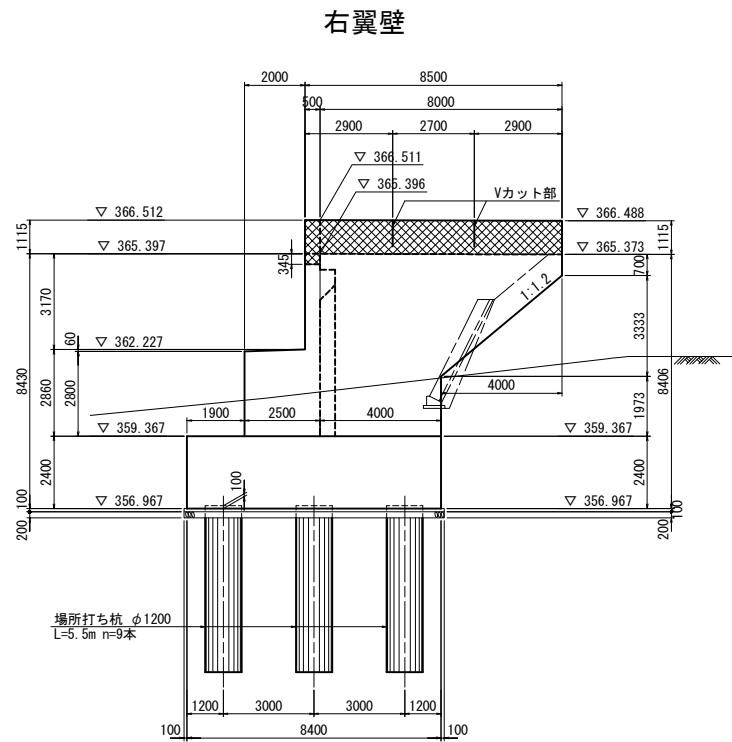
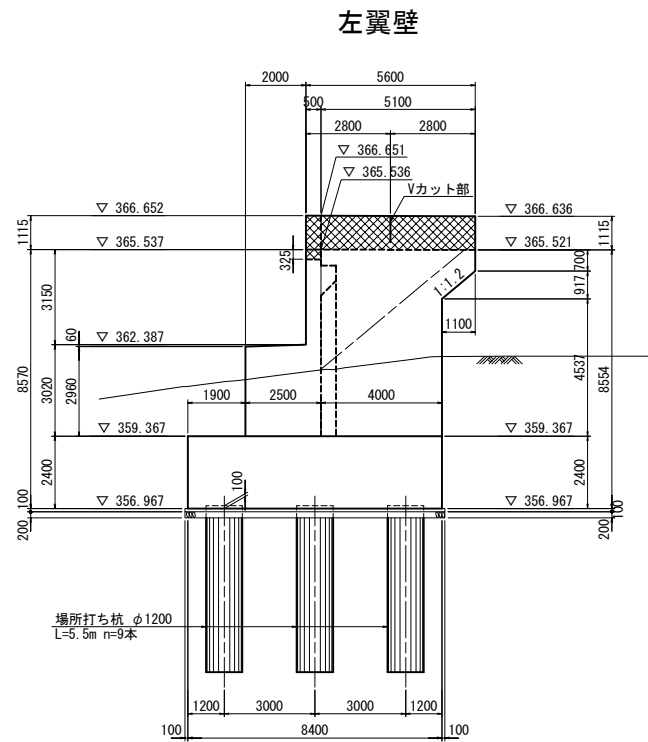


注) : 上部工事施工範囲を表す。

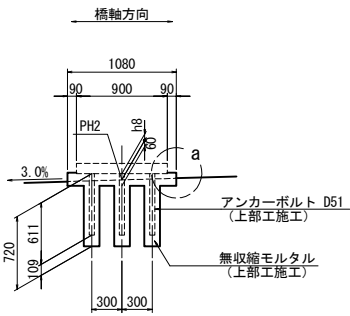
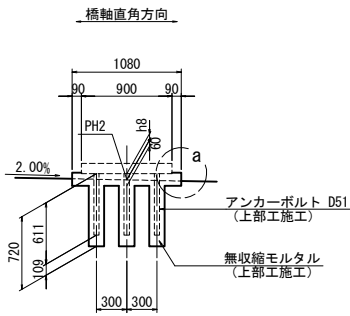
数量表

項目	規格・寸法	単位	数量	摘要
構造物掘削	普通部	m3	972.9	土砂

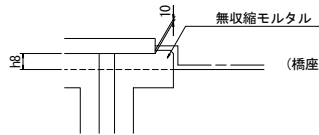
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A2橋台構造一般図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



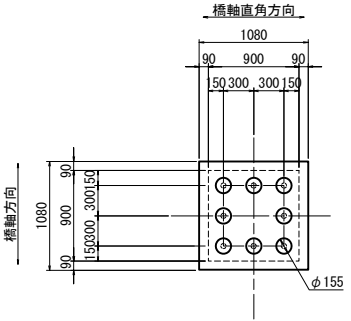
支承部詳細図 S=1:75
G1, G2



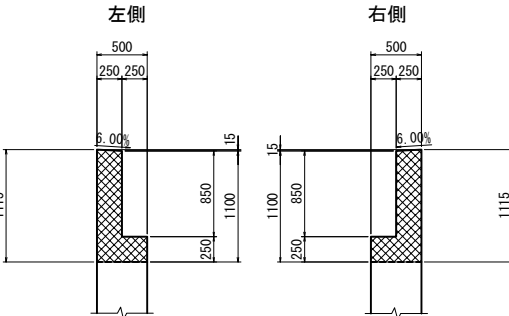
“a”部詳細図 S=1:25



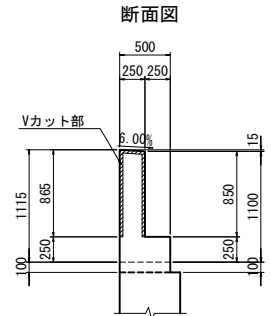
平面図



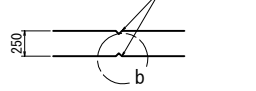
壁高欄詳細 S=1:75



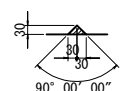
Vカット部詳細図 S=1:75



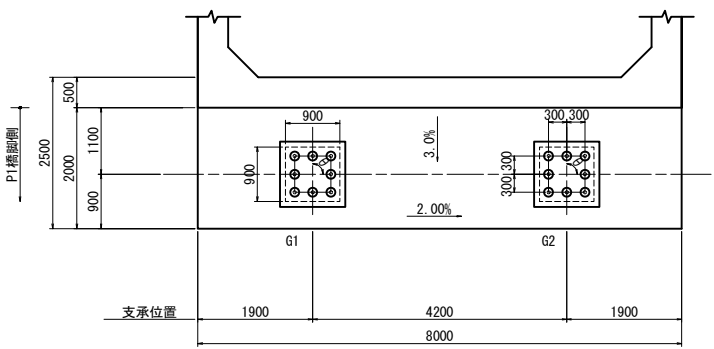
平面図



“b”部詳細図 S=1:25



支承配置図 S=1:125

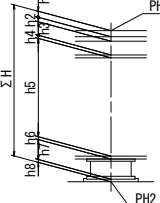


構造高表

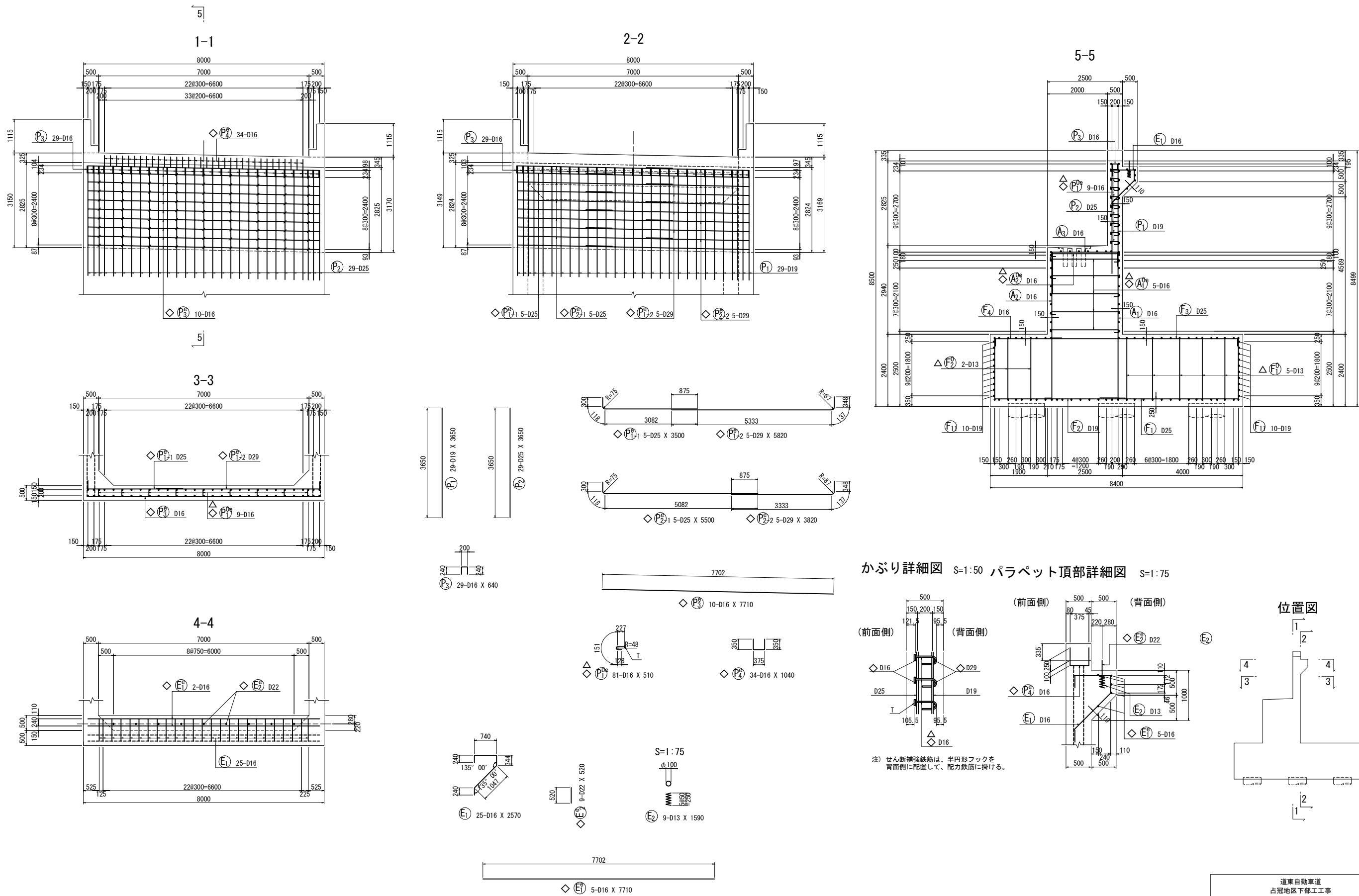
		(単位:m)	
		G1	G2
路面計画高	PH1	365.513	365.429
舗装厚	h1	0.050	0.050
床版厚	h2	0.250	0.250
ハンチ高	h3	0.100	0.100
桁高	h4	2.300	2.300
下フランジ厚	h5	0.022	0.022
ソールプレート厚	h6	0.039	0.039
支承高	h7	0.374	0.374
調整モルタル厚	h8	0.062	0.062
合計	ΣH	3.197	3.197
下部工天端標高	PH2	362.316	362.232
支承座標	X	-108642.7441	-108646.7846
	Y	15620.9649	15622.1115
支承設置角度	θ	90° 00' 00"	90° 00' 00"

注): 上部工施工範囲を表す。

構造高図



道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A2橋台構造一般図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。

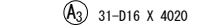
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 2橋台配筋図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



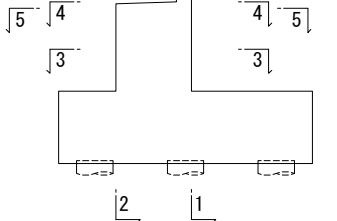
記 号	径	本数	a	L
A1-1	D16	1	4805	50
- 2	"	1	4809	50
- 3	"	1	4812	50
- 4	"	1	4816	50
- 5	"	1	4822	50
- 6	"	1	4828	50
- 7	"	1	4834	50
- 8	"	1	4840	50
- 9	"	1	4846	50
-10	"	1	4852	50
-11	"	1	4858	50
-12	"	1	4864	50
-13	"	1	4870	50
-14	"	1	4876	51
-15	"	1	4882	51
-16	"	1	4888	51
-17	"	1	4894	51
-18	"	1	4900	51
-19	"	1	4906	51
-20	"	1	4912	51
-21	"	1	4918	51
-22	"	1	4924	51
-23	"	1	4930	51
-24	"	1	4936	51
-25	"	1	4942	51
-26	"	1	4948	51
-27	"	1	4951	51
-28	"	1	4955	51
-29	"	1	4959	51
平均長		20		51

記 号	径	本数	a	L
A 2- 1	D16	1	4805	507
- 2	"	1	4809	507
- 3	"	1	4812	507
- 4	"	1	4816	507
- 5	"	1	4822	507
- 6	"	1	4828	507
- 7	"	1	4834	507
- 8	"	1	4840	507
- 9	"	1	4846	507
-10	"	1	4852	507
-11	"	1	4858	507
-12	"	1	4864	507
-13	"	1	4870	507
-14	"	1	4876	510
-15	"	1	4882	510
-16	"	1	4888	51
-17	"	1	4894	51
-18	"	1	4900	51
-19	"	1	4906	51
-20	"	1	4912	51
-21	"	1	4918	51
-22	"	1	4924	51
-23	"	1	4930	51
-24	"	1	4936	51
-25	"	1	4942	51
-26	"	1	4948	51
-27	"	1	4951	51
-28	"	1	4955	51
-29	"	1	4959	51
平均長		29		510

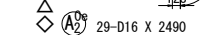
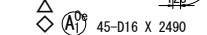
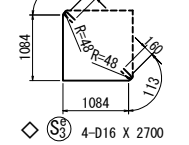
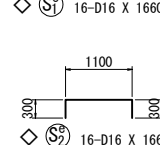
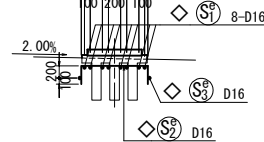
 $\beta = 1 : 50$ 

注) 水平補強鉄筋は、半円形フックを前面側に配置して配力筋に掛ける。
中間帯鉄筋は、半円形フックを千鳥配置にして配力筋に掛ける。

位置図



沓座補強筋配筋図



注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、
下記の基準等を決定すること。

1. 道路橋示方書—同解説 (H29.11 日本道路協会)

2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン
(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)

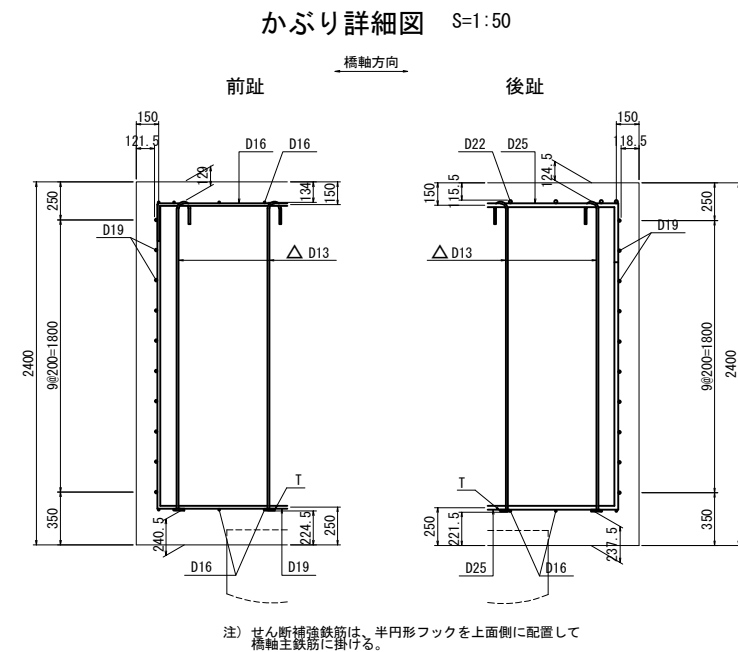
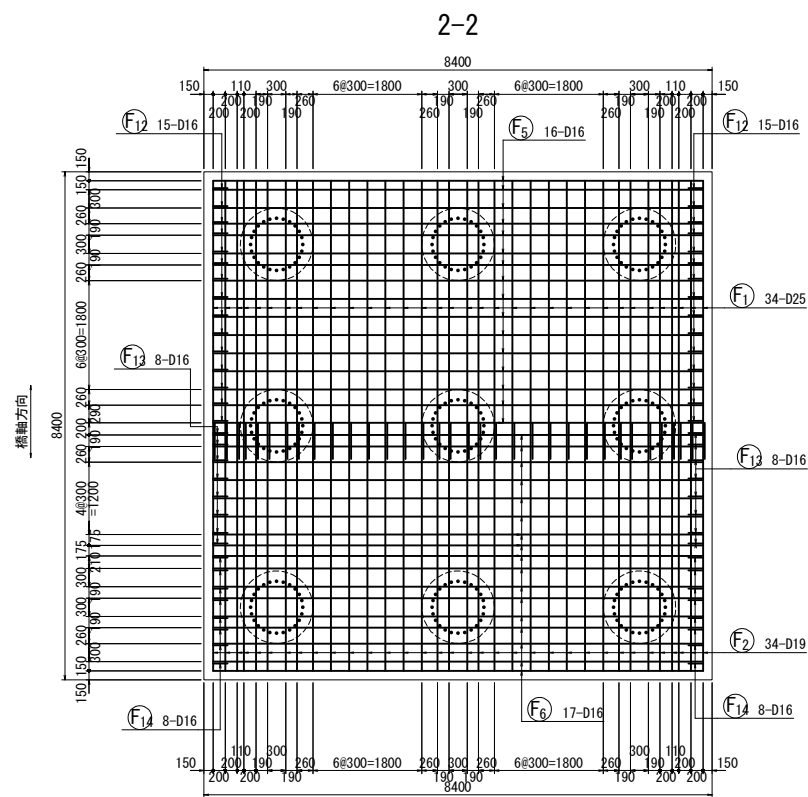
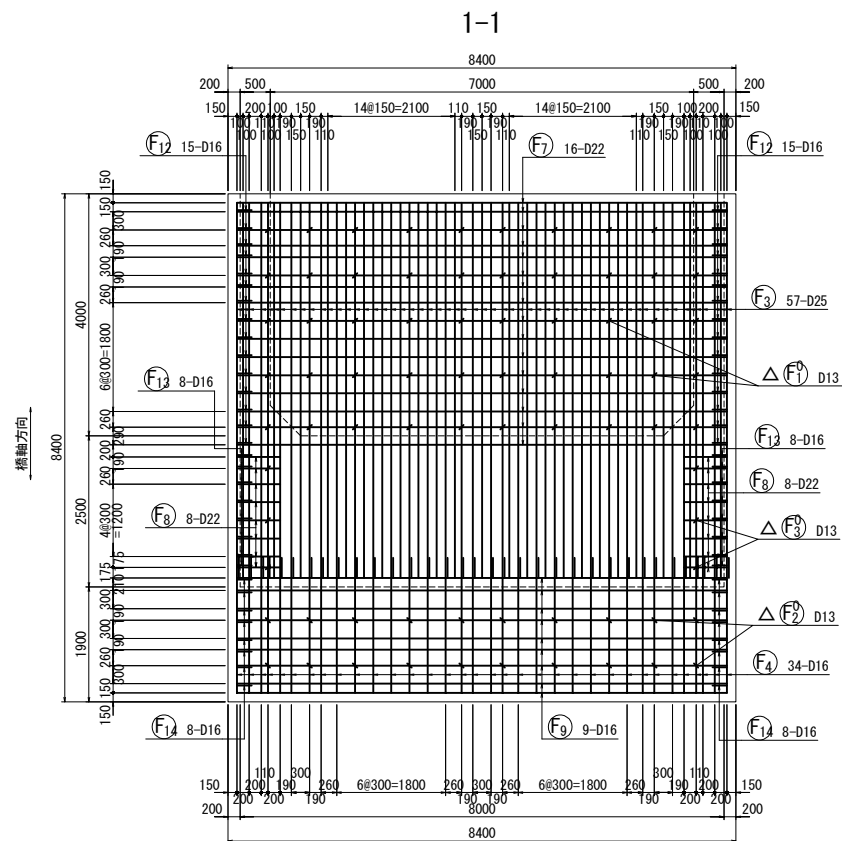
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と
半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。

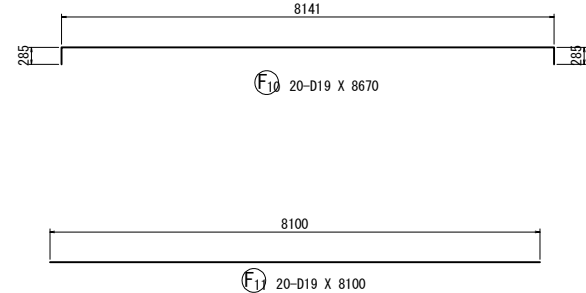
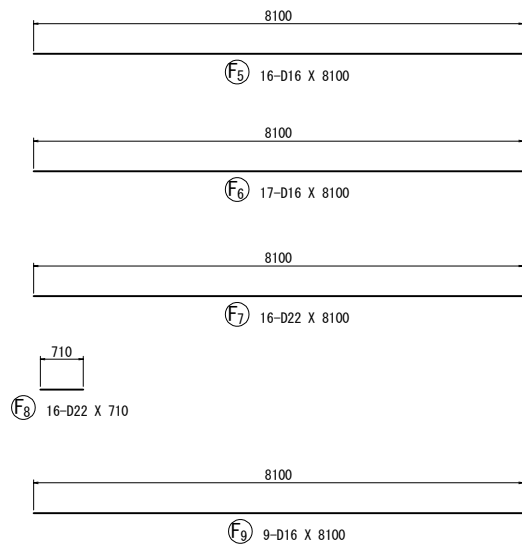
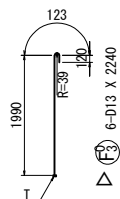
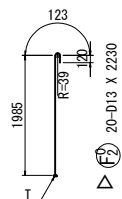
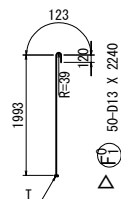
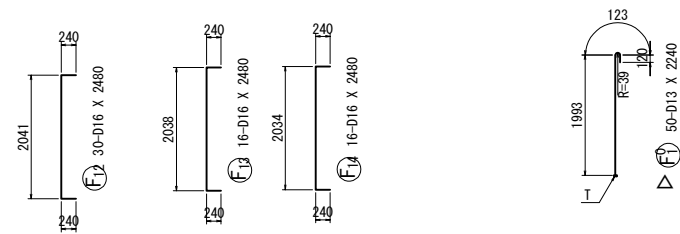
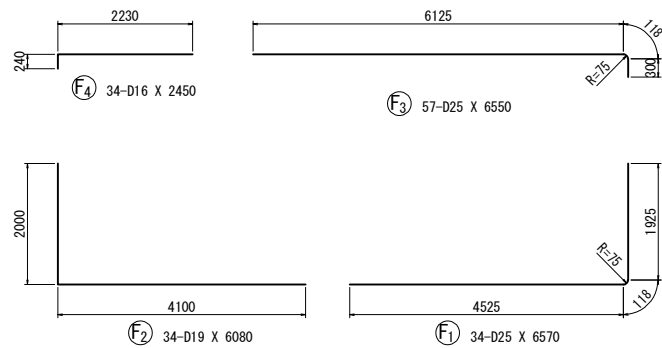
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。

注4) 鉄筋筋は上へ上げの0.0mmを表す。

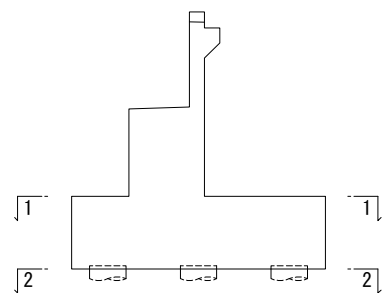
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A2橋台配筋図（その2）		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



注) せん断補強鉄筋は、半円形フックを上側側に配置して橋軸主鉄筋に掛ける。

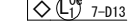


位置図



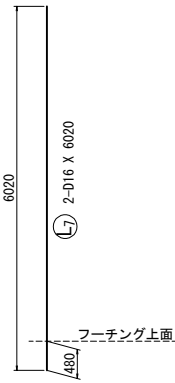
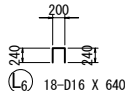
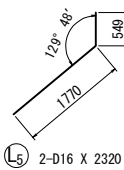
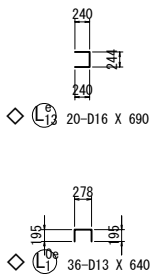
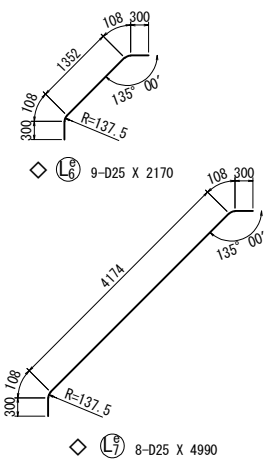
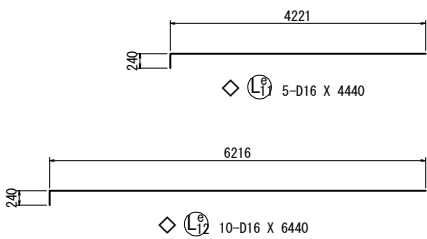
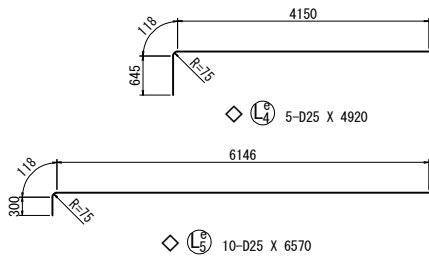
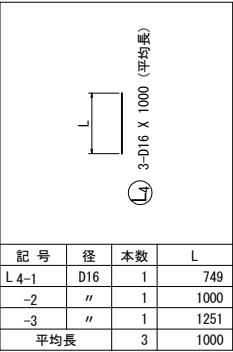
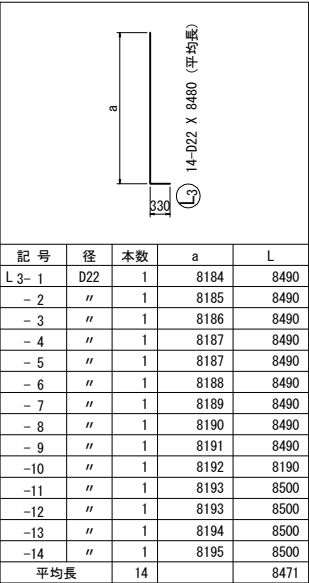
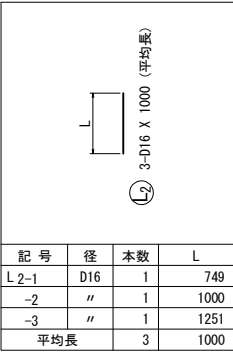
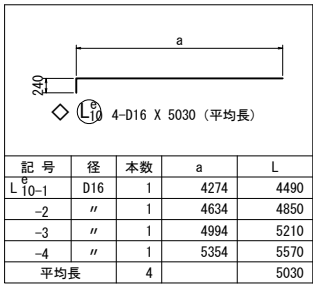
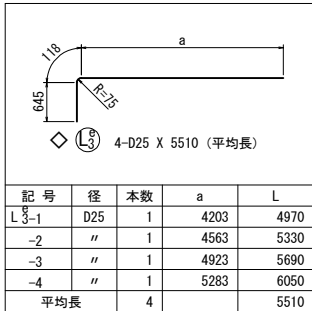
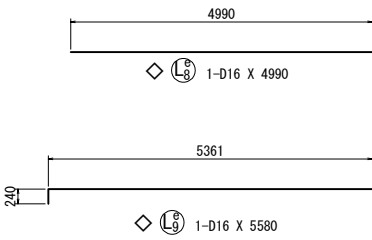
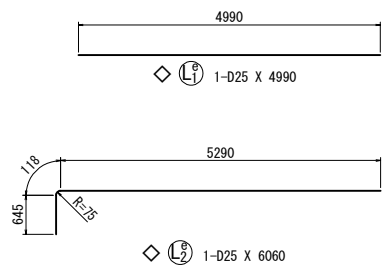
注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 2橋台配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



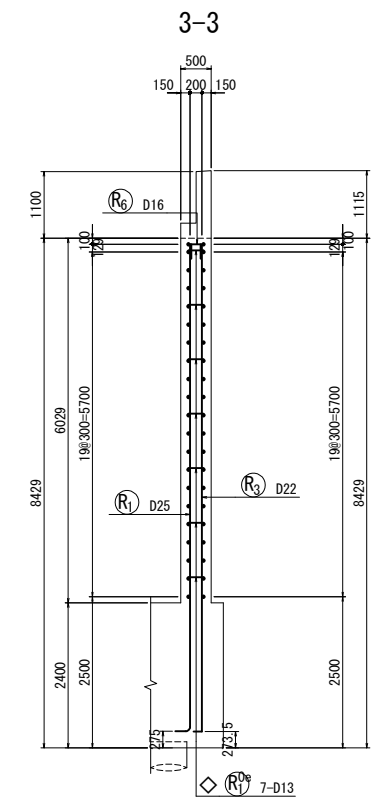
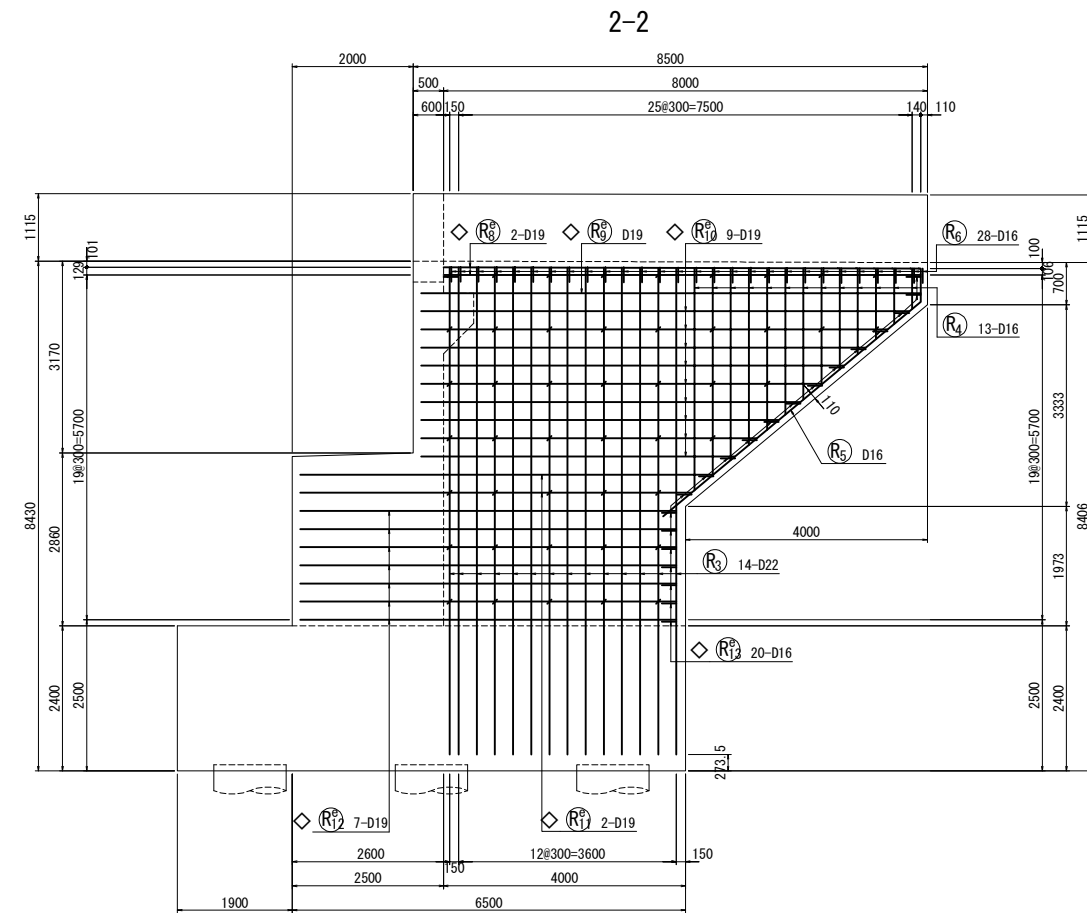
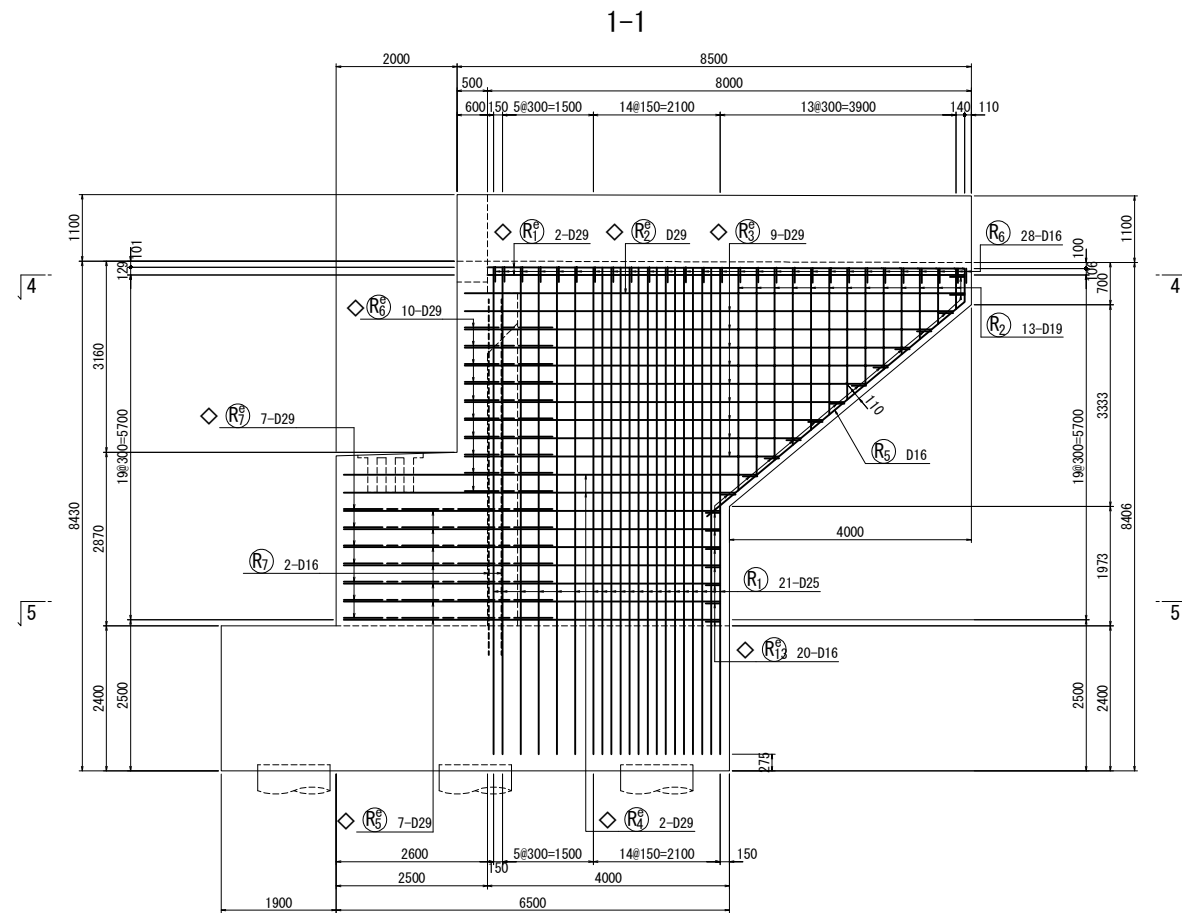
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
 注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。
 注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下郷工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A2橋台配筋図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

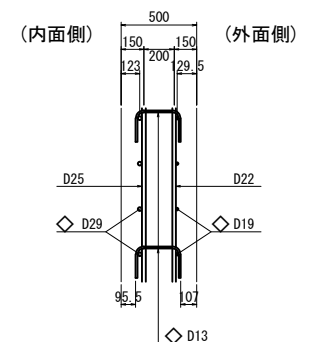
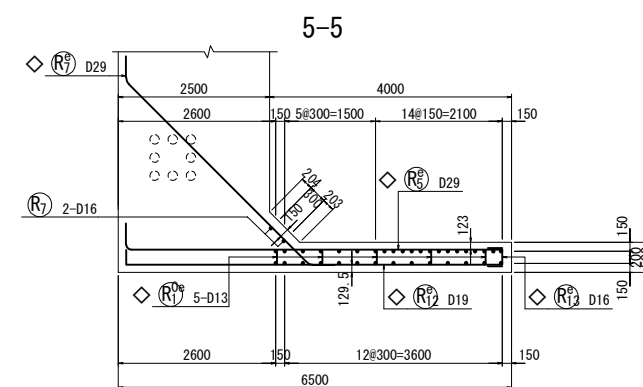
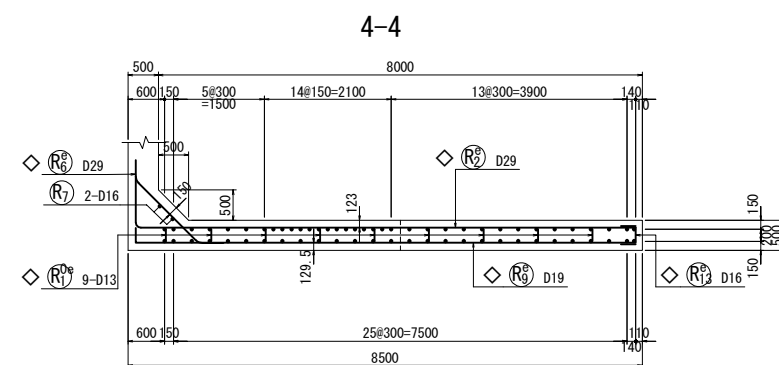


注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

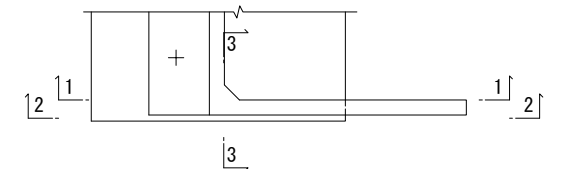
道東自動車道 占冠地区下部工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 2橋台配筋図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



かぶり詳細図 S=1:50

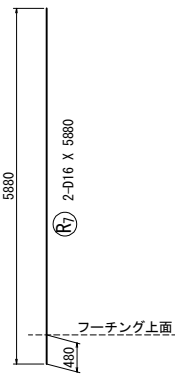
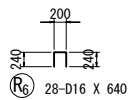
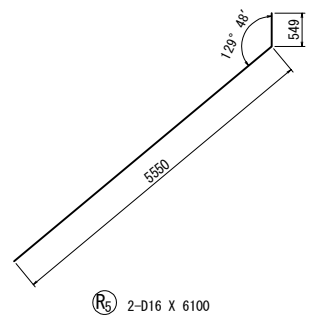
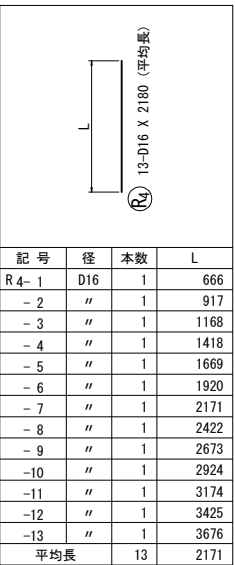
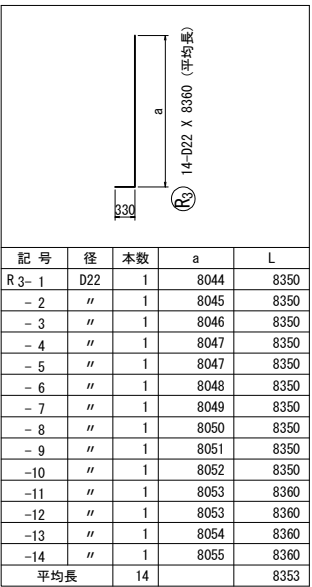
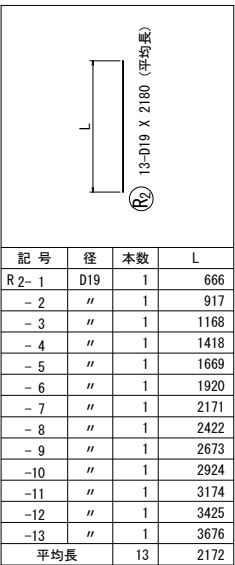
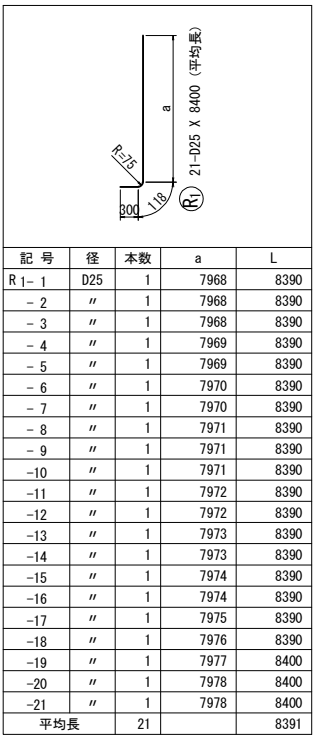
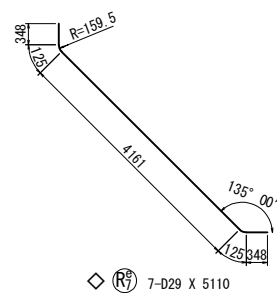
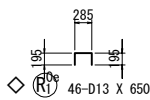
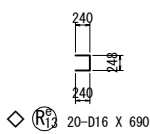
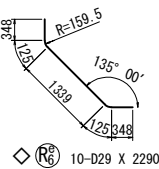
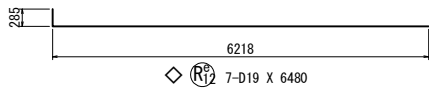
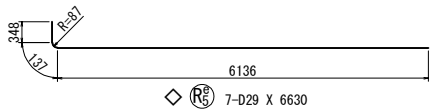
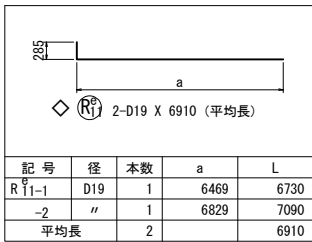
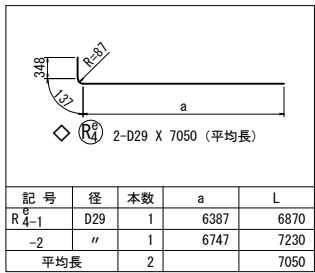
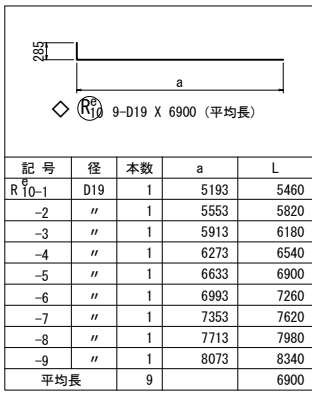
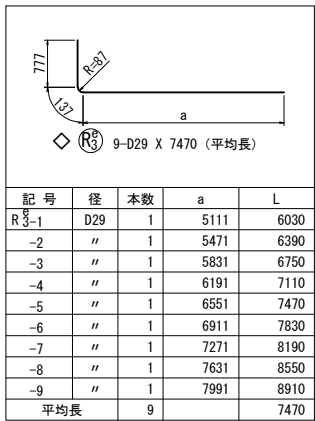
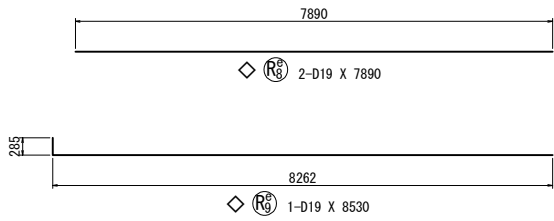
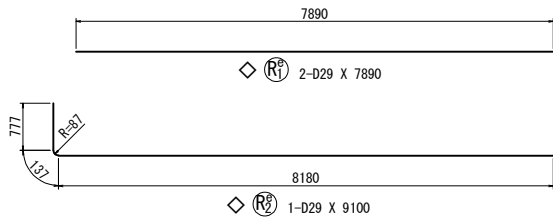


位置図



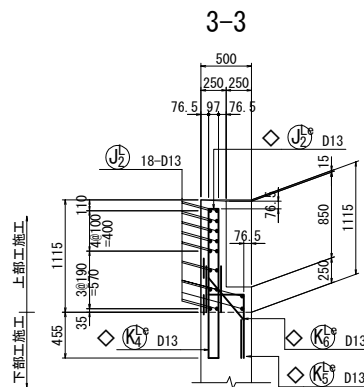
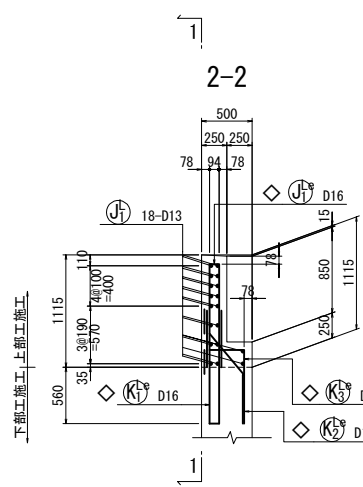
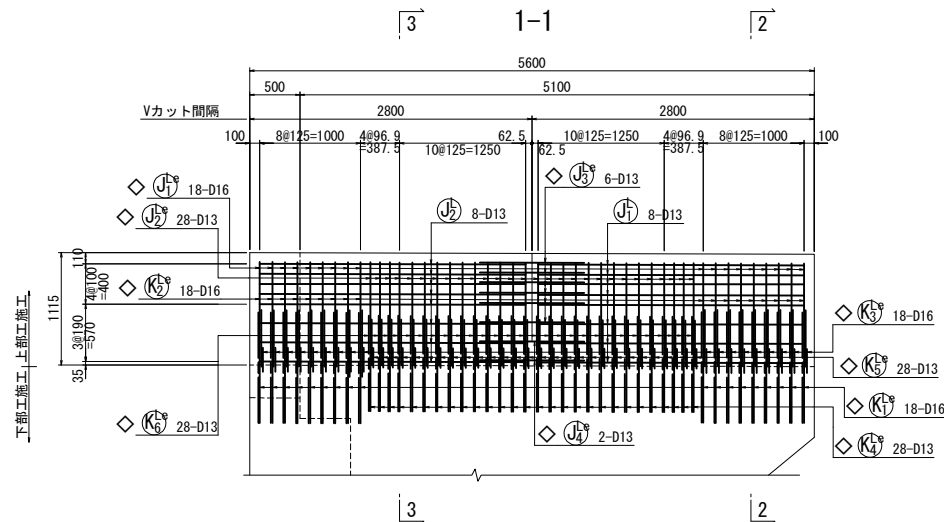
- 注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
- ① 道路標示方書一解説 (H29.11 日本道路協会)
- ② 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
- なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
- 注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
- 注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄棒を表す。
- 注4) 鉄筋長は切上げの10mm刻みとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事				
図面の種類		占冠PAアクセス路橋 A2橋合流筋図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	-	
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所			

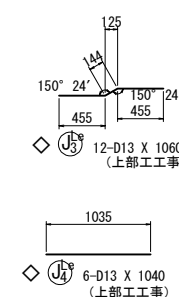
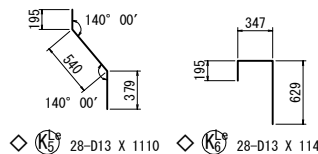
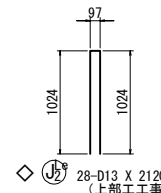
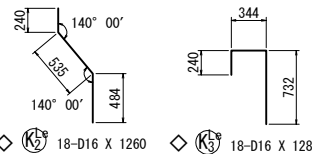
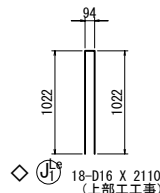
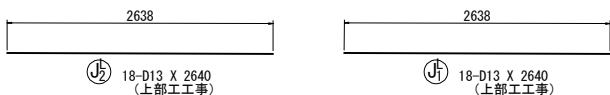
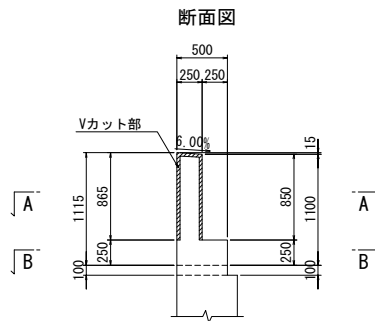


注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋鉄筋を表す。
注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

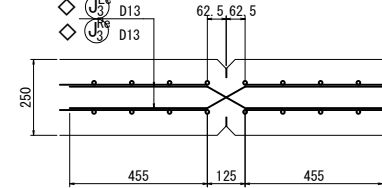
道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 2橋台配筋図（その7）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



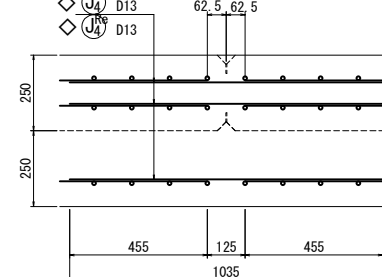
Vカット部詳細図 S=1:75



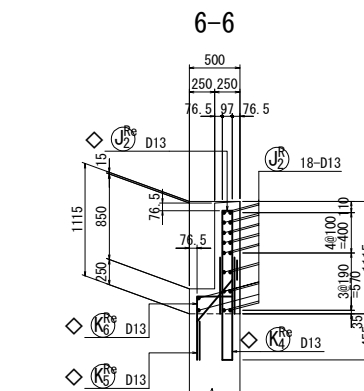
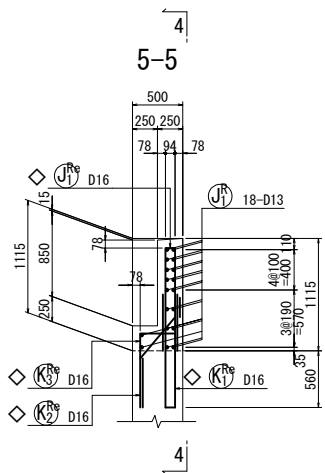
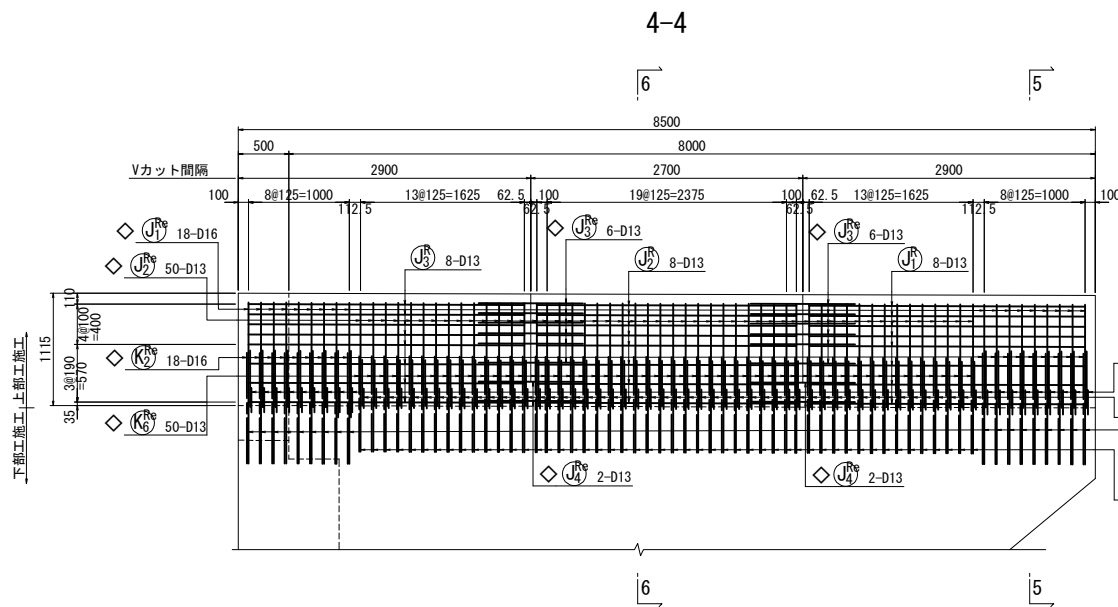
A-A S=1:25



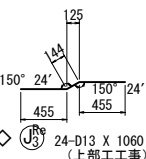
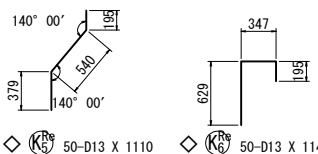
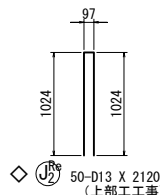
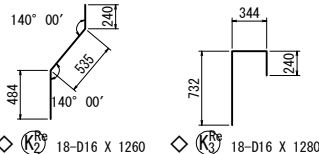
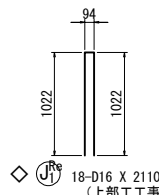
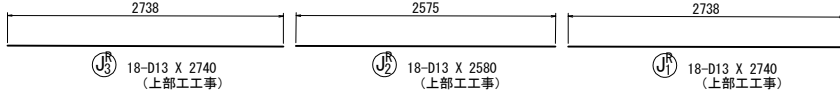
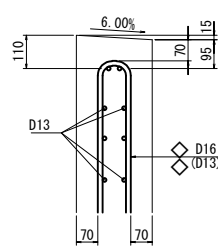
B-B S=1:25



右側壁高欄



かぶり詳細図 S=1:25



- 注1) △印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
1. 道路橋示方書-同解説 (H29.11 日本道路協会)
2. 機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン (H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
- 注2) T印は機械式鉄筋定着工法の定着体を表す。
- 注3) ◇鉄筋はエポキシ塗装鉄筋を表す。
- 注4) 鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 2橋台配筋図 (その8)		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 北海道支社		
事務所名	帯広工務事務所		

鉄筋質量表（下部工施工）

普通鉄筋						普通鉄筋	
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
P 1	D19	3650	29	2.25	8.21	238	┐
P 2	D25	3650	29	3.98	14.5	421	┐
P 3	D16	640	29	1.56	0.998	29	┐
688							
E 1	D16	2570	25	1.56	4.01	100	┐
E 2	D13	1590	9	0.995	1.58	14	┐
114							
A 1	D16	5110	29	1.56	7.97	231	┐ (平地盤)
A 2	"	5110	29	1.56	7.97	231	┐ (平地盤)
A 3	"	4020	31	1.56	6.27	194	┐
A 4	"	5180	7	1.56	8.08	57	┐
A 5	"	5030	7	1.56	7.85	55	┐
768							
F 1	D25	6570	34	3.98	26.1	887	┐
F 2	D19	6080	34	2.25	13.7	466	┐
F 3	D25	6550	57	3.98	26.1	1488	┐
F 4	D16	2450	34	1.56	3.82	130	┐
F 5	"	8100	16	1.56	12.6	202	┐
F 6	"	8100	17	1.56	12.6	214	┐
F 7	D22	8100	16	3.04	24.6	394	┐
F 8	"	710	16	3.04	2.16	35	┐
F 9	D16	8100	9	1.56	12.6	113	┐
F 10	D19	8670	20	2.25	19.5	390	┐
F 11	"	8100	20	2.25	18.2	364	┐
F 12	D16	2480	30	1.56	3.87	116	┐
F 13	"	2480	16	1.56	3.87	62	┐
F 14	"	2480	16	1.56	3.87	62	┐
4923							
F 1	D13	2240	50	0.995	2.23	112	┐ (200)
F 2	"	2230	20	0.995	2.22	44	┐ (200)
F 3	"	2240	6	0.995	2.23	13	┐ (200)
169							
L 1	D25	8540	21	3.98	34.0	714	┐ (平地盤)
L 2	D16	1000	3	1.56	1.56	5	┐ (平地盤)
L 3	D22	8480	14	3.04	25.8	361	┐ (平地盤)
L 4	D16	1000	3	1.56	1.56	5	┐ (平地盤)
L 5	"	2320	2	1.56	3.62	7	┐
L 6	"	640	18	1.56	0.998	18	┐
L 7	"	6020	2	1.56	9.39	19	┐
1129							
R 1	D25	8400	21	3.98	33.4	701	┐ (平地盤)
R 2	D19	2180	13	2.25	4.91	64	┐ (平地盤)
R 3	D22	8360	14	3.04	25.4	356	┐ (平地盤)
R 4	D16	2180	13	1.56	3.40	44	┐ (平地盤)
R 5	"	6100	2	1.56	9.52	19	┐
R 6	"	640	28	1.56	0.998	28	┐
R 7	"	5880	2	1.56	9.17	18	┐
1230							
合 計			A	B	C	A+B+C	
			4211 kg	-	-	4211 kg	
			1146 kg	-	-	1146 kg	
			1522 kg	-	-	1522 kg	
			1959 kg	-	-	1959 kg	
			14 kg	-	169 kg	183 kg	
総質量			8852 kg	-	169 kg	9021 kg	

注) () B: 機械継手とガス圧接継手を示し () 内は箇所数を示す。
() C: 機械式鉄筋定着箇所を示し () 内は箇所数を示す。

鉄筋集計表

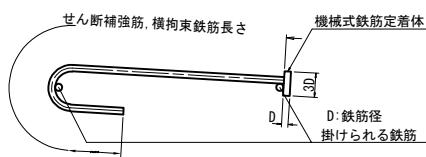
普通鉄筋		普通鉄筋			
種 別	径	下部工施工			合計
		躯体	壁高欄		
A (SD345)	D13	14	-		14
	D16	1959	-		1959
	D19	1522	-		1522
	D22	1146	-		1146
	D25	4211	-		4211
	計	8838	-		8838
	D29	-	-		-
	D32	-	-		-
	D35	-	-		-
	D38	-	-		-
	D41	-	-		-
	D51	-	-		-
	合 計	8852	-		8852
B (SD345)	D16	-	-		-
	D19	-	-		-
	D22	-	-		-
	D25	-	-		-
	計	-	-		-
	D29	-	-		-
	D32	-	-		-
	D35	-	-		-
	D38	-	-		-
	D41	-	-		-
	D51	-	-		-
	合 計	-	-		-
C (SD345)	D13	169	-		169
	D16	-	-		-
	D19	-	-		-
	D22	-	-		-
	D25	-	-		-
	計	-	-		-
	D29	-	-		-
	D32	-	-		-
	D35	-	-		-
	D38	-	-		-
	D41	-	-		-
	D51	-	-		-
	合 計	169	-		169
総 質 量		9021	-		9021

機械式鉄筋定着工法数量表（下部工施工）

鉄筋長 (L)	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
L ≤ 1m	-	-	-	-	-	-	-
1m < L ≤ 2m	-	-	-	-	-	-	-
2m < L ≤ 3m	76	-	-	-	-	-	-
3m < L ≤ 4m	-	-	-	-	-	-	-
4m < L ≤ 5m	-	-	-	-	-	-	-
5m < L ≤ 6m	-	-	-	-	-	-	-
小 計	76	-	-	-	-	-	-
合 計							76

普通鉄筋

機械式鉄筋定着体形状図



鉄筋部分を斜めにして定着体を掛けられる鉄筋に完全に掛けること

鉄筋加工寸法表

主 筋

せん断補強筋

鋭角フック

半円径フック

直角フック

$$\Delta L = 2L - a$$

主 筋

径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
	a		a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

せん断補強筋及び帯鉄筋

径	R=2.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$	
	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	
D13	32.5	77	80	68	45	51	14
D16	40	94	99	84	55	63	17
D19	47.5	112	117	99	66	75	20
D22	55	130	136	115	76	86	24
D25	62.5	147	155	131	86	98	27
D29	72.5	171	179	152	99	114	31
D32	80	188	198	168	110	126	34

フック

径	R=3.0φ	鋭角フック	半円径フック	直角フック	
	a	a	a	ΔL	
D13	39	92	123	61	17
D16	48	113	151	75	21
D19	57	134	179	89	25
D22	66	156	207	104	28
D25	75	177	236	118	32
D29	87	205	273	137	37
D32	96	226	302	151	41

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A2橋台配筋図（その9）		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

鉄筋質量表（下部工施工）							エポキシ鉄筋	
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量		摘要
P ^φ ₁₋₁	D25	3500	5	3.98	13.9	70		――
P ^φ ₁₋₂	D29	5820	5	5.04	29.3	147		――
P ^φ ₂₋₁	D25	5500	5	3.98	21.9	110		――
P ^φ ₂₋₂	D29	3820	5	5.04	19.3	97		――
P ^φ ₃	D16	7710	10	1.56	12.0	120		――
P ^φ ₄	〃	1040	34	1.56	1.62	55		┘
599								
P ^{0φ} ₁	D16	510	81	1.56	0.796	64		┘ (40φ)
64								
E ^φ ₁	D16	7710	5	1.56	12.0	60		――
E ^φ ₂	D22	520	9	3.04	1.58	14		
74								
A ^φ ₁	D16	8200	9	1.56	12.8	115		――
A ^φ ₂	〃	8200	1	1.56	12.8	13		――
A ^φ ₃	〃	8200	9	1.56	12.8	115		――
A ^φ ₄	〃	8200	1	1.56	12.8	13		――
A ^φ ₅	〃	8780	9	1.56	13.7	123		――
379								
A ^{0φ} ₁	D16	2490	45	1.56	3.88	175		┘ (40φ)
A ^{0φ} ₂	〃	2490	29	1.56	3.88	113		┘ (20φ)
288								
S ^φ ₁	D16	1660	16	1.56	2.59	41		┘
S ^φ ₂	〃	1660	16	1.56	2.59	41		┘
S ^φ ₃	〃	2700	4	1.56	4.21	17		┘
99								
L ^φ ₁	D25	4990	1	3.98	19.9	20		――
L ^φ ₂	〃	6060	1	3.98	24.1	24		――
L ^φ ₃	〃	5510	4	3.98	21.9	88		―― (平均値)
L ^φ ₄	〃	4920	5	3.98	19.6	98		――
L ^φ ₅	〃	6570	10	3.98	26.1	261		――
L ^φ ₆	〃	2170	9	3.98	8.64	78		／
L ^φ ₇	〃	4990	8	3.98	19.9	159		／
L ^φ ₈	D16	4990	1	1.56	7.78	8		――
L ^φ ₉	〃	5580	1	1.56	8.70	9		――
L ^φ ₁₀	〃	5030	4	1.56	7.85	31		―― (平均値)
L ^φ ₁₁	〃	4440	5	1.56	6.93	35		――
L ^φ ₁₂	〃	6440	10	1.56	10.0	100		――
L ^φ ₁₃	〃	690	20	1.56	1.08	22		┘
933								
L ^{0φ} ₁	D13	640	36	0.995	0.637	23		┘
23								
R ^φ ₁	D29	7890	2	5.04	39.8	80		――
R ^φ ₂	〃	9100	1	5.04	45.9	46		――
R ^φ ₃	〃	7470	9	5.04	37.6	338		―― (平均値)
R ^φ ₄	〃	7050	2	5.04	35.5	71		―― (平均値)
R ^φ ₅	〃	6630	7	5.04	33.4	234		――
R ^φ ₆	〃	2290	10	5.04	11.5	115		＼
R ^φ ₇	〃	5110	7	5.04	25.8	181		＼
R ^φ ₈	D19	7890	2	2.25	17.8	36		――
R ^φ ₉	〃	8530	1	2.25	19.2	19		――
R ^φ ₁₀	〃	6900	9	2.25	15.5	140		―― (平均値)
R ^φ ₁₁	〃	6910	2	2.25	15.5	31		―― (平均値)
R ^φ ₁₂	〃	6480	7	2.25	14.6	102		――
R ^φ ₁₃	D16	690	20	1.56	1.08	22		┘
1415								
R ^{0φ} ₁	D13	650	46	0.995	0.647	30		┘
30								

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
K ^{Lφ} ₁	D16	2300	18	1.56	3.59	65	
K ^{Lφ} ₂	〃	1260	18	1.56	1.97	35	＼
K ^{Lφ} ₃	〃	1280	18	1.56	2.00	36	┘
K ^{Lφ} ₄	D13	1890	28	0.995	1.88	53	
K ^{Lφ} ₅	〃	1110	28	0.995	1.10	31	＼
K ^{Lφ} ₆	〃	1140	28	0.995	1.13	32	┘
252							
K ^{Rφ} ₁	D16	2300	18	1.56	3.59	65	
K ^{Rφ} ₂	〃	1260	18	1.56	1.97	35	/
K ^{Rφ} ₃	〃	1280	18	1.56	2.00	36	┘
K ^{Rφ} ₄	D13	1890	50	0.995	1.88	94	
K ^{Rφ} ₅	〃	1110	50	0.995	1.10	55	/
K ^{Rφ} ₆	〃	1140	50	0.995	1.13	57	┘
342							
A							B
C							A+B+C
合計 D29			1309 kg	－	－	1309 kg	
D25			908 kg	－	－	908 kg	
D22			14 kg	－	－	14 kg	
D19			328 kg	－	－	328 kg	
D16			1212 kg	－	352 kg	1564 kg	
D13			375 kg	－	－	375 kg	
総質量			4146 kg	－	352 kg	4498 kg	

注) () B:機械継手とガス圧接継手を示し()内は箇所数を示す。
() C:機械式鉄筋定着箇所を示し()内は箇所数を示す。

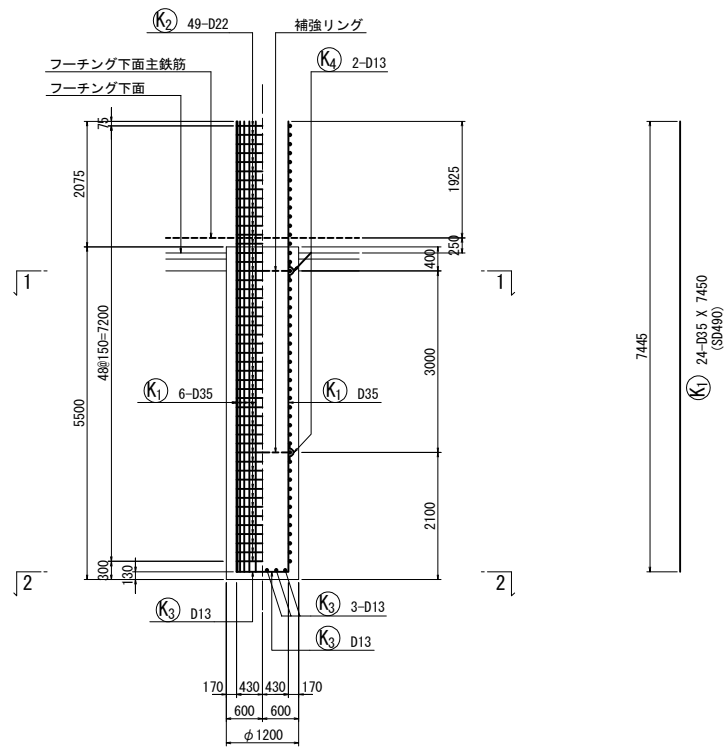
鉄筋集計表					エポキシ鉄筋	
種別	径	下部工施工				合計
		躯体	壁高欄			
A (SD345)	D13	53	322			375
	D16	940	272			1212
	D19	328	－			328
	D22	14	－			14
	D25	908	－			908
	計	2190	272			2462
	D29	1309	－			1309
	D32	－	－			－
	D32	1309	－			1309
	D35	－	－			－
	D38	－	－			－
	D41	－	－			－
	D51	－	－			－
	合計	3552	594			4146
B (SD345)	D16	－	－			－
	D19	－	－			－
	D22	－	－			－
	D25	－	－			－
	計	－	－			－
	D29	－	－			－
	D32	－	－			－
	D32	－	－			－
	D35	－	－			－
	D38	－	－			－
	D41	－	－			－
C (SD345)	D13	－	－			－
	D16	352	－			352
	D19	－	－			－
	D22	－	－			－
	D25	－	－			－
	計	352	－			352
	D29	－	－			－
	D32	－	－			－
	D32	－	－			－
	D35	－	－			－
	D38	－	－			－
合計	D41	－	－			－
	D51	－	－			－
	合計	352	－			352
総質量		3904	594			4498

機械式鉄筋定着工法数量表（下部工施工）

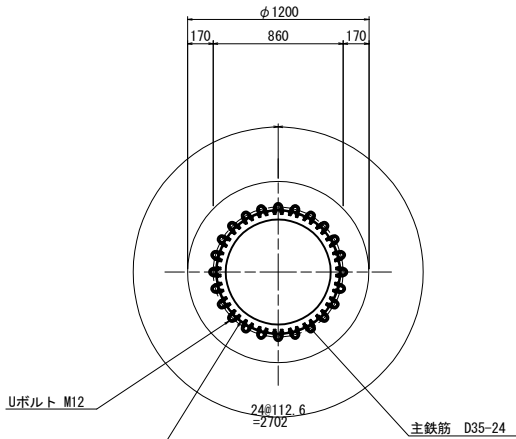
鉄筋長(L)	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
L≦1m	－	81	－	－	－	－	－
1m<L≦2m	－	－	－	－	－	－	－
2m<L≦3m	－	74	－	－	－	－	－
3m<L≦4m	－	－	－	－	－	－	－
4m<L≦5m	－	－	－	－	－	－	－
5m<L≦6m	－	－	－	－	－	－	－
小計	－	155	－	－	－	－	－
合計	155						

エポキシ鉄筋

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A2橋台配筋図（その10）		
縮尺	図示	図面番号	－
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

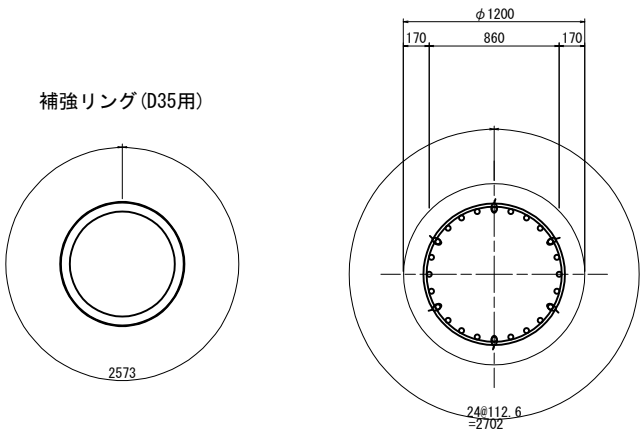


補強リング・主鉄筋固定金具詳細図 S=1:50

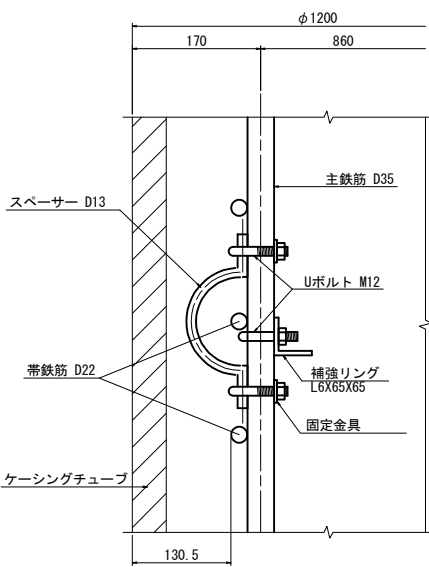


注) 主鉄筋と補強リングは、全数金具で固定。

主鉄筋・帯鉄筋結束詳細図 S=1:50

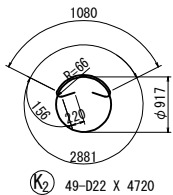


スペーサー参考図 S=1:10



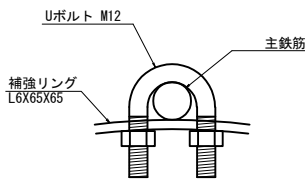
注) スペーサーは、1段に4箇所とし、1交差箇所につき、1箇所ずつ金具で固定。スペーサーの位置は断面毎にずらすこと。

スペーサー鉄筋 S=1:25



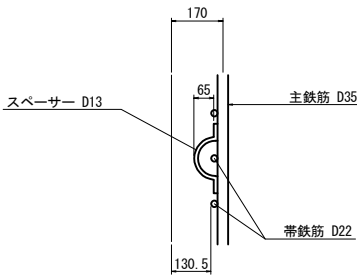
* スペーサーは1断面4ヶ所配置とする。

Uボルト取付図



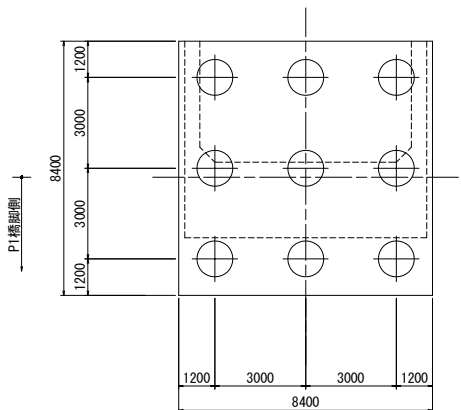
注) Uボルト又は同等品

かぶり詳細図 S=1:25



* 外周及び杭先端のコンリート表面までの鉄筋かぶりは、130mm以上とする。
* スペーサー及び組立筋は、特殊金物等による無溶接工法やなまし鉄線を用いて結束するものとし、組立て上の形状保持などのための溶接は行わないこと。
* 帯鉄筋の継ぎ手位置は各々90°ずらして配置する。

杭配置図 S=1:250



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
(SD490)							
K1	D35	7450	24	7.51	55.9	1342	1
							1342
Y				杭本数			
合計 D35				1342 kg	X 9 =	12078 kg	
総質量				1342 kg	X 9 =	12078 kg	
(SD345)							
K2	D22	4720	49	3.04	14.3	701	○
K3	D13	1060	12	0.995	1.05	13	1 (円形)
K4	D13	300	8	0.995	0.298	2	く
							716
Y				杭本数			
合計 D22				701 kg	X 9 =	6309 kg	
D13				15 kg	X 9 =	135 kg	
総質量				716 kg	X 9 =	6444 kg	

補強リング・固定金具

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L6X65X65 (D35用)	2573	2	5.91	15.2	31	補強リング
Uボルト (D35用)	-	48	-	-	-	主鉄筋と補強リングの固定

※Uボルト規格 D35、S4400、変形時荷重30kN以上

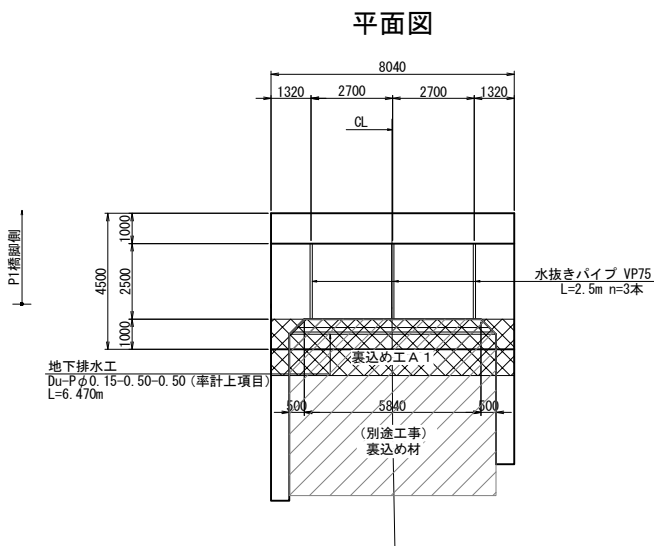
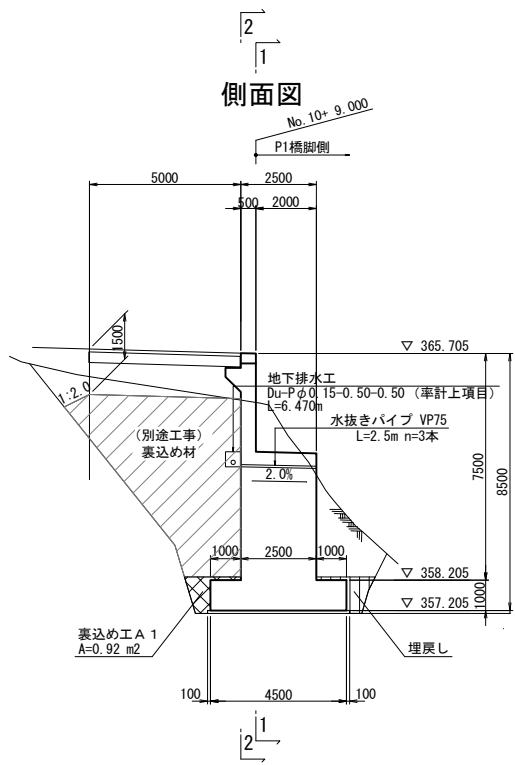
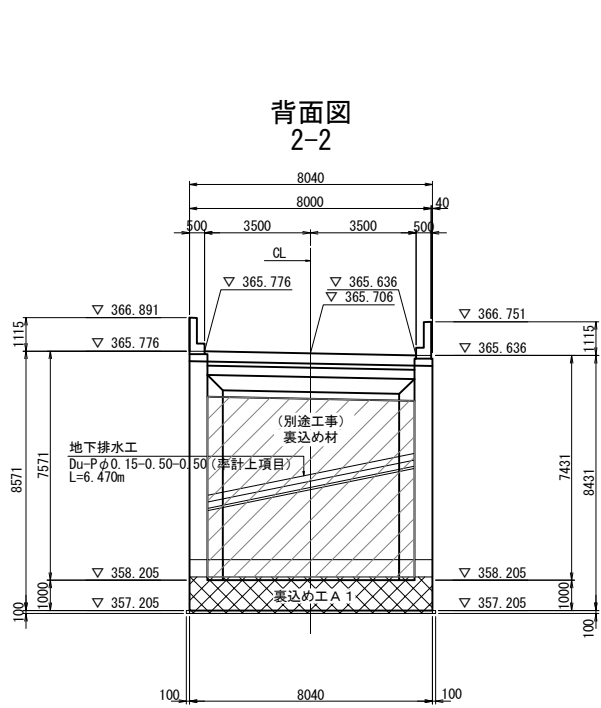
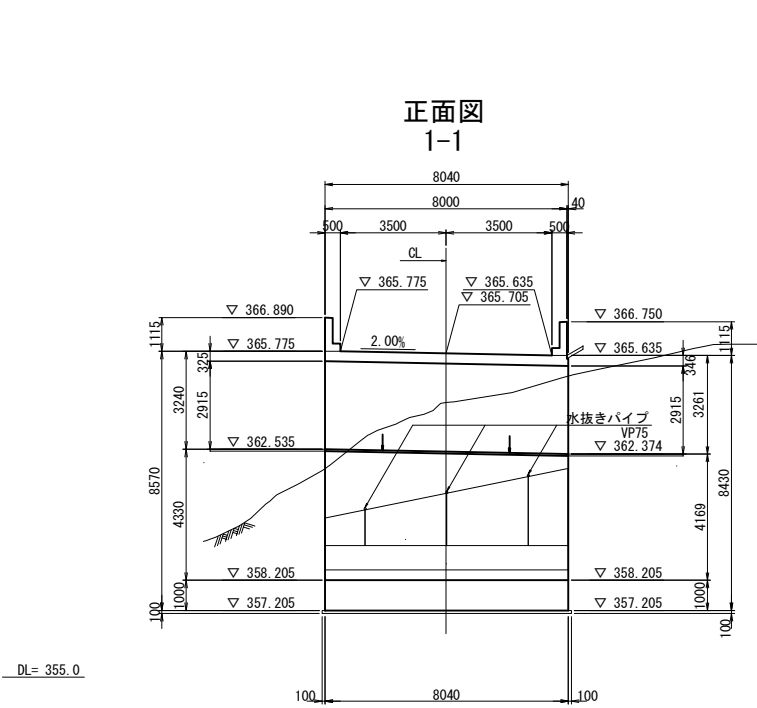
スペーサー固定金具

種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
Uボルト (D35用)	-	16	-	-	-	スペーサーと主鉄筋の固定

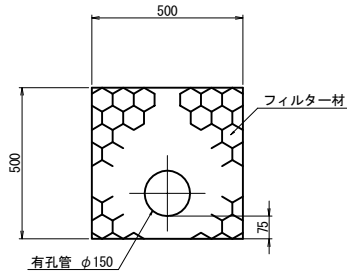
鉄筋加工寸法表

主筋	径	せん断補強筋		鋭角フック		半円径フック		直角フック	
		$\theta \leq 90^\circ$	$\theta > 90^\circ$	$\theta = 45^\circ$	$\theta = 60^\circ$	$\theta = 90^\circ$	$\theta = 135^\circ$	$\theta = 45^\circ$	$\theta = 60^\circ$
筋	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53
フック	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66
	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 2橋台場所打ち杭配筋図		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工務事務所		

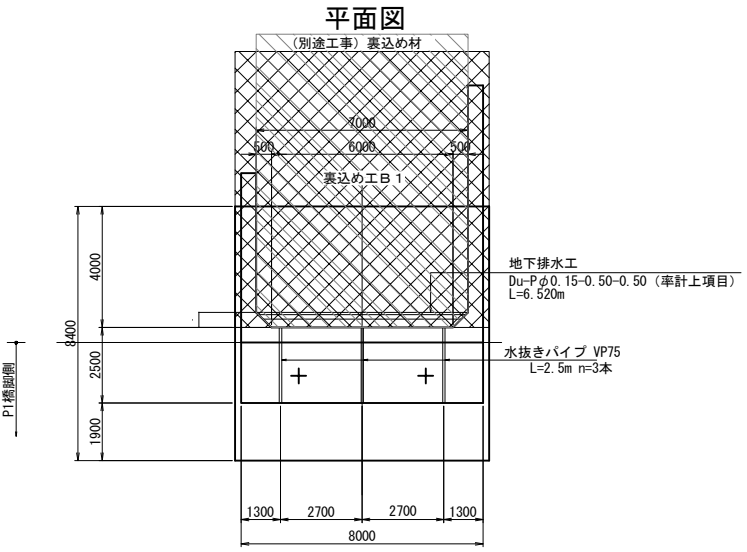
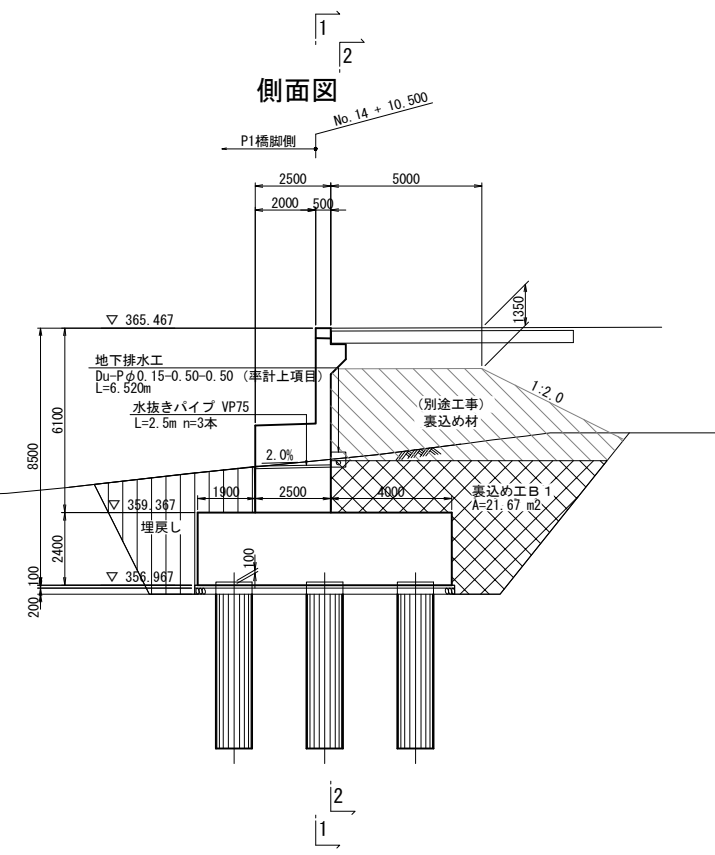
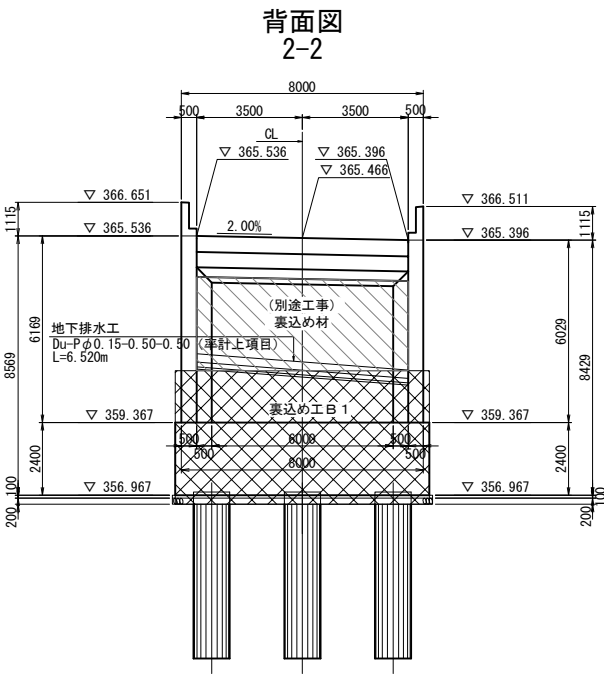
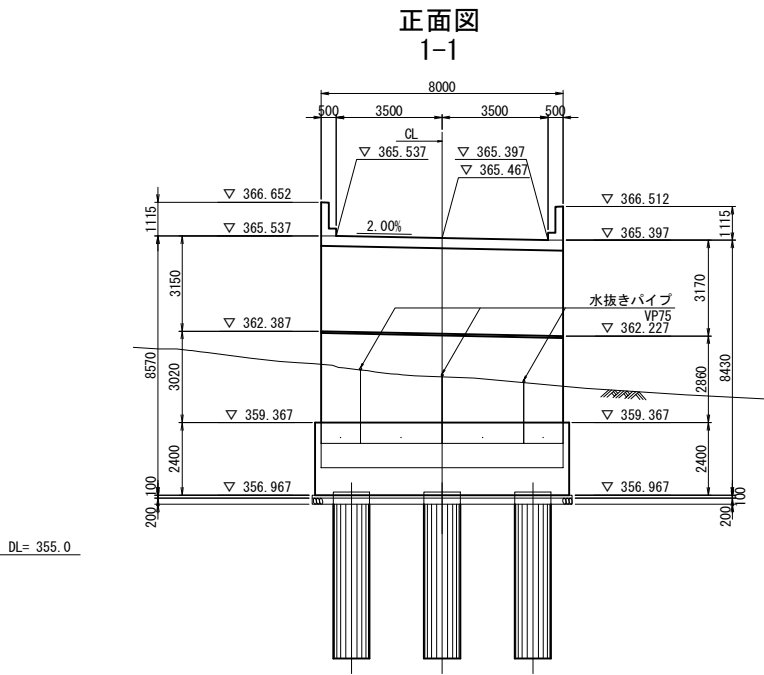


地下排水工詳細図 S=1:25
Du-Pφ0.15-0.50-0.50

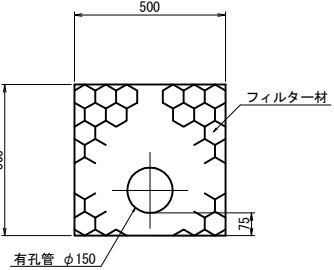


裏込め工及び地下排水工				
項 目	規 格	単 位	数 量	備 考
構造物裏込め工	裏込め工 A 1	m ³	7.2	数量計算書より
地下排水工	Du-Pφ0.15-0.50-0.50	m	6.5	率計上項目
水抜きパイプ	VPφ75	m	7.5	

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A1橋台裏込め工図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		



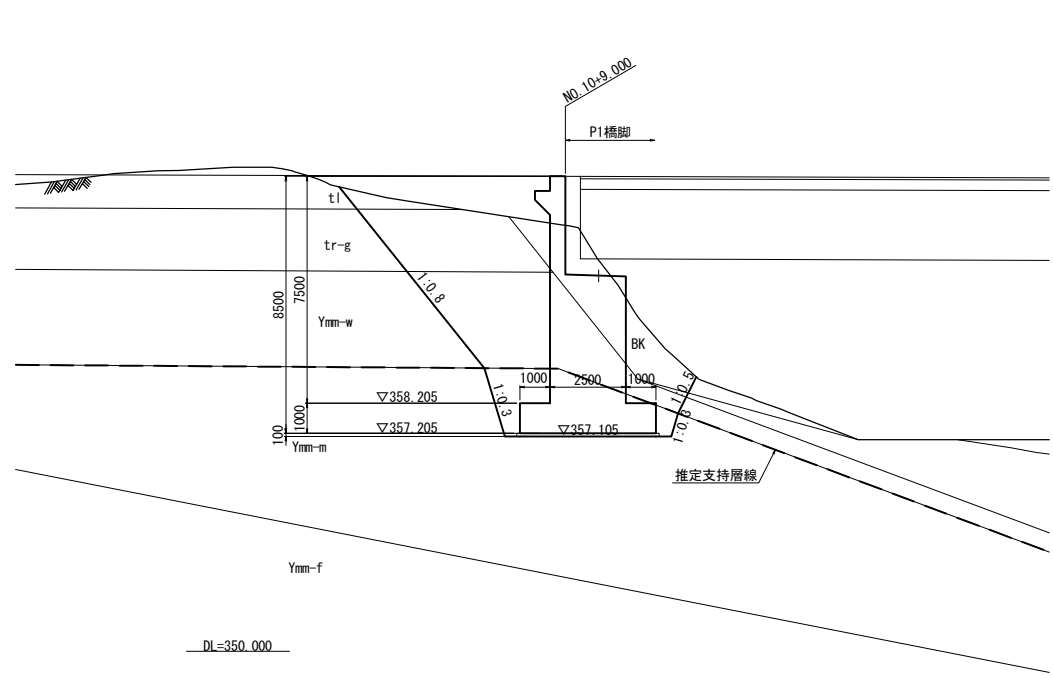
地下排水工詳細図 S=1:25
Du-P(Dp) φ0.15-0.50-0.50



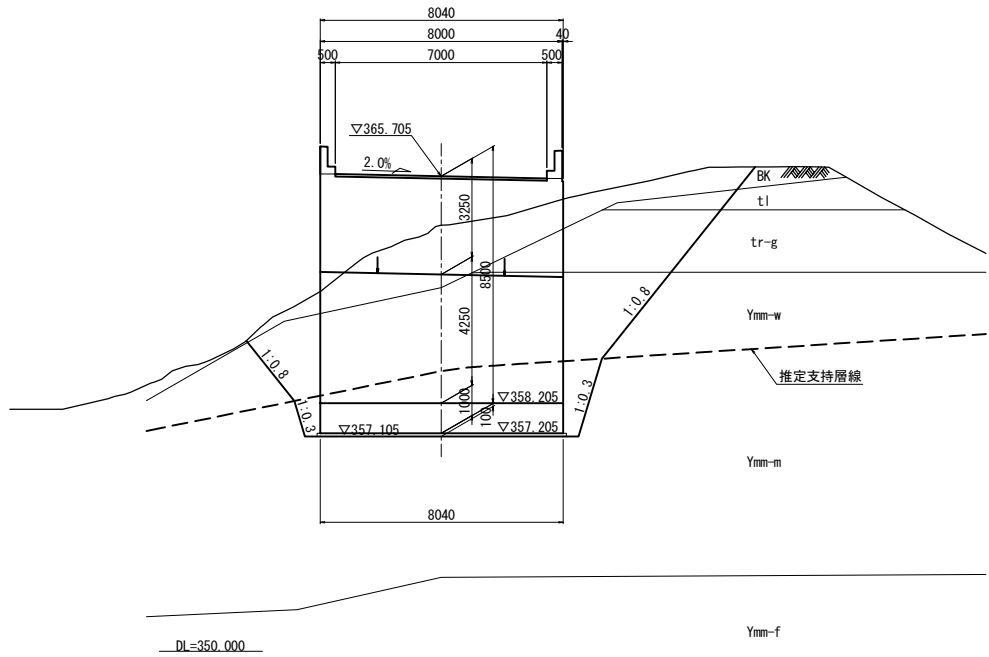
裏込め工及び地下排水工				
項 目	規 格	単 位	数 量	備 考
構造物裏込め工	裏込め工B1	m3	166.1	数量計算書より
地下排水工	Du-Pφ0.15-0.50-0.50	m	6.5	率計上項目
水抜きパイプ	VPφ75	m	7.5	

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A2橋台裏込め工図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

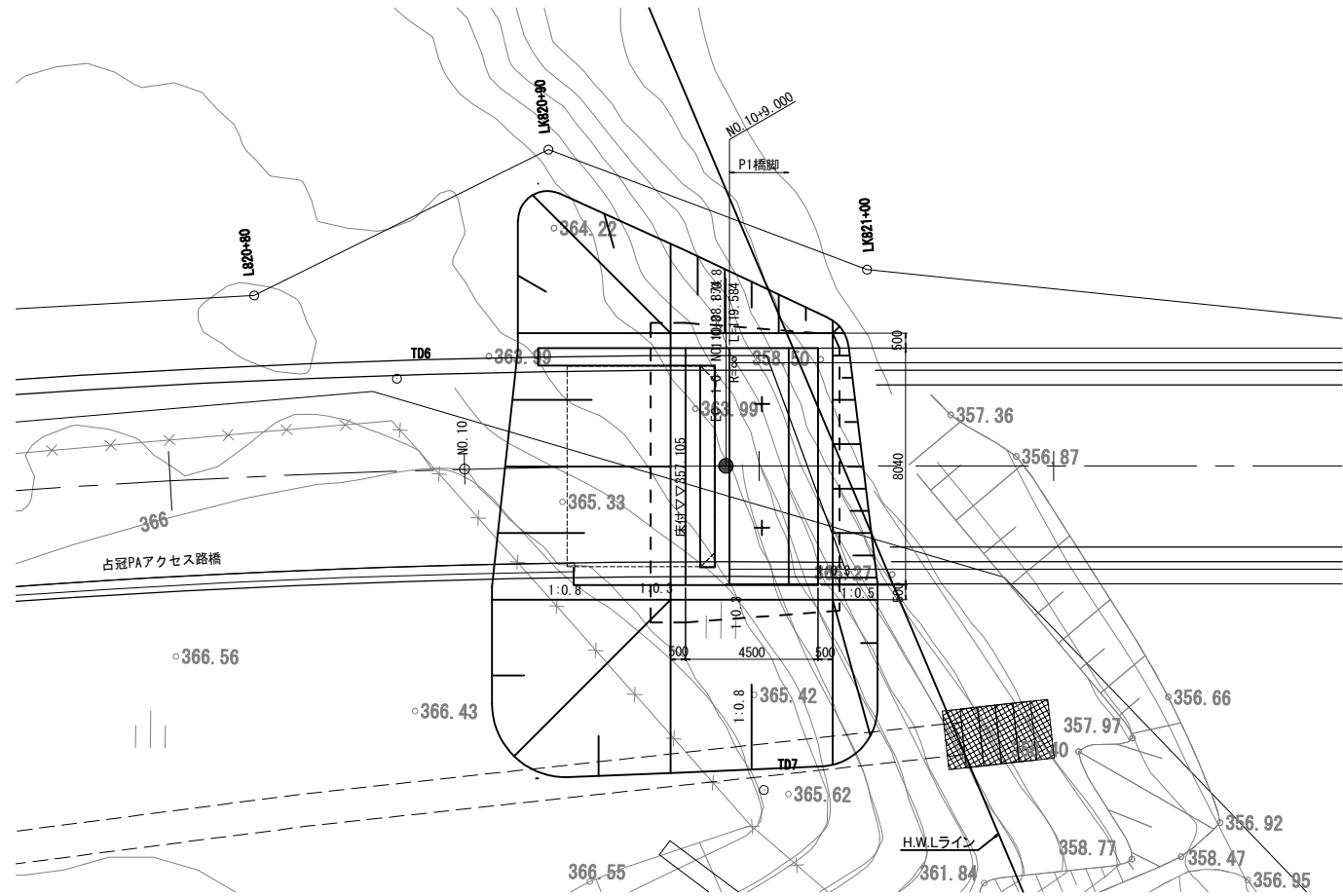
側面図



正面図

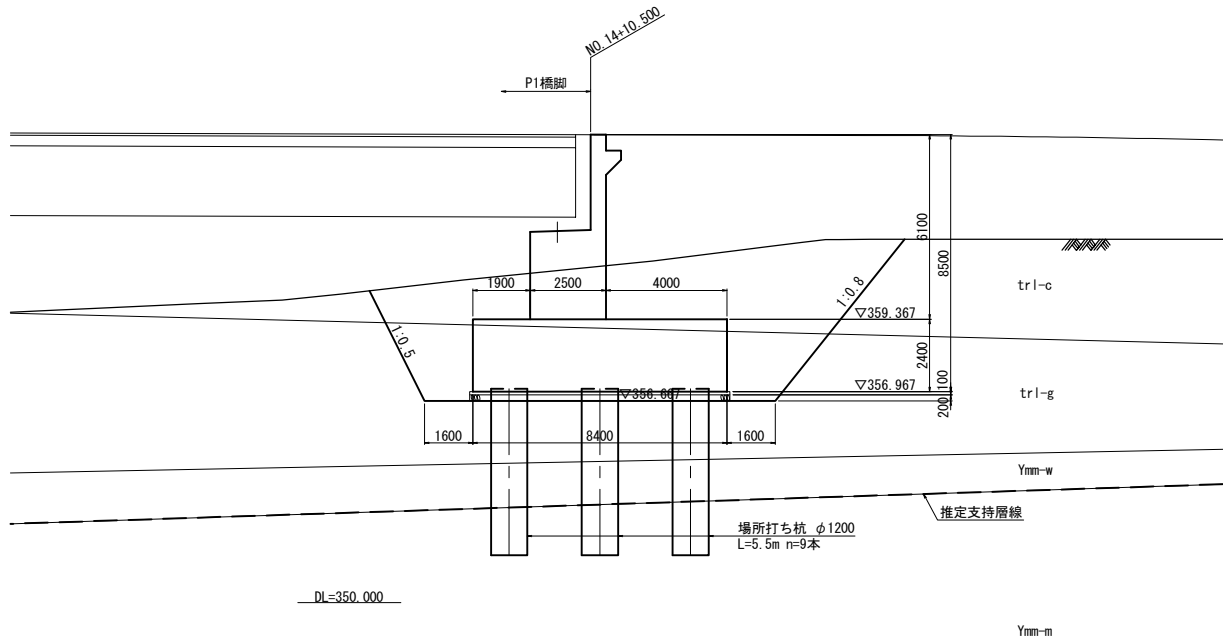


平面図

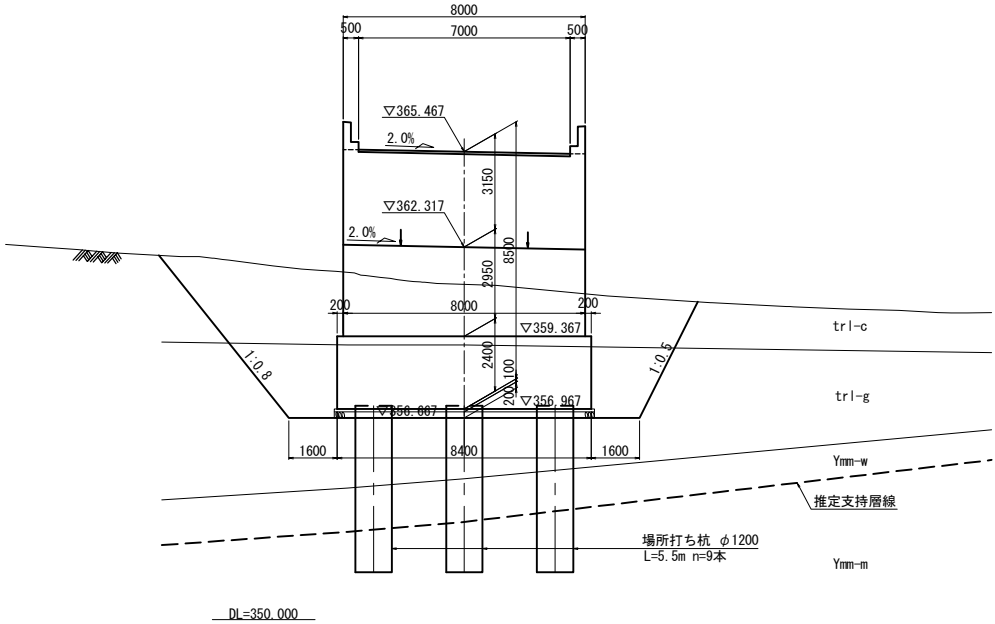


道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 1 橋台構造物掘削図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

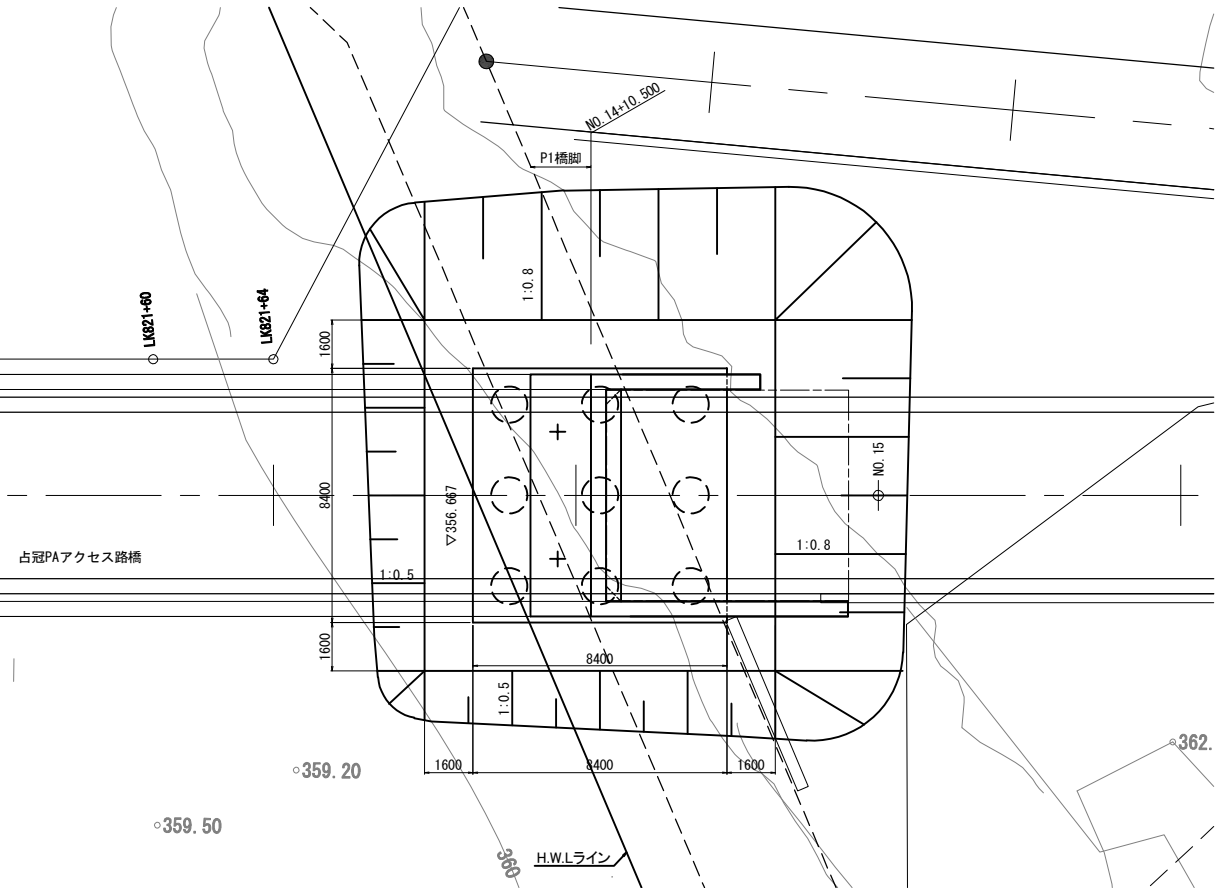
側面図



正面図



平面図

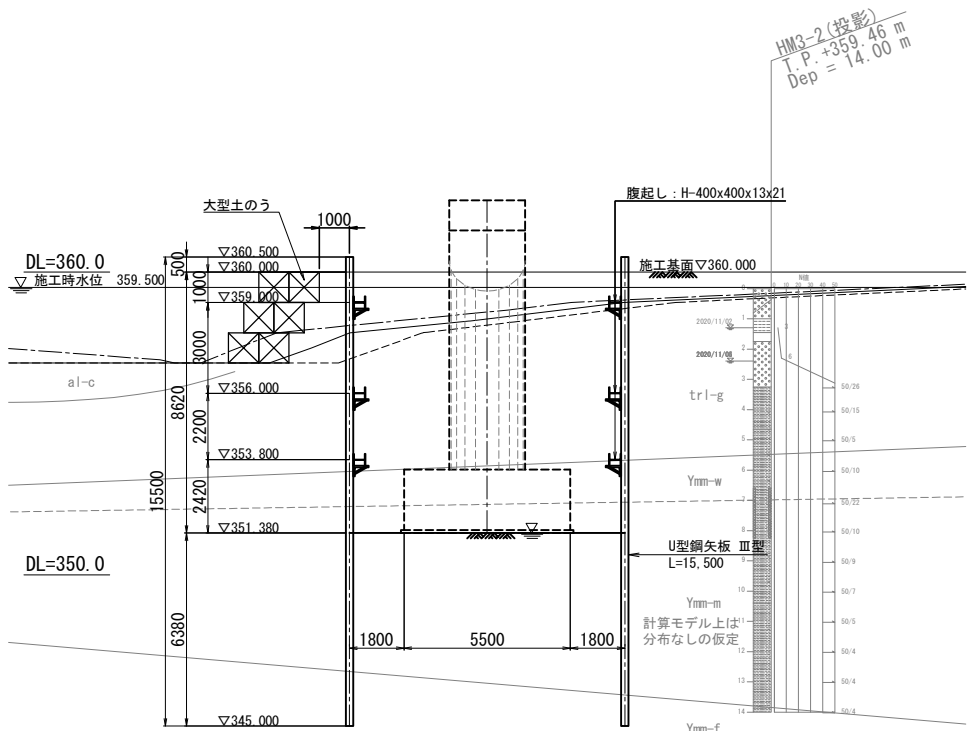


道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 A 2 橋台構造物掘削図		
	縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		

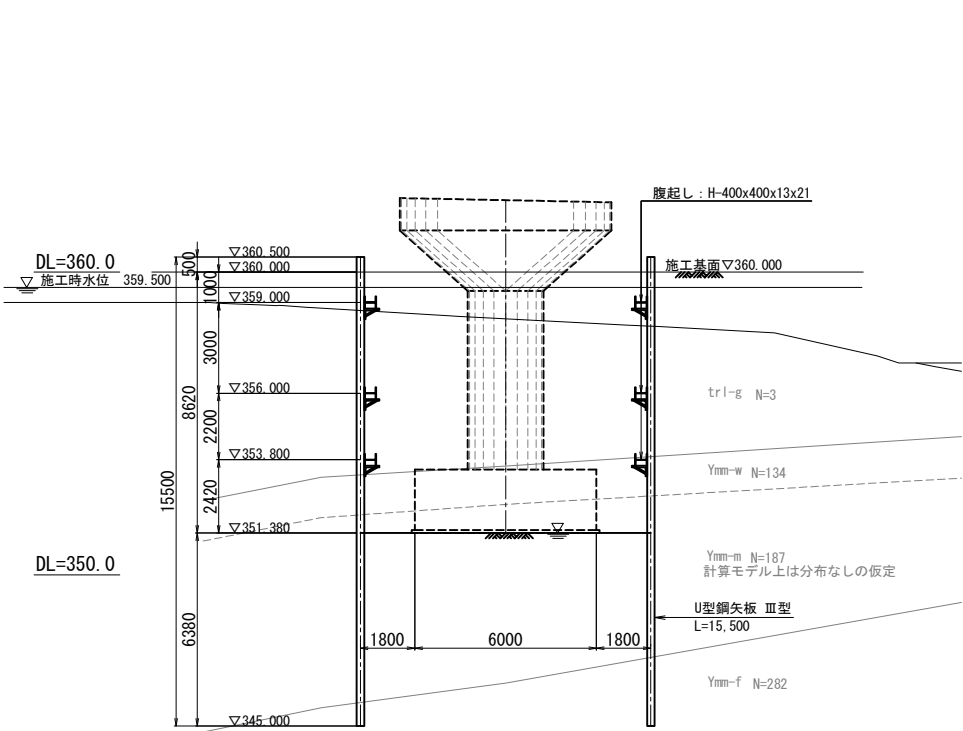
占冠PAアクセス路橋 P 1 橋脚土留め工構造図

構造図掘削 特殊部 F

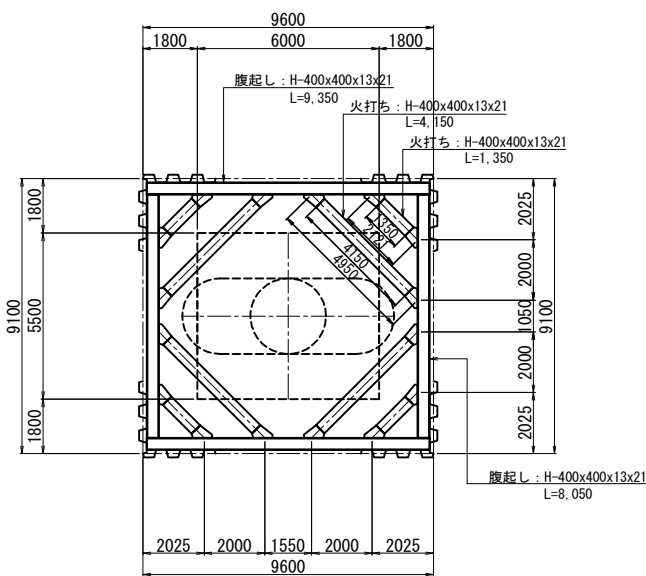
側面図 S=1:250



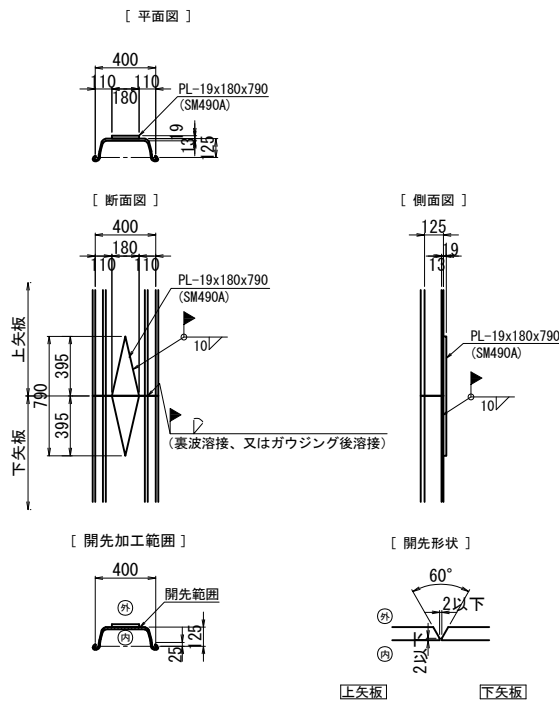
正面図 S=1:250



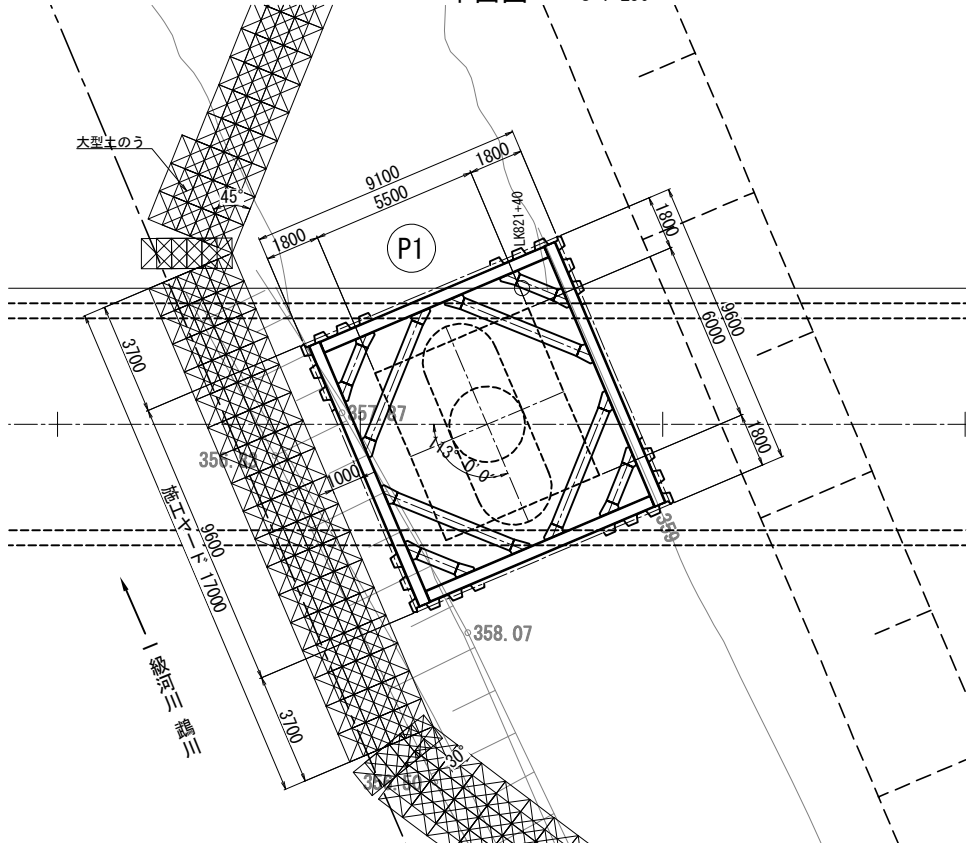
支保工配置図 (各段共通) S=1:250



鋼矢板継手詳細図 (参考図) S=1:50



平面図 S=1:250



材料表

種別	仕様	長さ (m)	数量 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	適用
鋼矢板	U型鋼矢板 SP-Ⅲ型 (継手1箇所)	15.500	94	60.0	930.0	87,420	SY295
					鋼矢板質量	87,420	"
支保工	腹起し H-400×400×13×21	9.350	6	200	1,870.0	11,220	SS400 リース加工材
	H-400×400×13×21	8.050	6	200	1,610.0	9,660	"
	火打ち H-400×400×13×21	4.150	12	200	830.0	9,960	SS400 リース加工材
	H-400×400×13×21	1.350	12	200	270.0	3,240	"
					支保工主部材質量	34,060	SS400 リース加工材
副部材	カバープレート H-400用	24			40.0	960	SS400 リース加工材
	隅部ピース H-400用	12			90.0	1,080	"
	火打受ピース H-400用	48			110.0	5,280	"
					副部材合計	7,320	
消耗部材	主部材質量×0.04					1,322	
	合 計					130,122	

数量表

工種	項目	単位	数量	適用
鋼矢板Ⅲ型	圧入 最大N値 375 L= 15.00 m	枚	94	矢板長15.50 m

注記

- 1) 地層区分は、隣接橋（本流鶴川第三橋）の地質調査からの推定である。鋼矢板の圧入に際し、貫入抵抗と地層区分の対応を行い、必要に応じて設計にフィードバックすること。I 期線の構造物掘削において湧水量が多く、薬液注入で対処した実績を踏まえ、強風化泥岩Ymm-wが深く分布した地層モデル、具体的には下位の中風化泥岩Ymm-mが出現せず、未風化泥岩Ymm-fの上面までYmm-w層が分布した想定での設計としている。
- 2) 設計上は、強風化泥岩Ymm-wを透水性が高い層と想定しており、矢板先端が当該層の範囲に留まる場合はボイリングの所要安全率を確保できない結果である。対策として未風化泥岩Ymm-fに貫入させた対策としているため、圧入時に確認する地層区分との対応により判断すること。
- 3) 鋼矢板の打込みは硬質地盤用の圧入機、引抜きは電動式バイプロハンマによる計画である。
- 4) 鋼矢板の継手は、平置き（良好な姿勢）で行うこととする。補強板は、硬質地盤用の圧入工法のため、矢板の外側面に取り付けるものとする。

道東自動車道 占冠地区下部工工事			
図面の種類	占冠PAアクセス路橋 P 1 橋脚土留め工構造図		
縮 尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 北海道支社 帯広工事事務所		